

---

令和2年度  
「食品ロス削減に係る実態調査」  
調査結果報告書

---

令和2年10月  
新潟市循環社会推進課



## 目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 集計・分析にあたって	3
4. 回答者の特性	4
8. 回答者の特性（地区別集計）	6
II 調査結果	11
1. 食品ロスについて	13
（1）食品ロスについて	13
（2）食材購入時について	15
（3）買物時の商品の取り方	17
（4）商品を奥から取る理由	19
（5）消費期限や賞味期限が近い商品の購入	21
（6）食材を長持ちさせる保存方法	23
（7）食材の廃棄について	25
（8）廃棄した食材	27
（9）廃棄理由	33
（10）食材の寄付について	36
（11）食材の寄付を活用したくない理由	38
（12）消費期限や賞味期限について	40
（13）期限が切れてしまう理由	42
（14）消費期限や賞味期限の表示がない食品について	45
（15）食べられるかどうか迷ったことがある食品	47
（16）食材レシピについて	50
（17）食材の可食部分	52
（18）可食部分について迷ったことのある食材	54
（19）家庭での食べ残しについて	59
（20）食べ残した料理への対応	61
（21）食べ残した理由	63
（22）外食での食べ残しについて	66
（23）食べ残した場面	68
（24）食べ残した理由	70
（25）料理の提供について①	73
（26）料理の提供について②	75
（27）料理の持ち帰り	77
（28）料理を持ち帰りたくないと思わない理由	79
（29）持ち帰り容器について①	81

(30) 持ち帰り容器について②.....	83
(31) テイクアウト料理・購入総菜について.....	85
(32) 捨てた理由.....	87

# I 調査概要



## 1. 調査の目的

本市の一般廃棄物処理基本計画の施策に位置付ける食品ロスの削減に向けて、今後の取り組みを図るための基礎データとして、家庭系食品ロスの実態並びに課題を把握するため、市民向けアンケートを実施するもの。

## 2. 調査の設計

- (1) 対象者 : 市内に居住する満 20 歳以上 69 歳までの男女計 500 名
- (2) 調査方法 : インターネット調査
- (3) 調査期間 : 令和 2 年 9 月 2 日～9 月 14 日

## 3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100%にならないことがある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

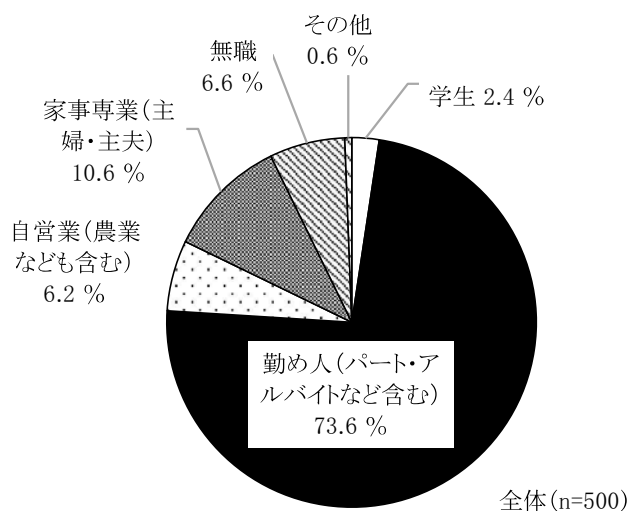
#### 4. 回答者の特性

##### ◆性別、年齢、地区別（上段人数・下段％）

人数(人) 割合(%)	北区		東区		中央区		江南区		秋葉区		南区		西区		西蒲区		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
20代 0.6	3	3	7	7	9	10	3	3	3	3	2	2	8	7	3	2	75 15.0
30代 1.0	5	4	8	8	11	11	4	4	4	4	2	3	9	9	3	3	92 18.4
40代 1.0	5	5	10	10	14	14	6	5	6	6	3	3	12	12	4	4	119 23.8
50代 1.0	5	5	9	9	13	13	3	4	5	5	3	3	10	10	4	4	105 21.0
60代 1.0	5	6	9	9	10	11	5	5	6	6	4	4	10	11	4	4	109 21.8
計 4.6	23	23	43	43	57	59	21	21	24	24	14	15	49	49	18	17	500 100.0

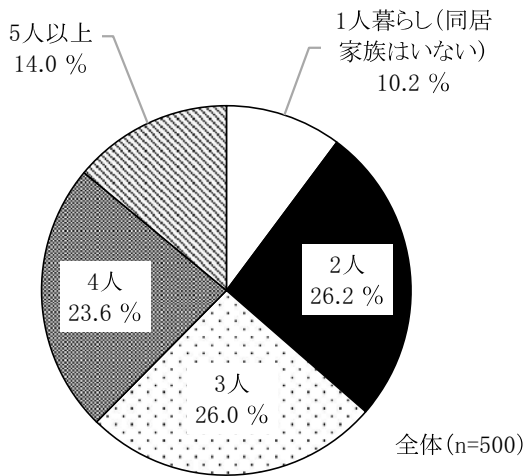
※調査対象者は、人口構成比を考慮し、選定。

##### ◆職業別

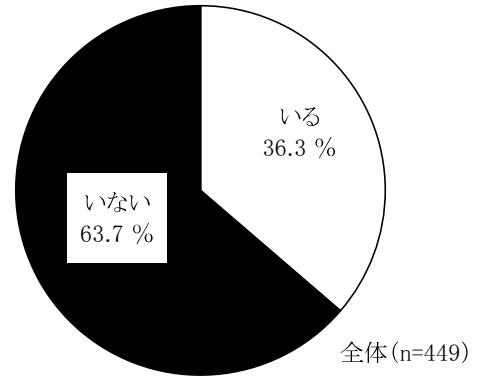




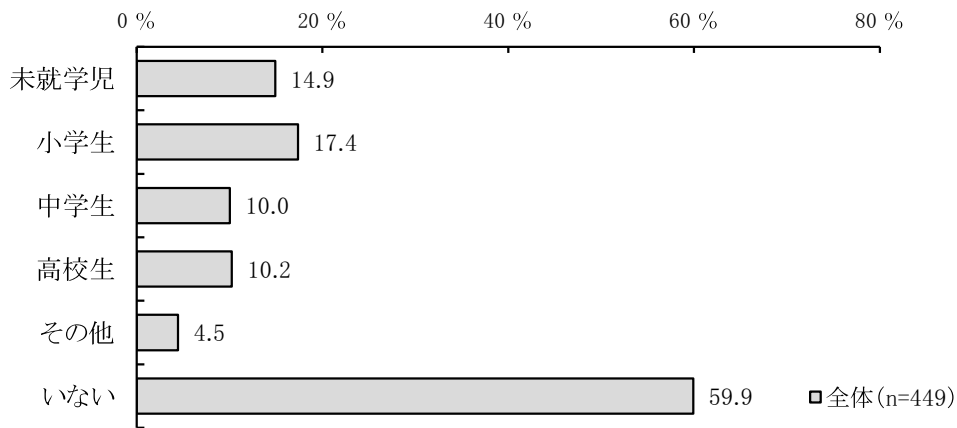
◆同居者の人数別



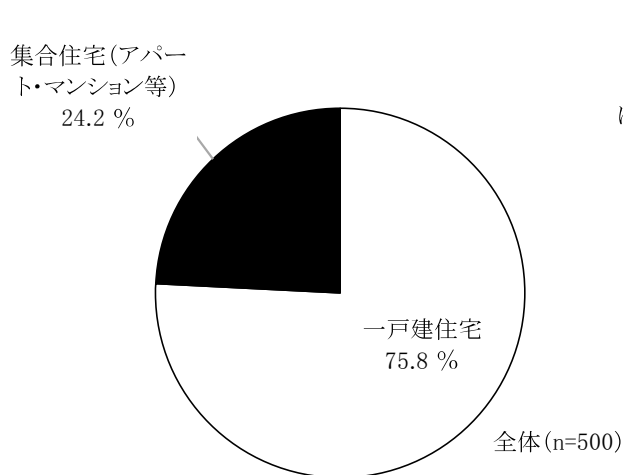
◆65歳以上の高齢者の有無  
(1人暮らし以外)



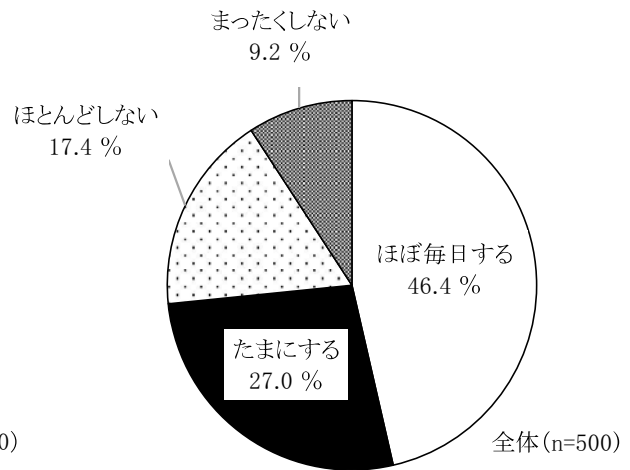
◆同居者の未成年の子どもの有無 (1人暮らし以外)



◆住居形態別

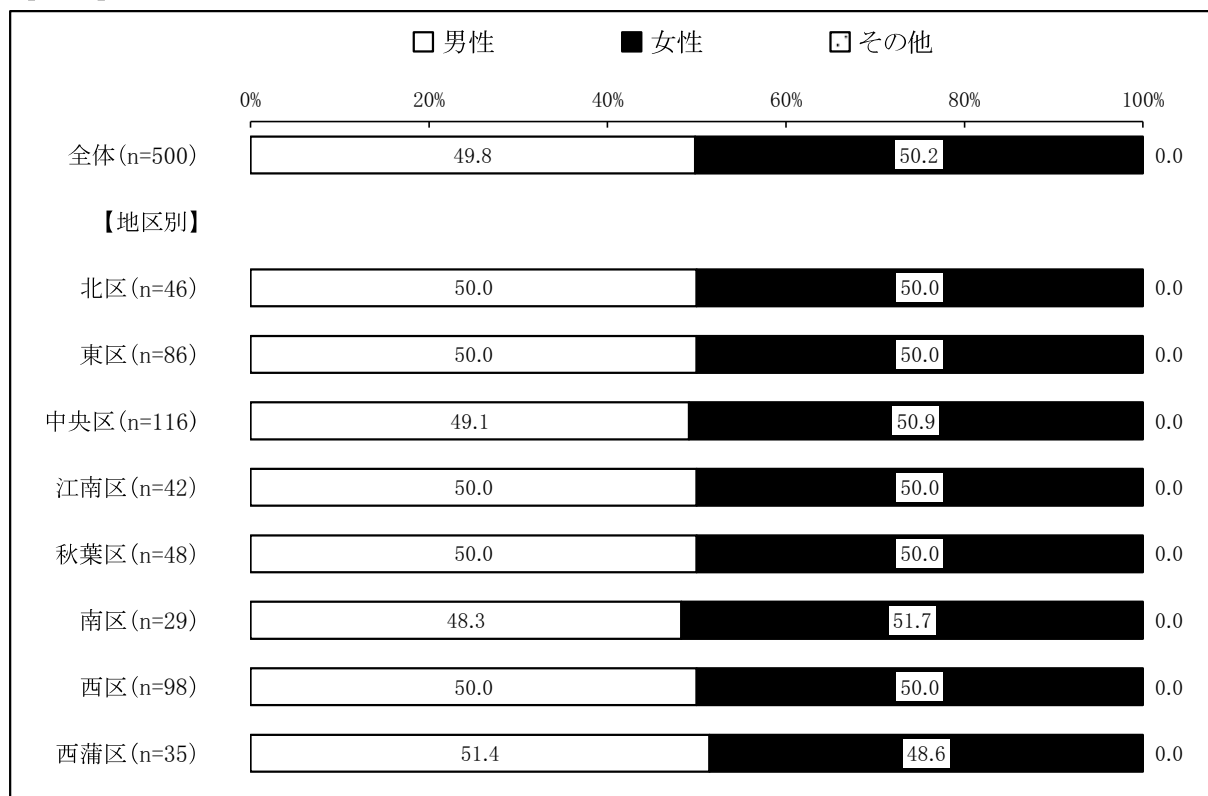


◆料理の頻度別

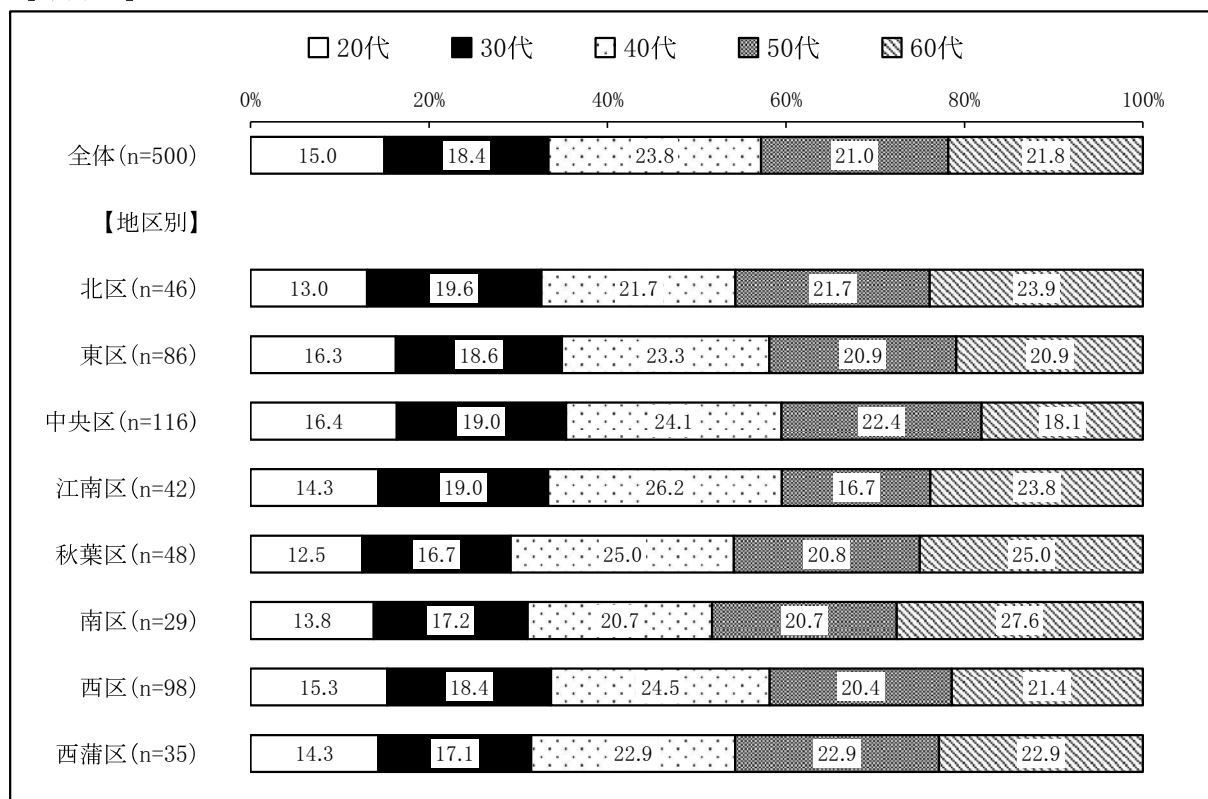


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

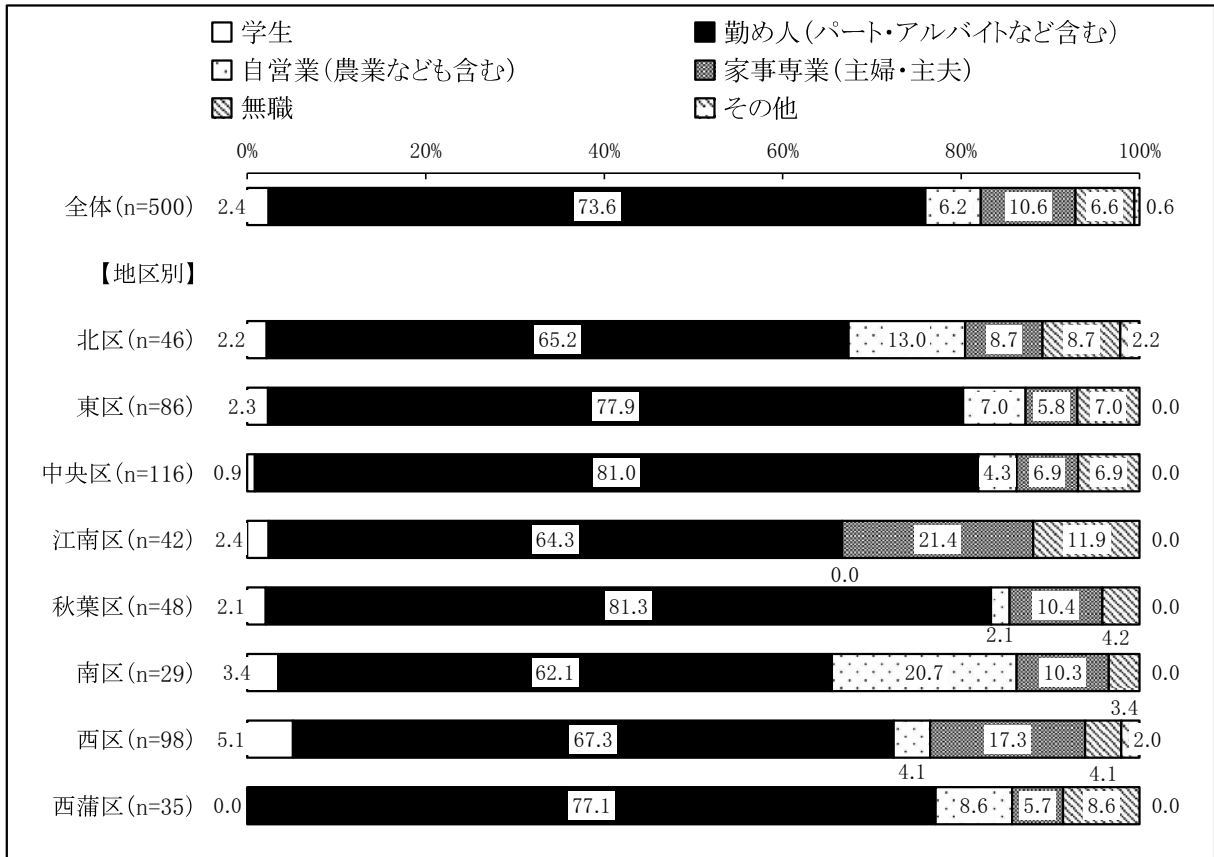
### 【性別】



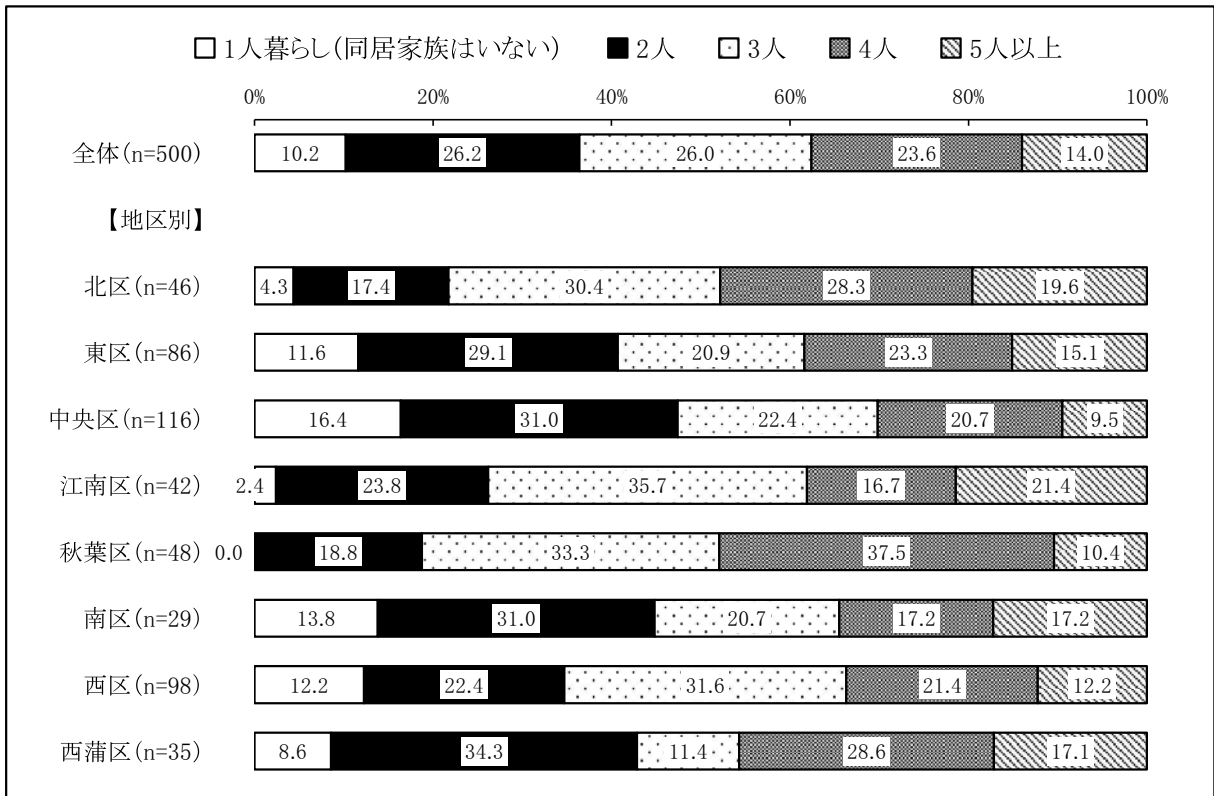
### 【年齢別】



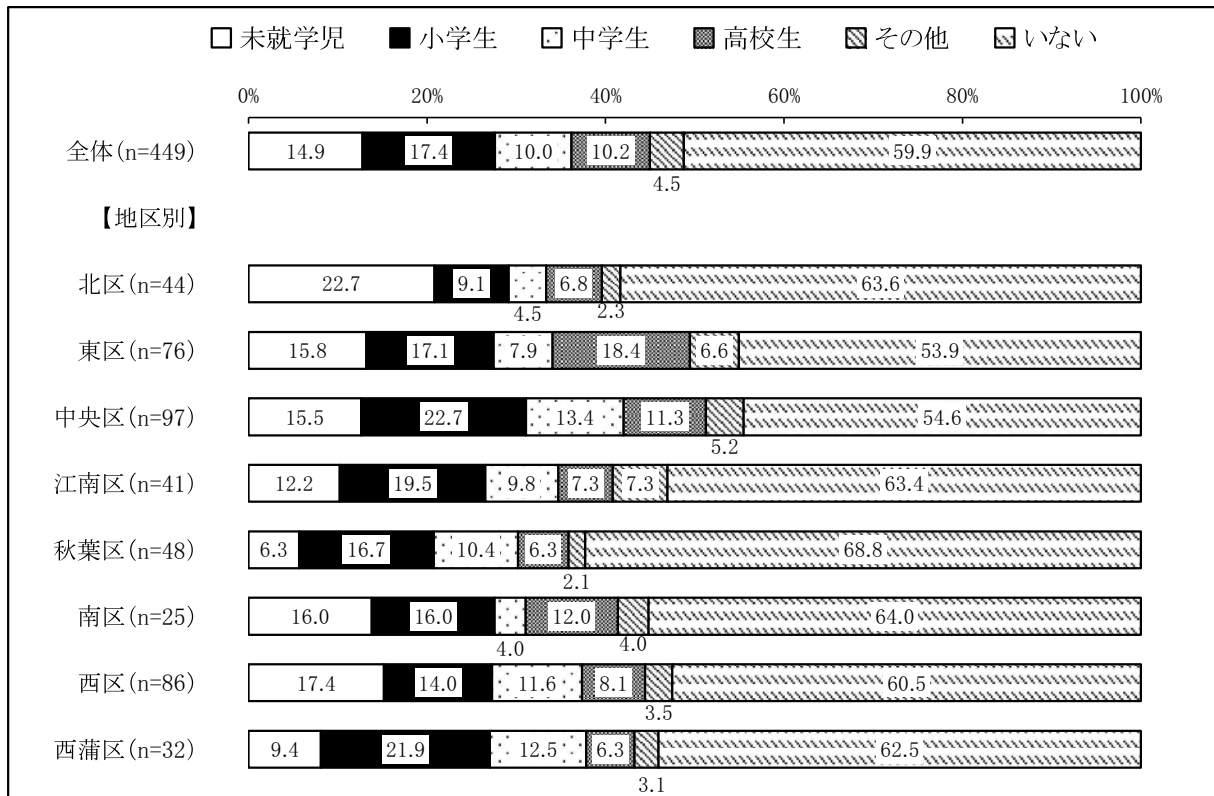
【職業別】



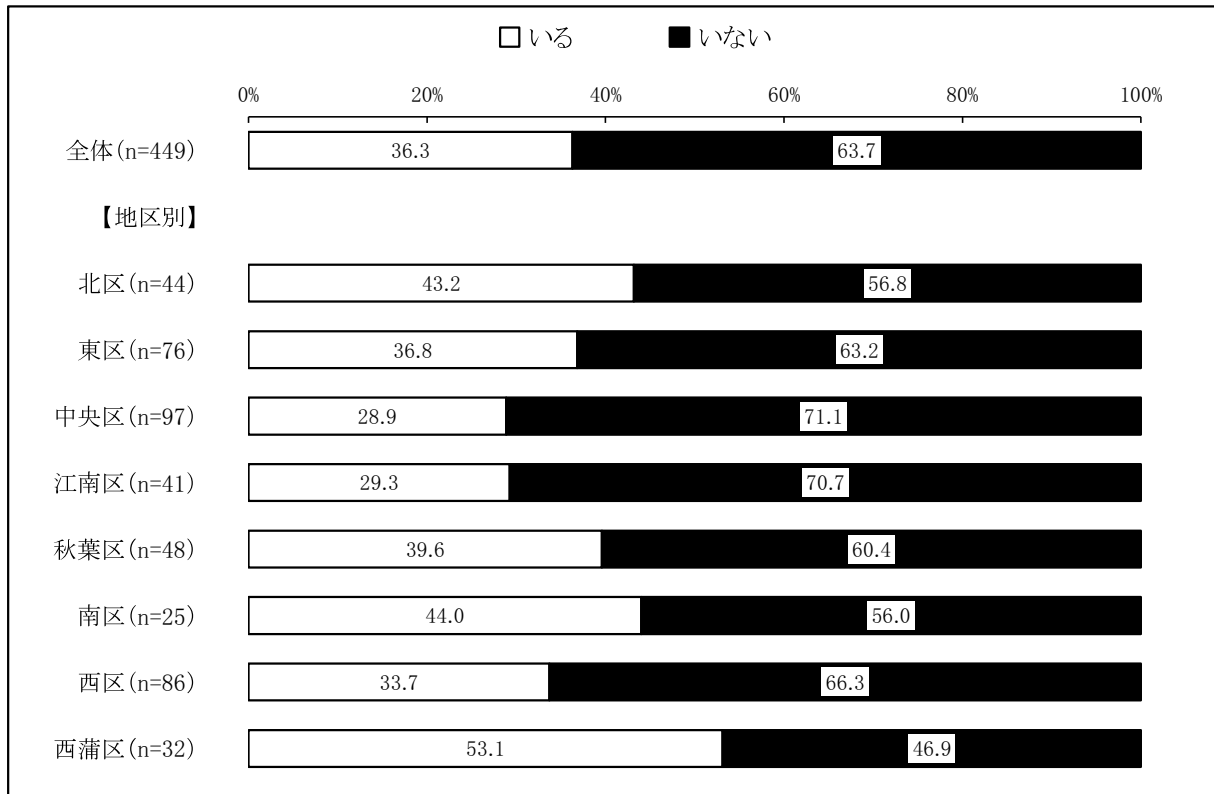
【同居人の人数別】



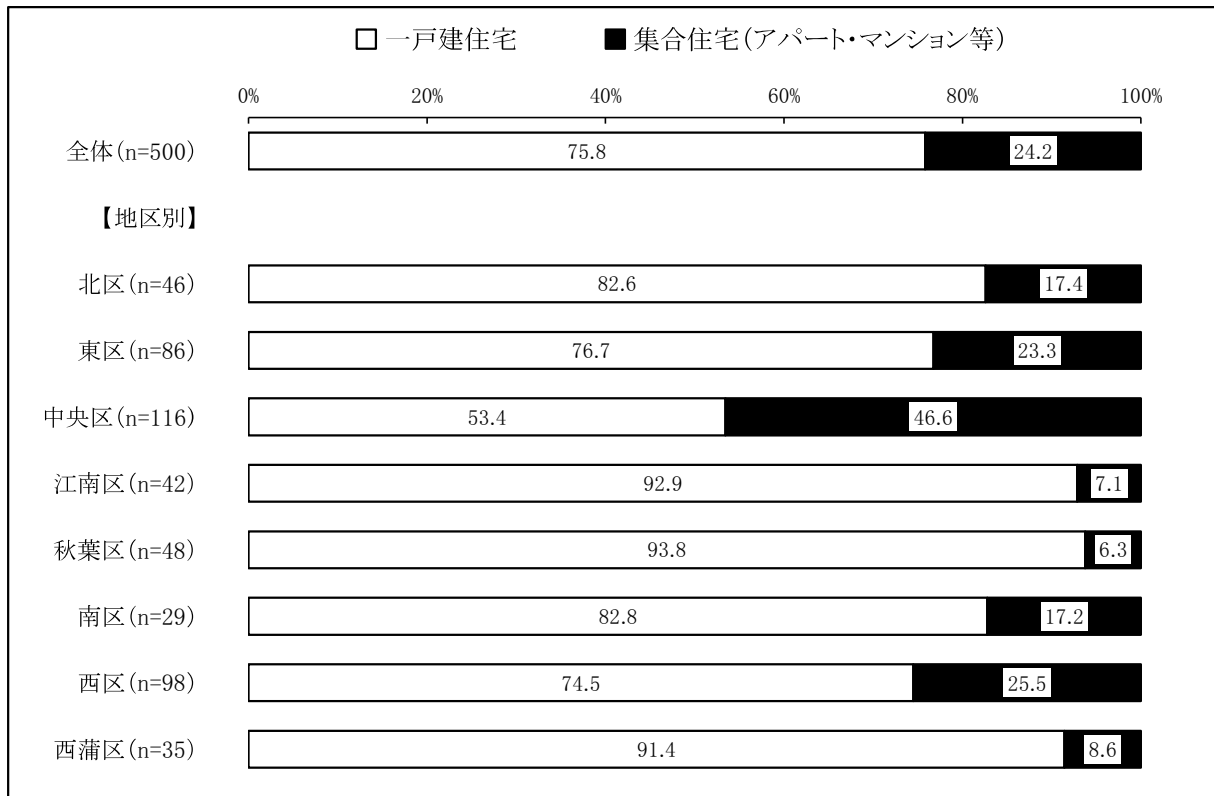
【同居者の未成年の子どもの有無（1人暮らし以外）】



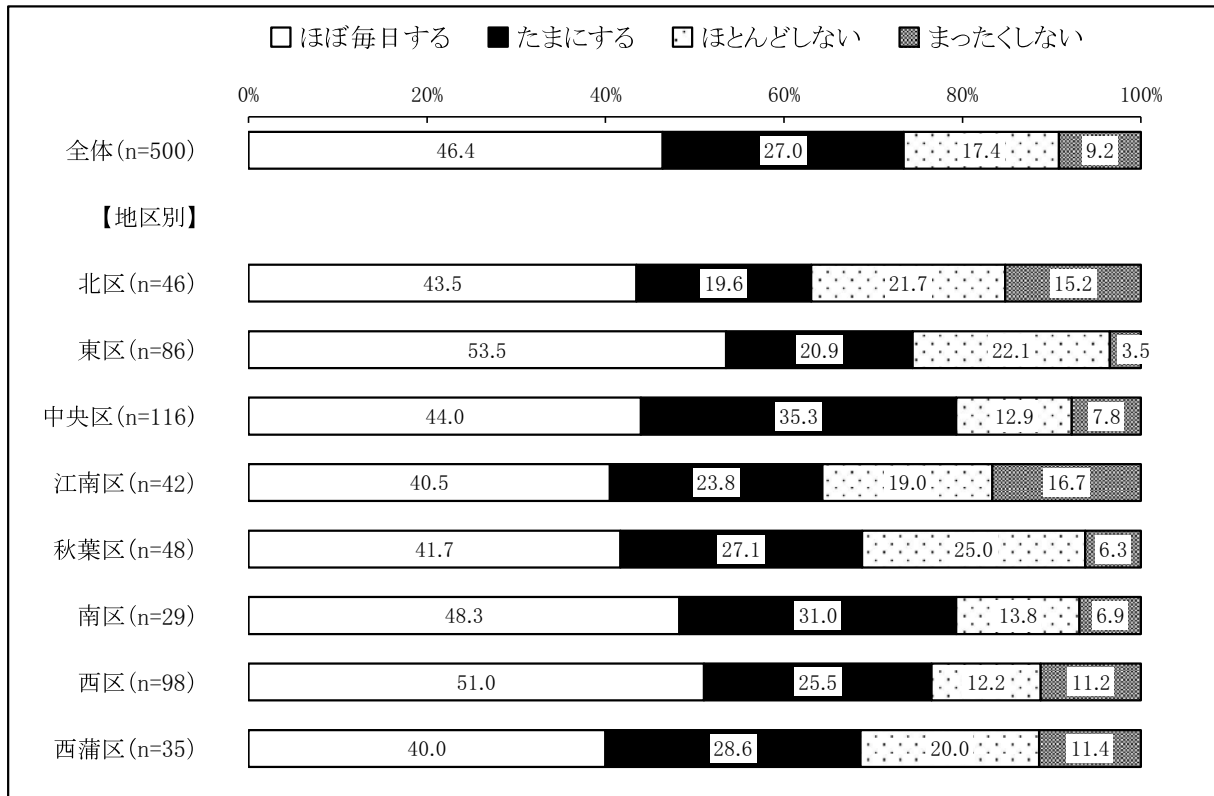
【65歳以上の高齢者の有無（1人暮らし以外）】



【住居形態別】



【料理の頻度別】





## II 調査結果

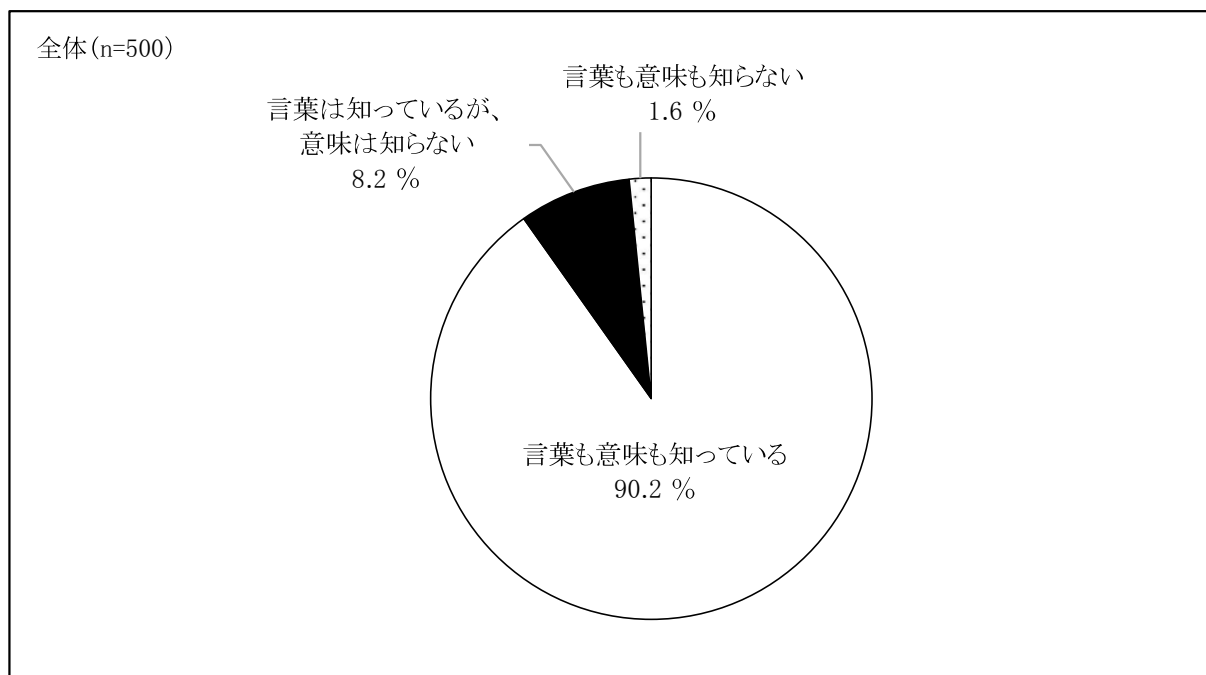




## 1. 食品ロスについて

### (1) 食品ロスについて

問1 「食品ロス」という言葉や意味を知っていますか。



— 約9割が、「言葉も意味も知っている」と回答 —

#### 【全体結果】

食品ロスについて、「言葉も意味も知っている」(90.2%)と答えた割合が約9割を占めた。「言葉は知っているが意味は知らない」(8.2%)、「言葉も意味も知らない」(1.6%)は合わせても、1割に満たなかった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.1参照)

##### ① 性別

「言葉も意味も知っている」と答えた割合は、男性(89.2%)と比べて女性(91.2%)で高い。

##### ② 年齢別

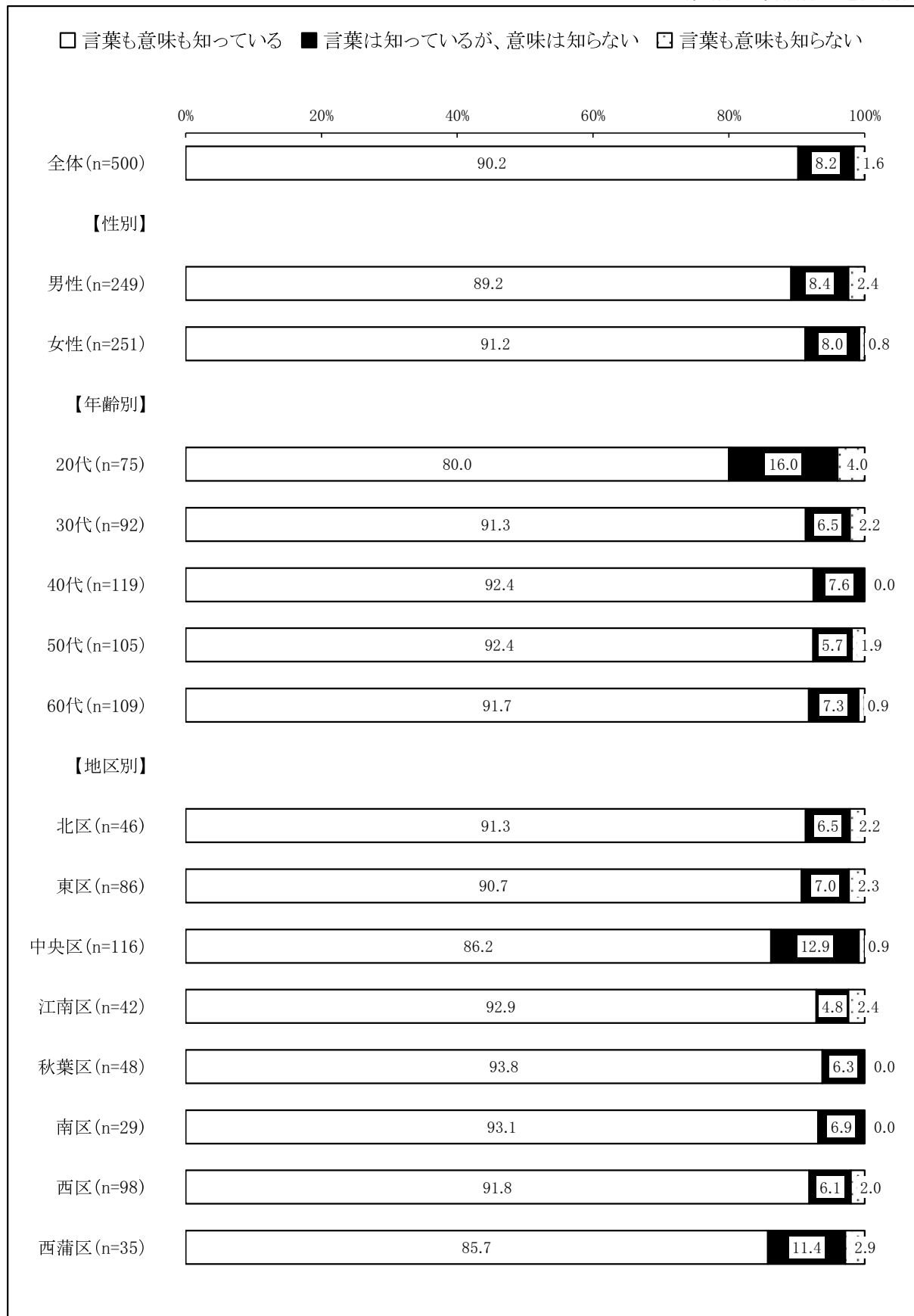
20代を除く全ての年代では、「言葉も意味も知っている」と答えた割合は9割を超えた。20代では、「言葉も意味も知っている」(80.0%)と答えた割合は他の年代に比べて低く、8割となった。

##### ③ 地区別

中央区と西蒲区以外では、「言葉も意味も知っている」と答えた割合は9割を超えた。中央区と西蒲区では、「言葉も意味も知っている」(各86.2%、85.7%)は8割台となった。

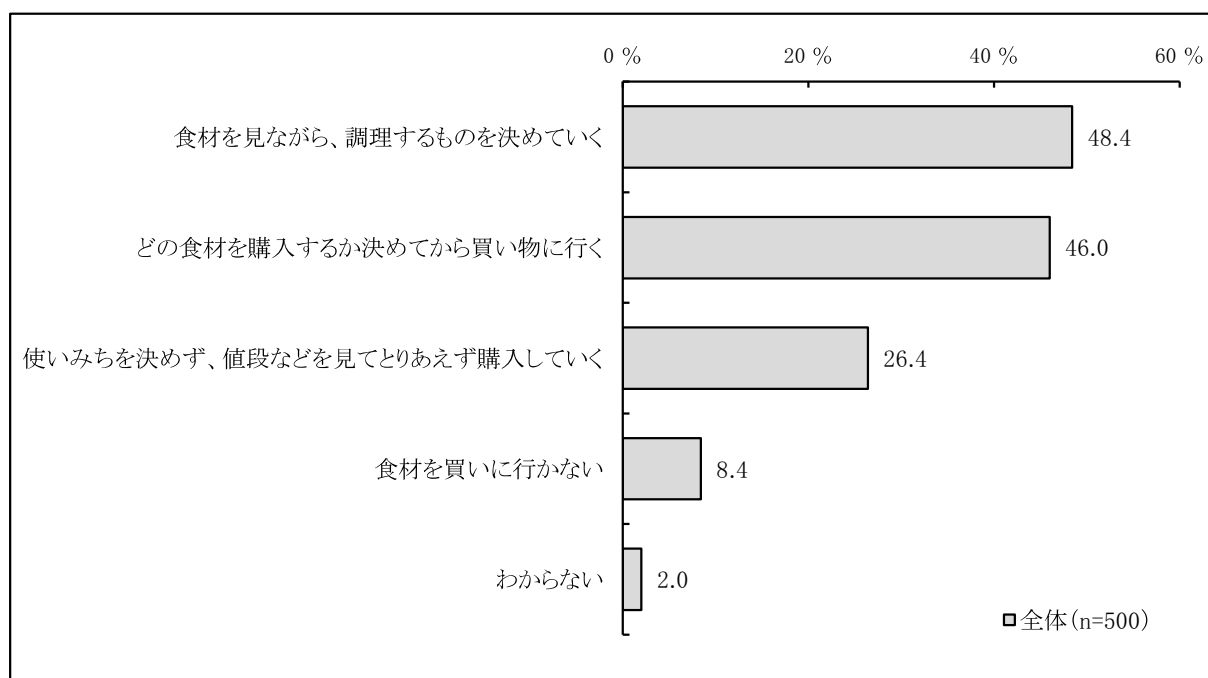
図 1.1 食品ロスについて

(性別／年齢別／地区別)



## (2) 食材購入時について

問2 あなたは食材を買いに行く際、どうしていますか。



— 「食材を見ながら、調理するものを決めていく」が約5割でトップ —

### 【全体結果】

食材購入時、「食材を見ながら、調理するものを決めていく」(48.4%)が約5割で、次いで「どの食材を購入するか決めてから買い物に行く」(46.0%)で4割を超え、「使いみちを決めず、値段などを見てとりあえず購入していく」(26.4%)で2割以上を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.2参照)

#### ① 性別

「食材を見ながら、調理するものを決めていく」、「どの食材を購入するか決めてから買い物に行く」、「使いみちを決めず、値段などを見てとりあえず購入していく」は、男性(各37.8%、43.4%、21.3%)と比べて女性(各59.0%、48.6%、31.5%)で割合が高く、「食材を買いに行かない」は、女性(2.8%)と比べて男性(14.1%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

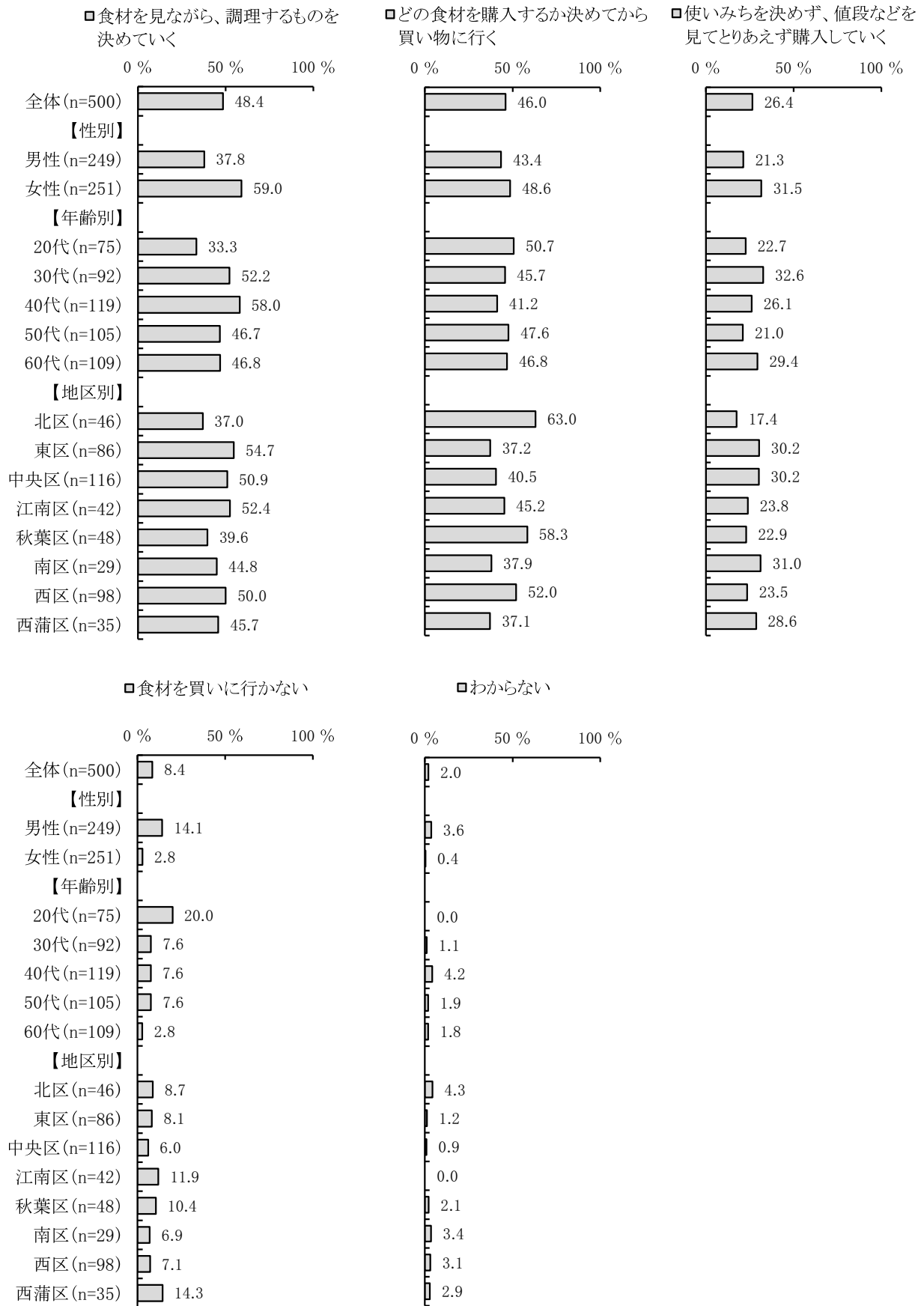
「食材を見ながら、調理するものを決めていく」と答えた割合は、30代(52.2%)、40代(58.0%)で高く、20代では他の年代に比べ「食材を買いに行かない」(20.0%)の割合が高く、2割となった。

#### ③ 地区別

北区、秋葉区、西区以外の地区では、「食材を見ながら、調理するものを決めていく」と答えた割合が最も高い。北区、秋葉区、西区では「どの食材を購入するか決めてから買い物に行く」(各63.0%、58.3%、52.0%)と答えた割合が高い。

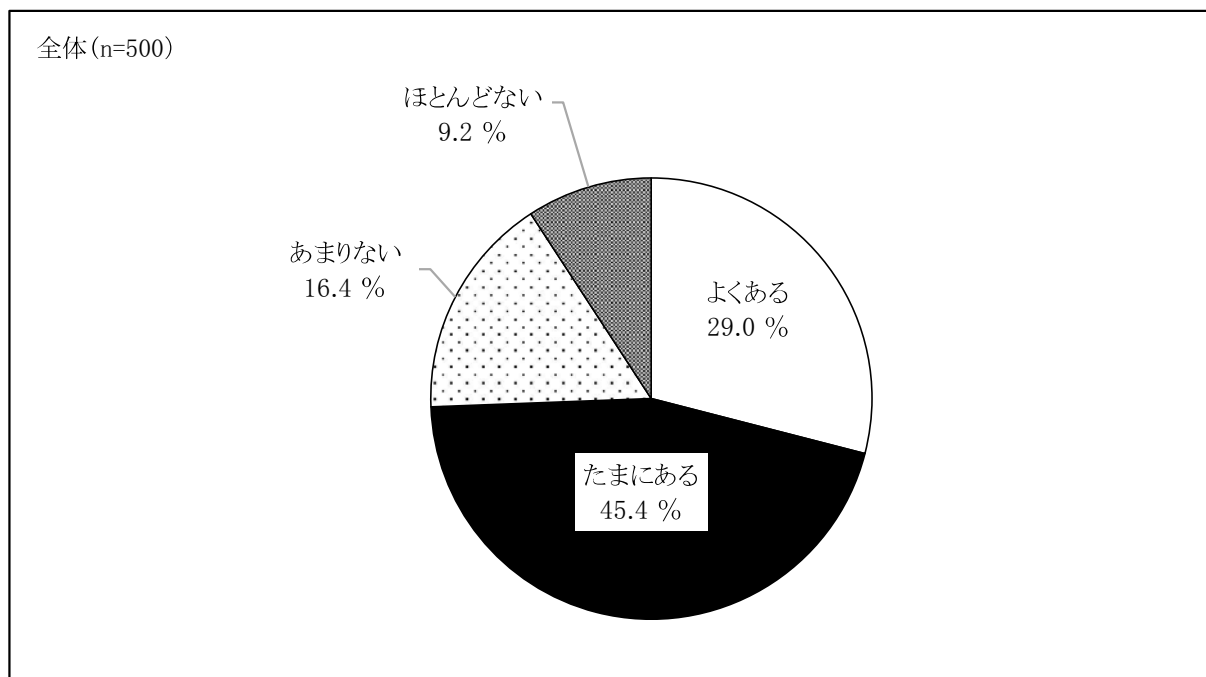
図 1.2 食材購入時について

(性別／年齢別／地区別)



### (3) 買物時の商品の取り方

問3 あなたは買物の際、商品を奥から取ることがありますか。



— 約4割半が「たまにある」と回答 —

#### 【全体結果】

買い物時の商品を奥から取るかについて、「たまにある」(45.4%)と答えた割合が最も高く、4割半ばを占めた。次いで、「よくある」(29.0%)で約3割、「よくある」、「たまにある」を合わせた『ある』(74.4%)と答えた割合は、7割以上を占めた。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.3参照)

##### ① 性別

『ある』と答えた割合は、男性(67.1%)と比べて女性(81.7%)で高い。

##### ② 年齢別

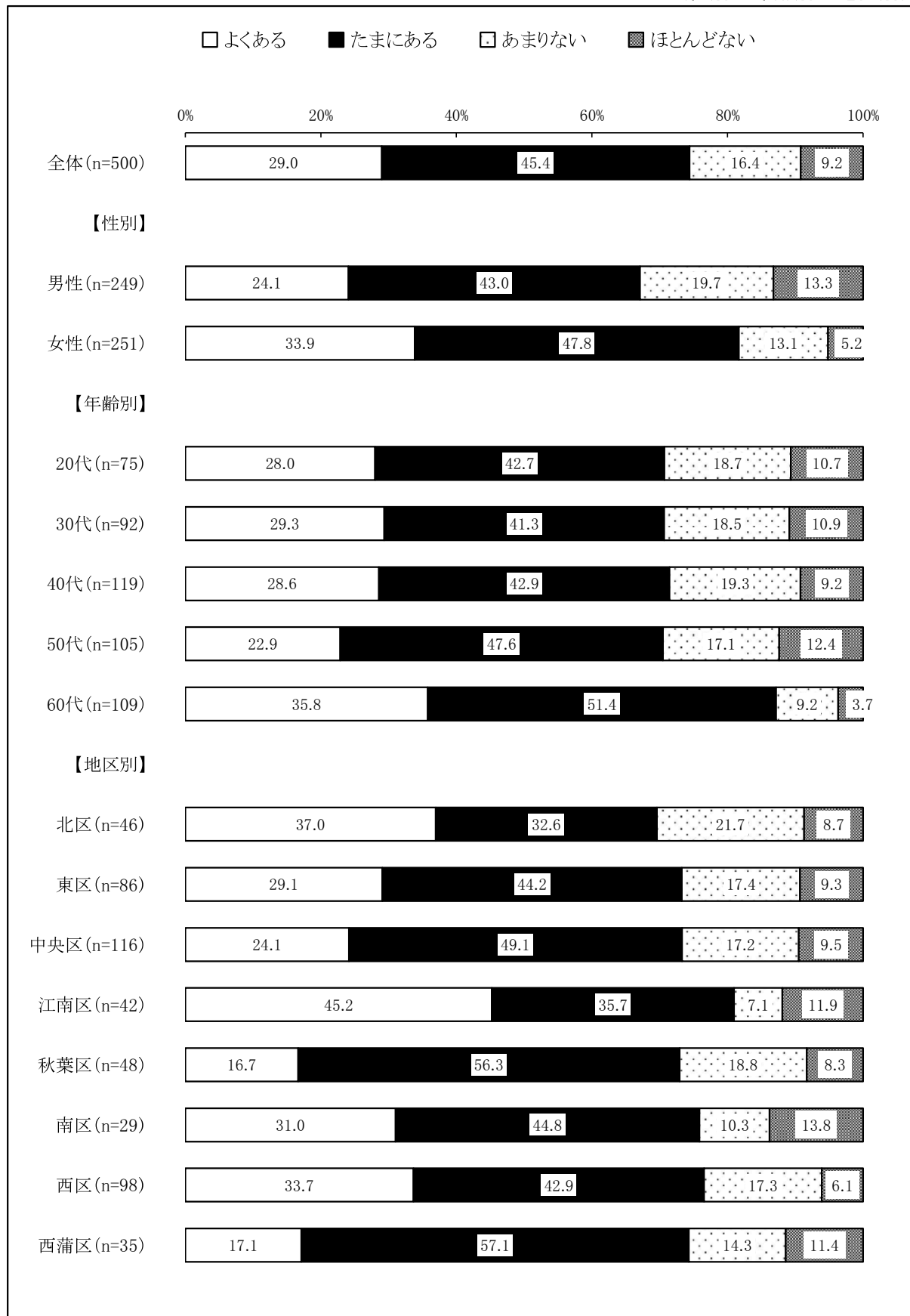
『ある』と答えた割合は、60代(87.2%)で最も高く、9割弱を占めた。他の年代でも約7割となった。

##### ③ 地区別

江南区では、「よくある」(45.2%)と答えた割合が最も高く、4割以上となった。

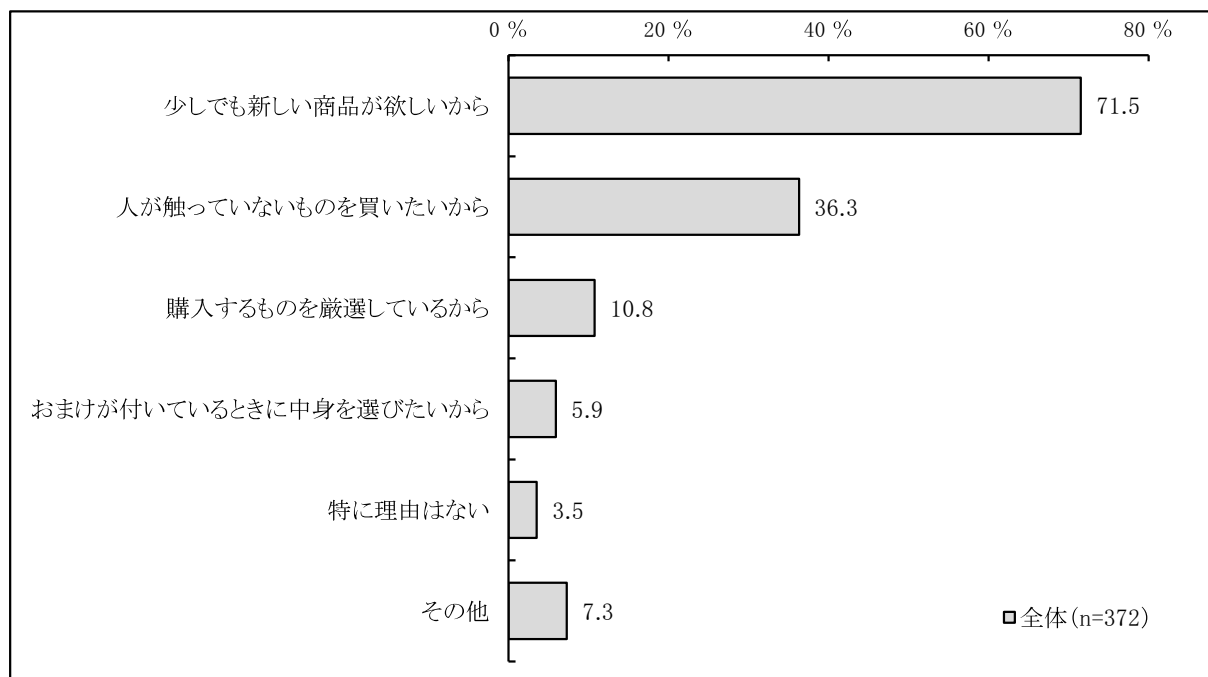
図 1.3 買物時の商品の取り方

(性別／年齢別／地区別)



#### (4) 商品を奥から取る理由

問4 問3で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。



— 「少しでも新しい商品が欲しいから」が約7割でトップ —

#### 【全体結果】

商品を奥から取る理由について、「少しでも新しい商品が欲しいから」(71.5%)が約7割で最も割合が高い。次いで「人が触っていないものを買いたいから」(36.3%)の割合が高く、3割台半ばを占めた。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.4参照)

##### ① 性別

「少しでも新しい商品が欲しいから」と答えた割合が男女とも最も高かった。「人が触っていないものを買いたいから」は、男性(32.3%)と比べて女性(39.5%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

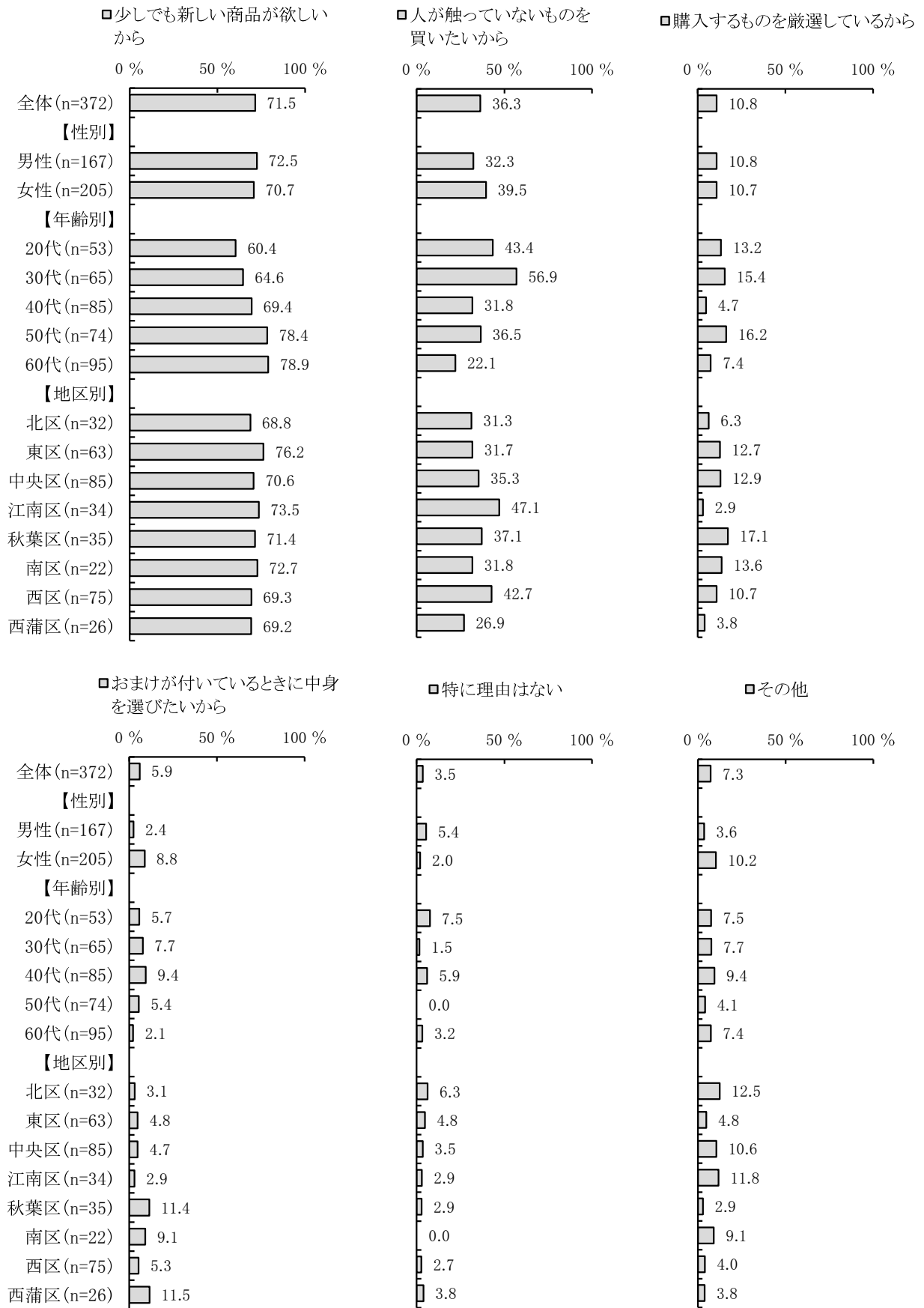
全ての年代で「少しでも新しい商品が欲しいから」と答えた割合が最も高く、年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向にある。「人が触っていないものを買いたいから」と答えた割合は、他の年代と比べて30代(56.9%)で高い。

##### ③ 地区別

全ての地区で「少しでも新しい商品が欲しいから」と答えた割合が最も高く、東区(76.2%)で最も高い。

図 1.4 商品を奥から取る理由

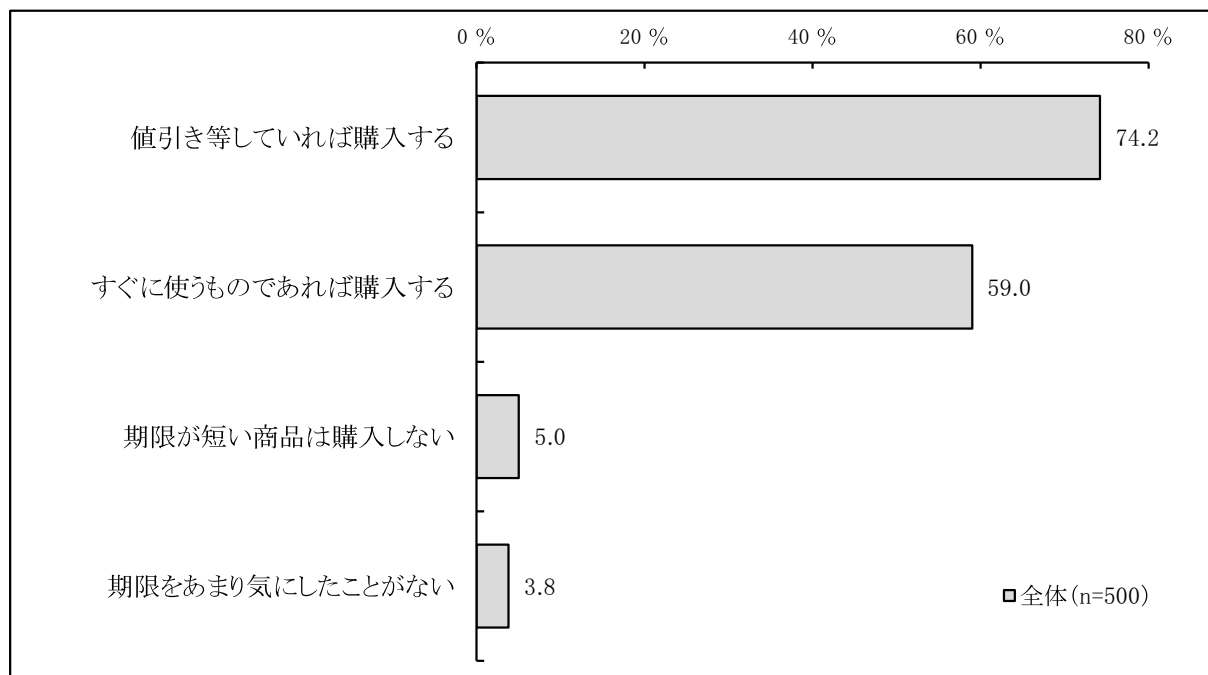
(性別／年齢別／地区別)





## (5) 消費期限や賞味期限が近い商品の購入

問5 あなたは買物の際、消費期限や賞味期限が近い商品を購入することがありますか。



— 「値引き等していれば購入する」が7割半ばでトップ —

### 【全体結果】

消費期限や賞味期限が近い商品の購入について、「値引き等していれば購入する」(74.2%)が7割を超え、最も割合が高い。次いで、「すぐに使うものであれば購入する」(59.0%)で約6割となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1.5参照)

#### ① 性別

「値引き等していれば購入する」と答えた割合が男女とも最も高かった。「すぐに使うものであれば購入する」は、男性(51.0%)と比べて女性(66.9%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

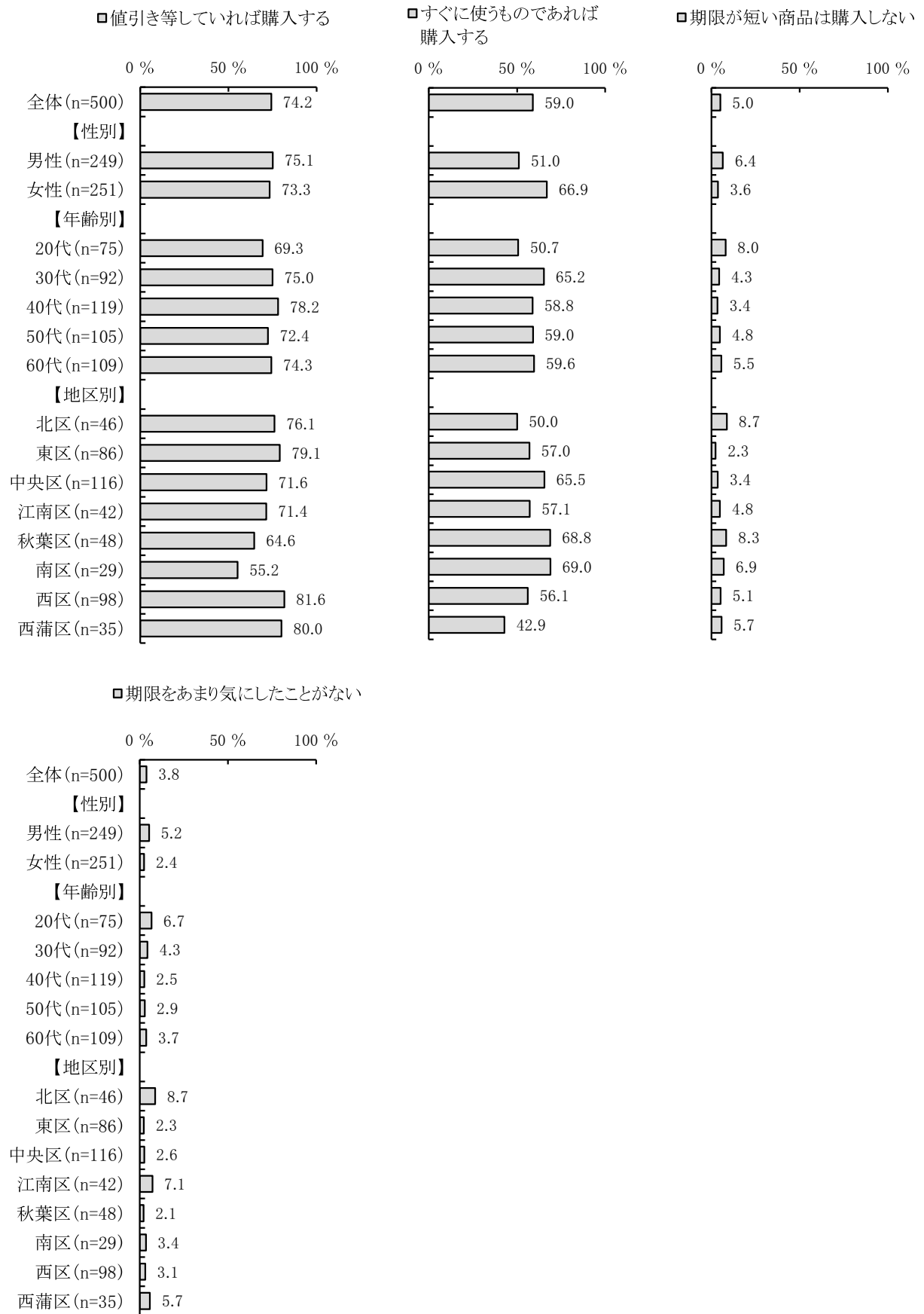
全ての年代で「値引き等していれば購入する」と答えた割合が最も高い。「すぐに使うものであれば購入する」と答えた割合は、他の年代と比べて30代(65.2%)で高い。

#### ③ 地区別

秋葉区、南区以外の全ての地区では「値引き等していれば購入する」と答えた割合が最も高い。秋葉区、南区では「すぐに使うものであれば購入する」(各68.8%、69.0%)と答えた割合が最も高く、約7割を占めた。

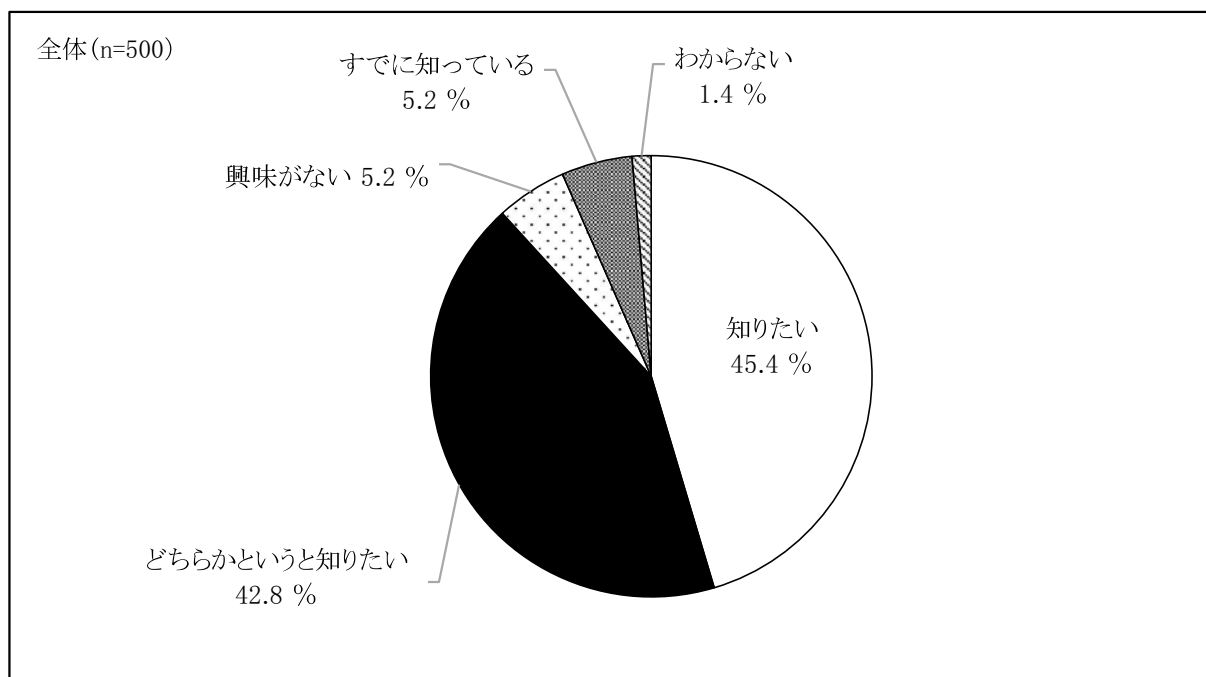
図 1.5 消費期限や賞味期限が近い商品の購入

(性別／年齢別／地区別)



## (6) 食材を長持ちさせる保存方法

問6 あなたは、食材を長持ちさせる保存方法について知りたいと思いますか。



— 約9割が『知りたい』と回答 —

### 【全体結果】

食材を長持ちさせる保存方法について、「知りたい」(45.4%)と「どちらかという知りたい」(42.8%)と合わせた『知りたい』(88.2%)と答えた割合は、約9割を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.6参照)

#### ① 性別

『知りたい』と答えた割合は、男性(83.1%)と比べて女性(93.2%)で高い。

#### ② 年齢別

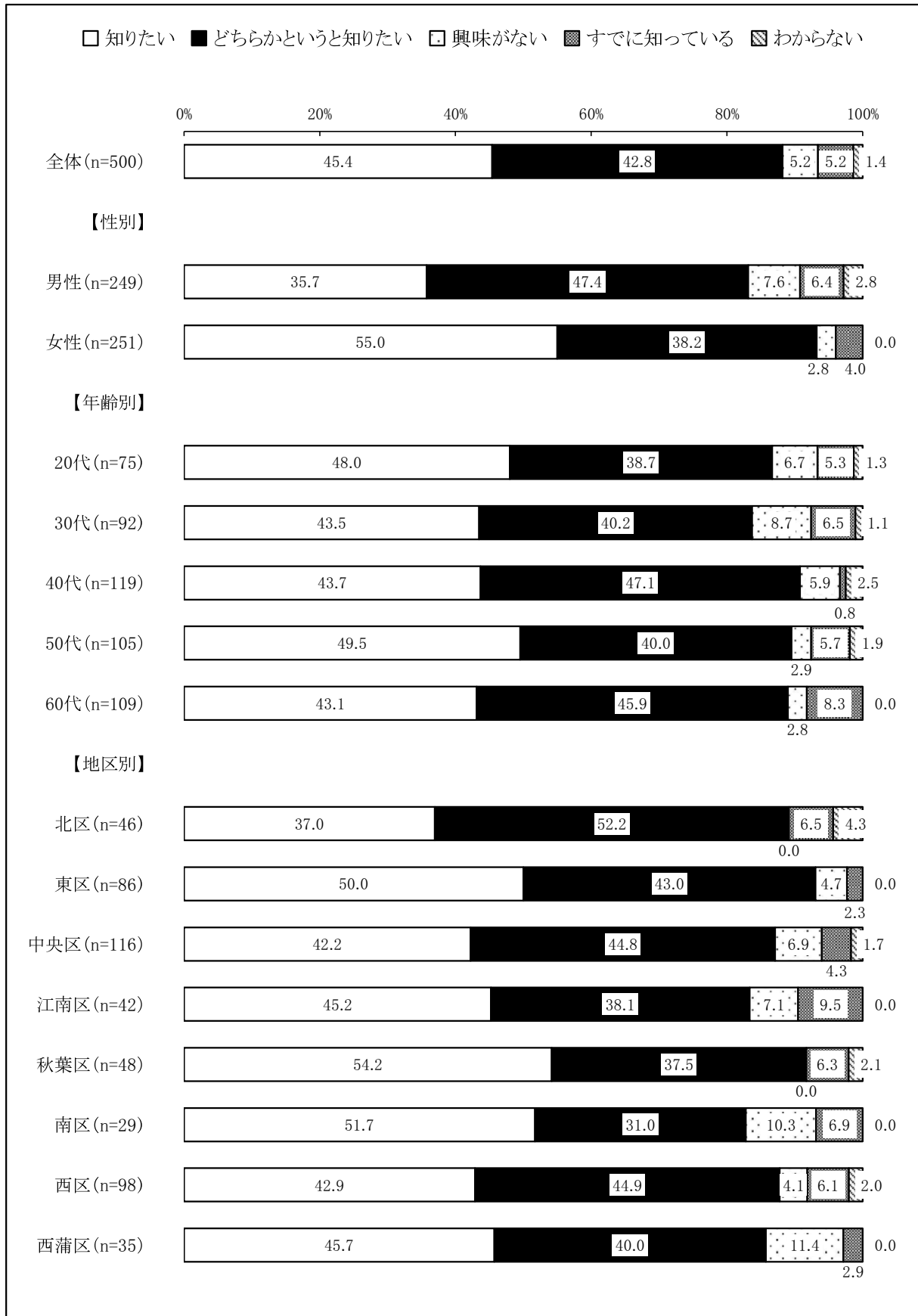
『知りたい』と答えた割合は40代(90.8%)で最も高く、「すでに知っている」と答えた割合は60代(8.3%)で他の年代に比べて高く、約1割となった。

#### ③ 地区別

『知りたい』と答えた割合は東区(93.0%)と秋葉区(91.7%)で高く、9割を超えた。

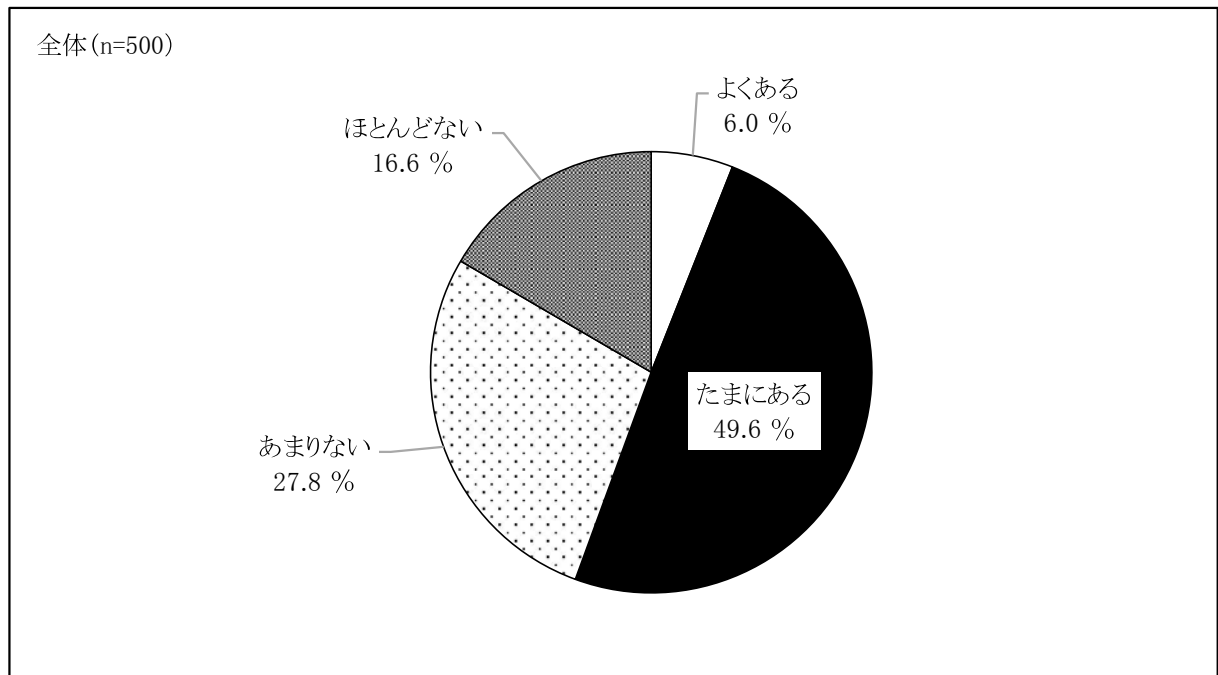
図 1.6 食材を長持ちさせる保存方法

(性別／年齢別／地区別)



## (7) 食材の廃棄について

問7 あなたは食材を捨てたことがありますか。



— 5割以上が『ある』と回答 —

### 【全体結果】

食材を捨てたことがあるかについて、「たまにある」(49.6%)と答えた割合が最も高く、約5割を占めた。「よくある」、「たまにある」を合わせた『ある』(55.6%)と答えた割合は、5割を超えた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.7参照)

#### ① 性別

『ある』と答えた割合は、男性(49.8%)と比べて女性(61.4%)で高い。

#### ② 年齢別

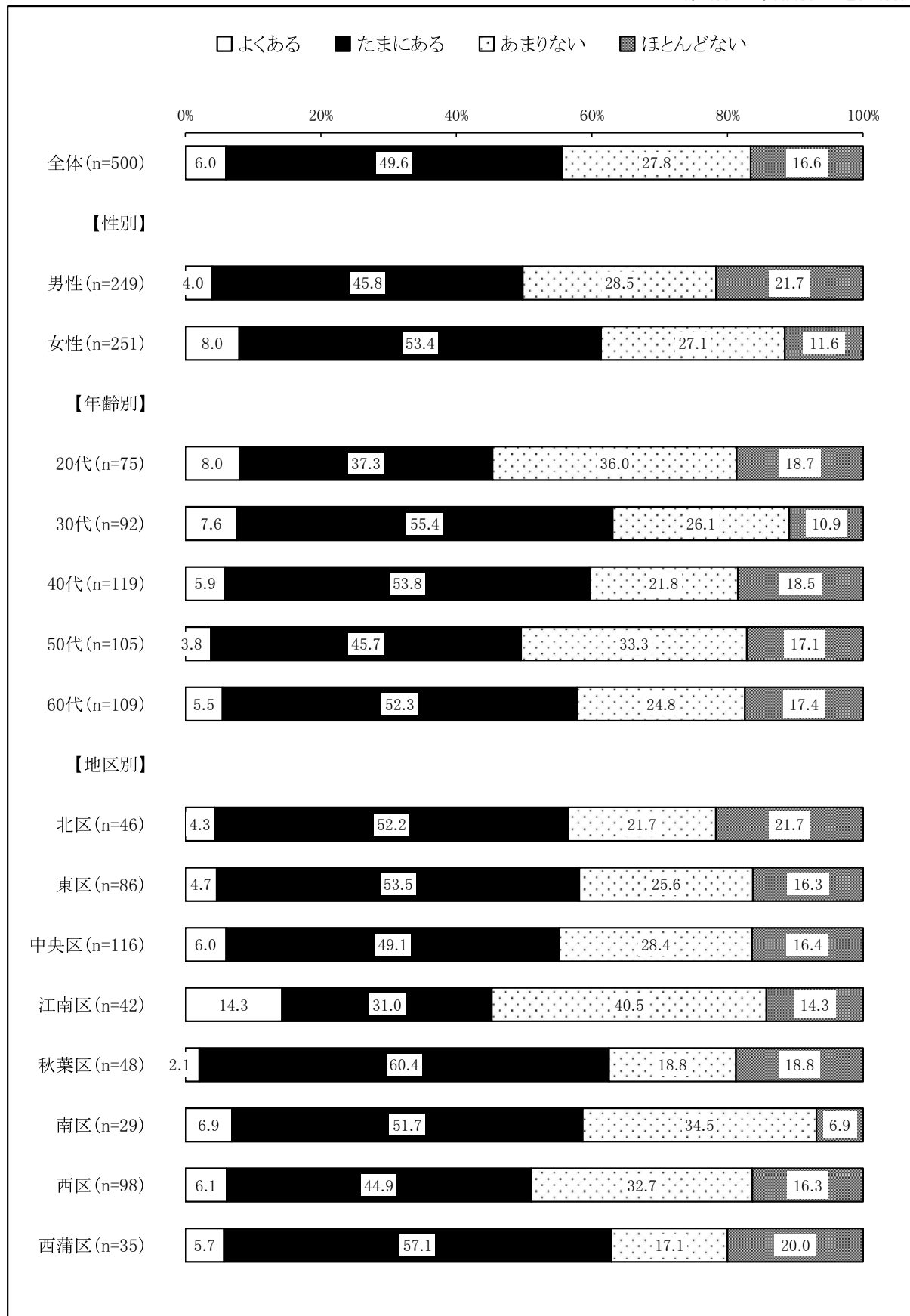
『ある』と答えた割合は、他の年代に比べて30代(63.0%)で高い。

#### ③ 地区別

『ある』と答えた割合は、他の地区に比べて江南区(45.2%)で最も低く、4割以上となった。

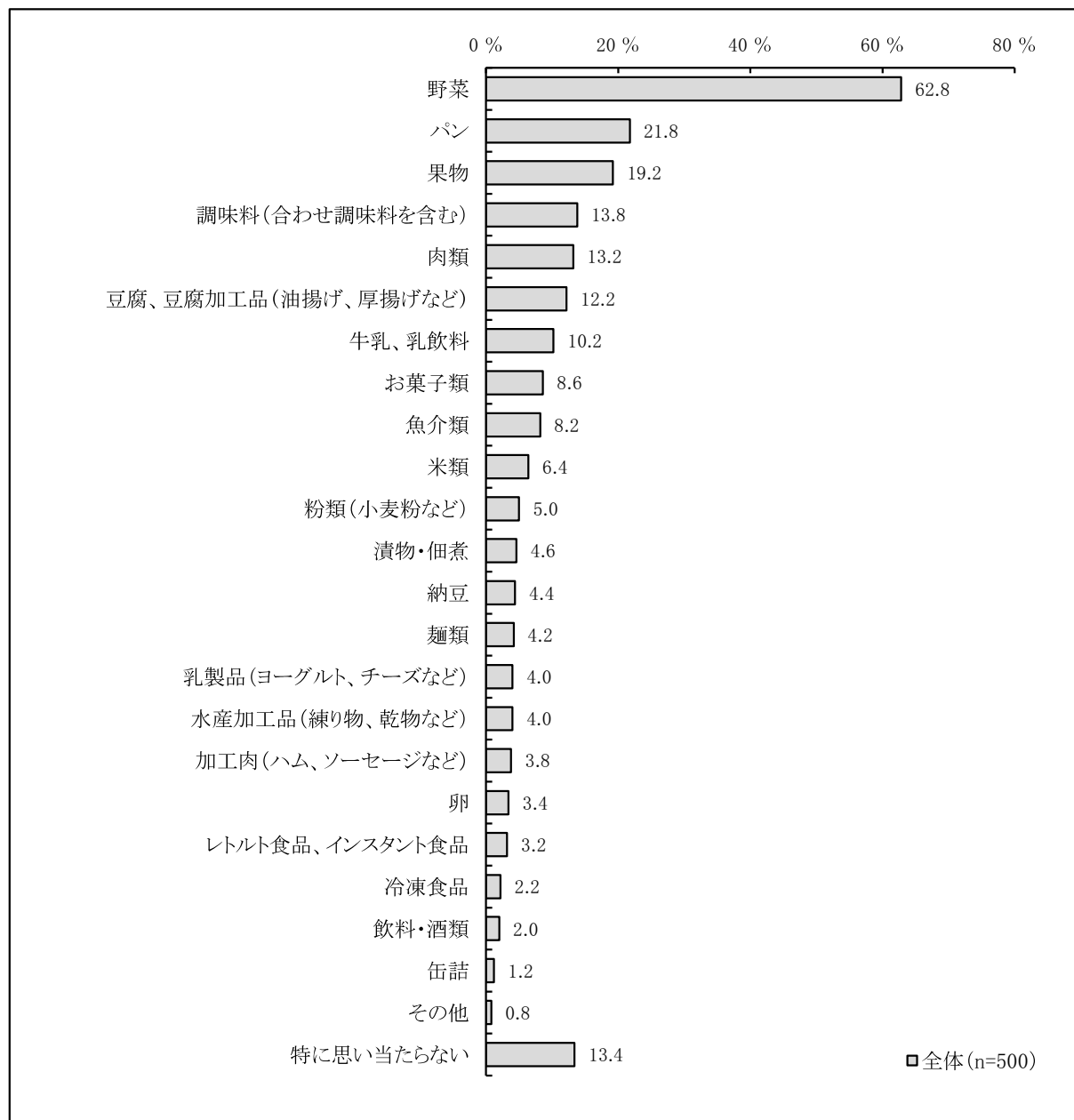
図 1.7 食材の廃棄について

(性別／年齢別／地区別)



## (8) 廃棄した食材

問8 捨てたことのある食材は何ですか。特に捨てることが多い食材を5つまで選んでください。



— 「野菜」が6割以上でトップ —

### 【全体結果】

捨てたことのある食材について、「野菜」(62.8%)が最も割合が高く、6割を超えた。次いで「パン」(21.8%)、「果物」(19.2%)が約2割、「調味料(合わせ調味料を含む)」(13.8%)、「肉類」(13.2%)、「豆腐、豆腐加工品(油揚げ、厚揚げなど)」(12.2%)、「牛乳、乳飲料」(10.2%)が1割台で続き、その他の項目は1割未満という結果となった。

**【属性別結果】（次ページ図 1.8 参照）**

**① 性別**

男女とも「野菜」と答えた割合が最も高く、半数以上が捨てたことがあると答えた。男性（51.4%）と比べて女性（74.1%）で割合が高い。

**② 年齢別**

全ての年代で「野菜」と答えた割合が最も高く、年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向にある。40代では、他の年代に比べ「パン」（31.1%）と答えた割合が高く、約3割となった。

**③ 地区別**

全ての地区で「野菜」と答えた割合が最も高く、西蒲区（71.4%）で最も高い。



図 1.8-1 廃棄した食材

(性別／年齢別／地区別)

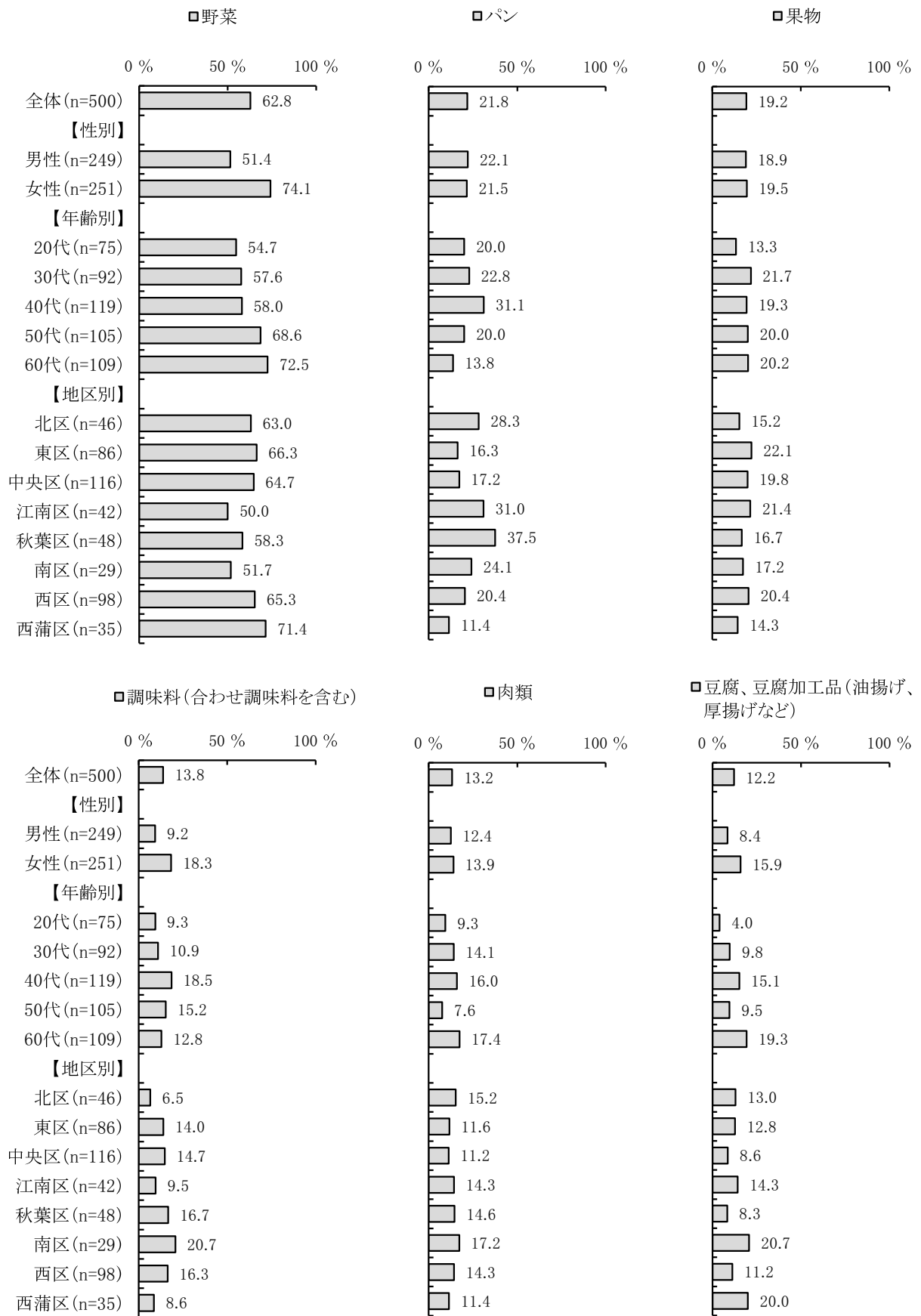


図 1.8-2 廃棄した食材

(性別／年齢別／地区別)

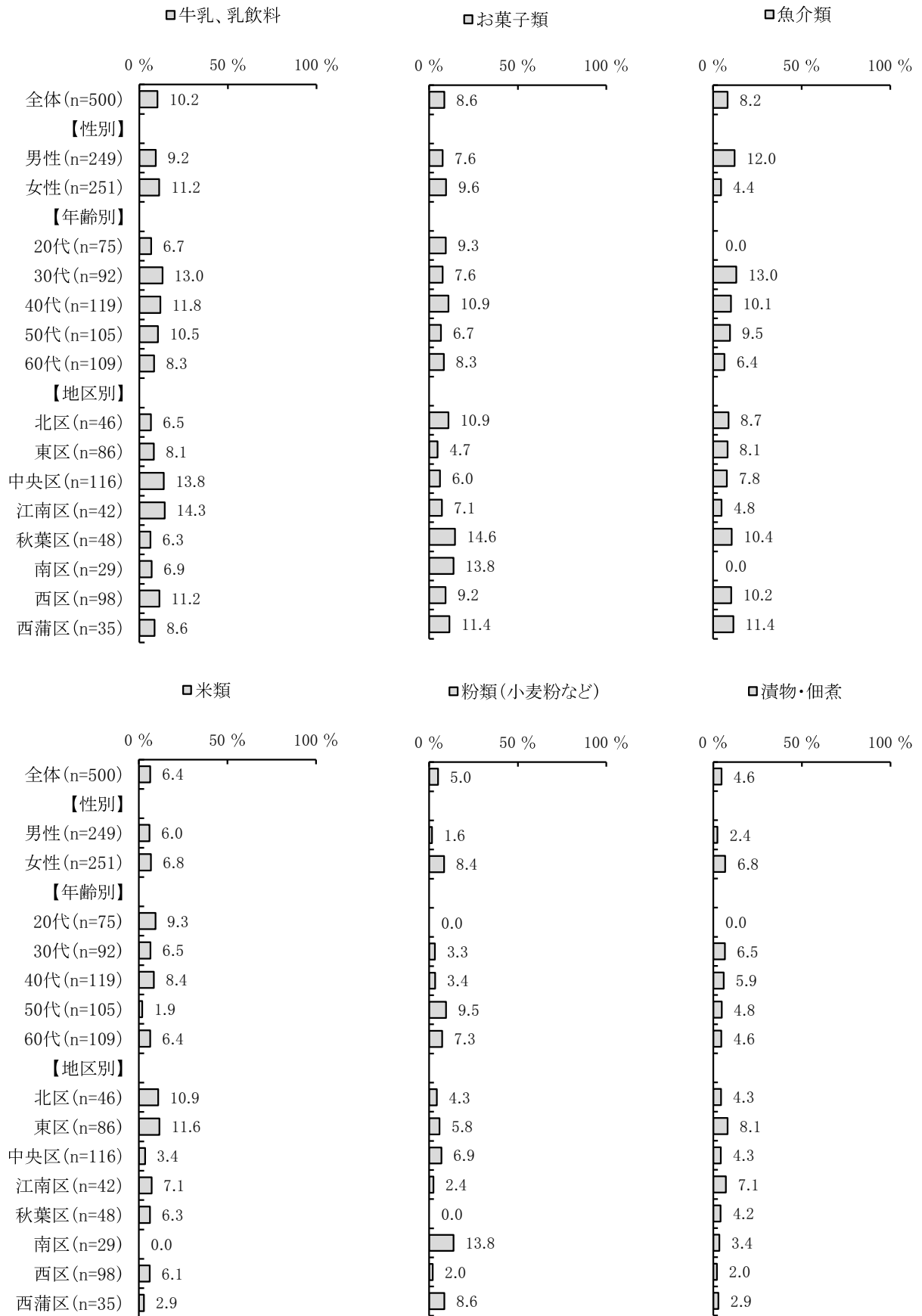


図 1.8-3 廃棄した食材

(性別／年齢別／地区別)

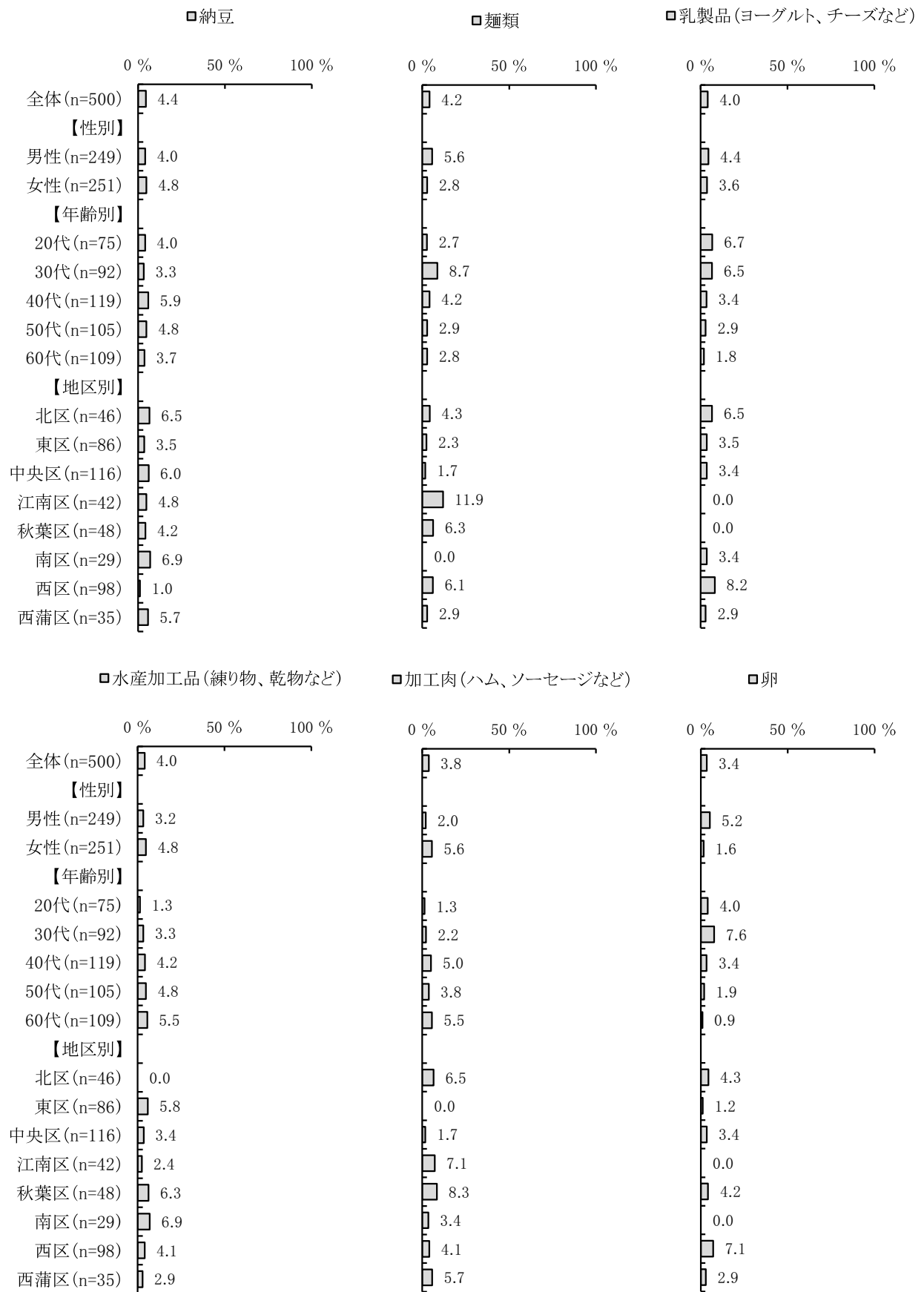
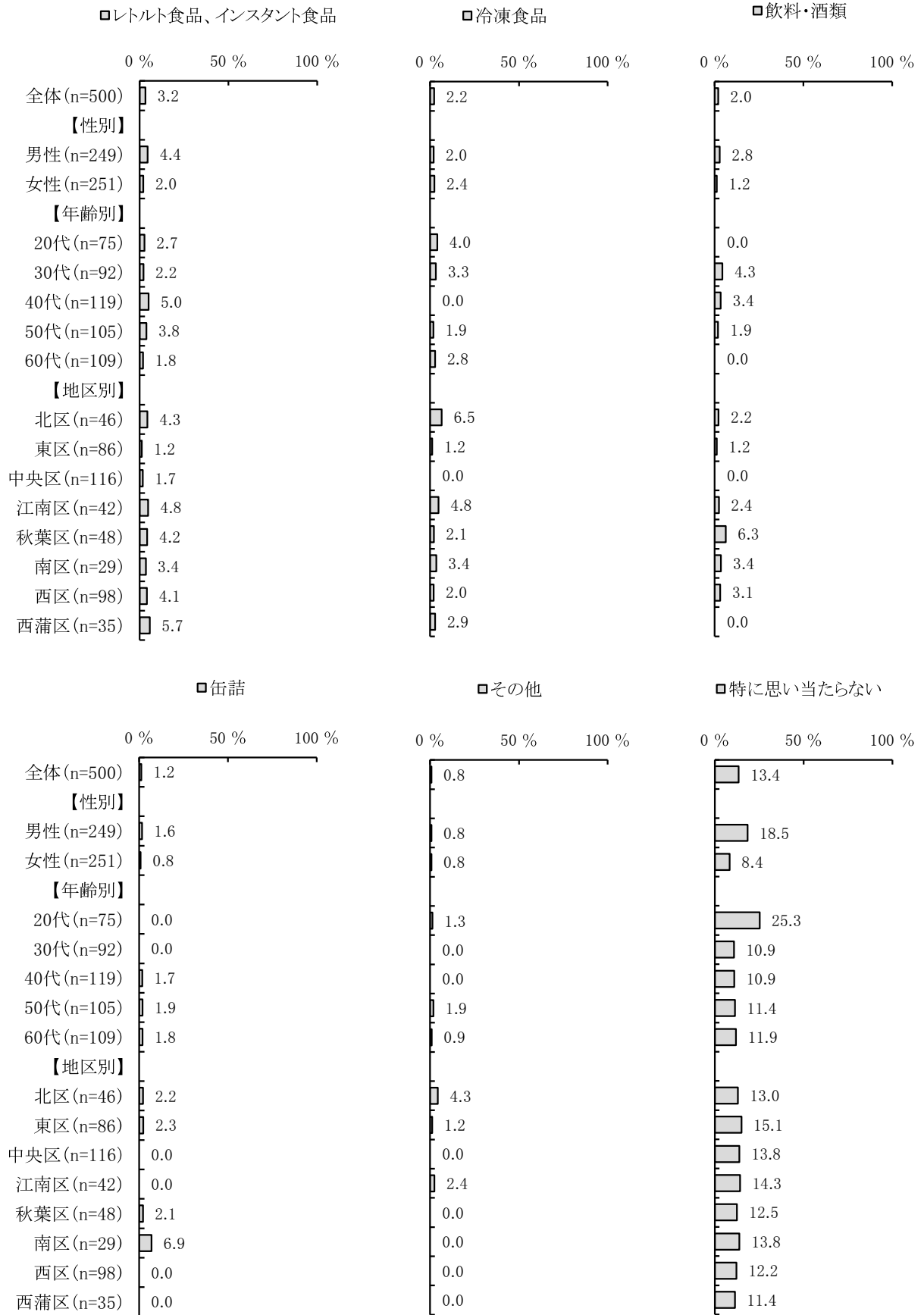


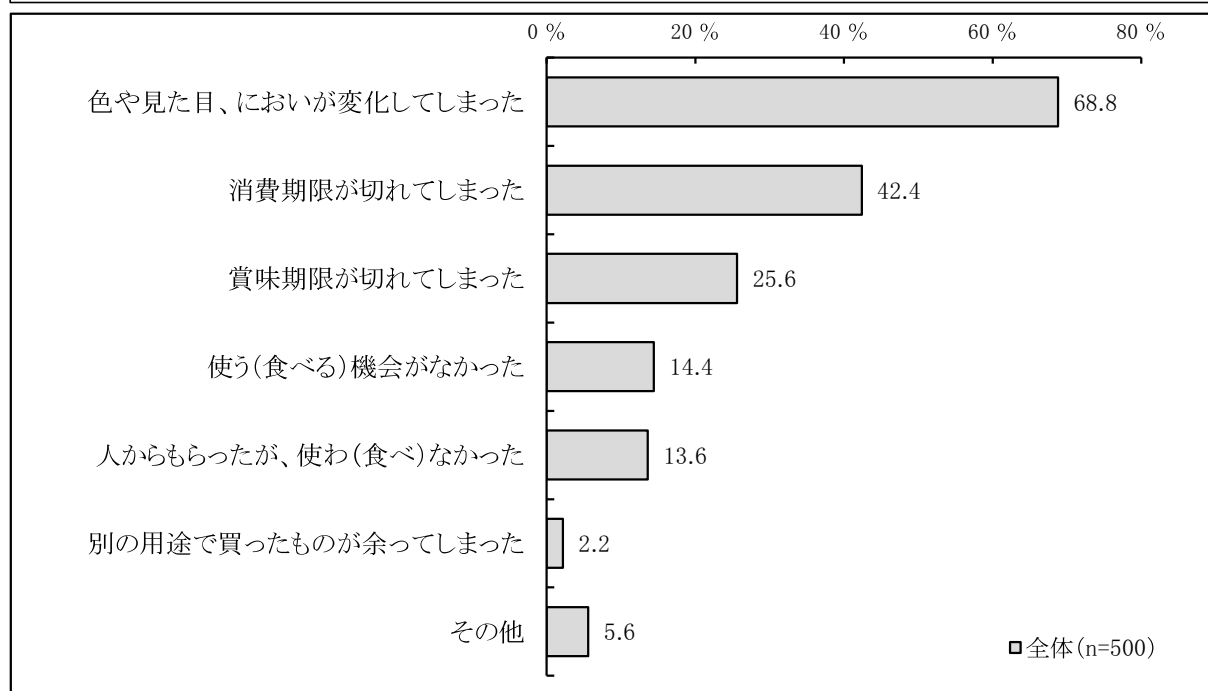
図 1.8-4 廃棄した食材

(性別／年齢別／地区別)



## (9) 廃棄理由

問9 あなたが、食材を捨てた理由は何ですか。



— 「色や見た目、においに変化してしまった」が約7割でトップ —

### 【全体結果】

食材を捨てた理由について、「色や見た目、においに変化してしまった」(68.8%)が最も割合が高く、約7割を占めた。次いで「消費期限が切れてしまった」(42.4%)が4割台、「賞味期限が切れてしまった」(25.6%)が2割台、「使う(食べる)機会がなかった」(14.4%)、「人からもらったが、使わ(食べ)なかった」(13.6%)が1割台で続く。

### 【属性別結果】(次ページ図1.9参照)

#### ① 性別

男女とも「色や見た目、においに変化してしまった」と答えた割合が最も高く、性別での差はほとんどない。「消費期限が切れてしまった」、「使う(食べる)機会がなかった」、「人からもらったが、使わ(食べ)なかった」は、男性(各22.1%、12.9%、10.4%)と比べて女性(各29.1%、15.9%、16.7%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

全ての年代で「色や見た目、においに変化してしまった」と答えた割合が最も高い。60代では他の年代に比べ「使う(食べる)機会がなかった」(24.8%)の割合が高い。

#### ③ 地区別

全ての地区で「色や見た目、においに変化してしまった」と答えた割合が最も高い。西蒲区では他の年代に比べ「色や見た目、においに変化してしまった」(85.7%)の割合が高く、8割以上となった。

図 1.9-1 廃棄理由

(性別／年齢別／地区別)

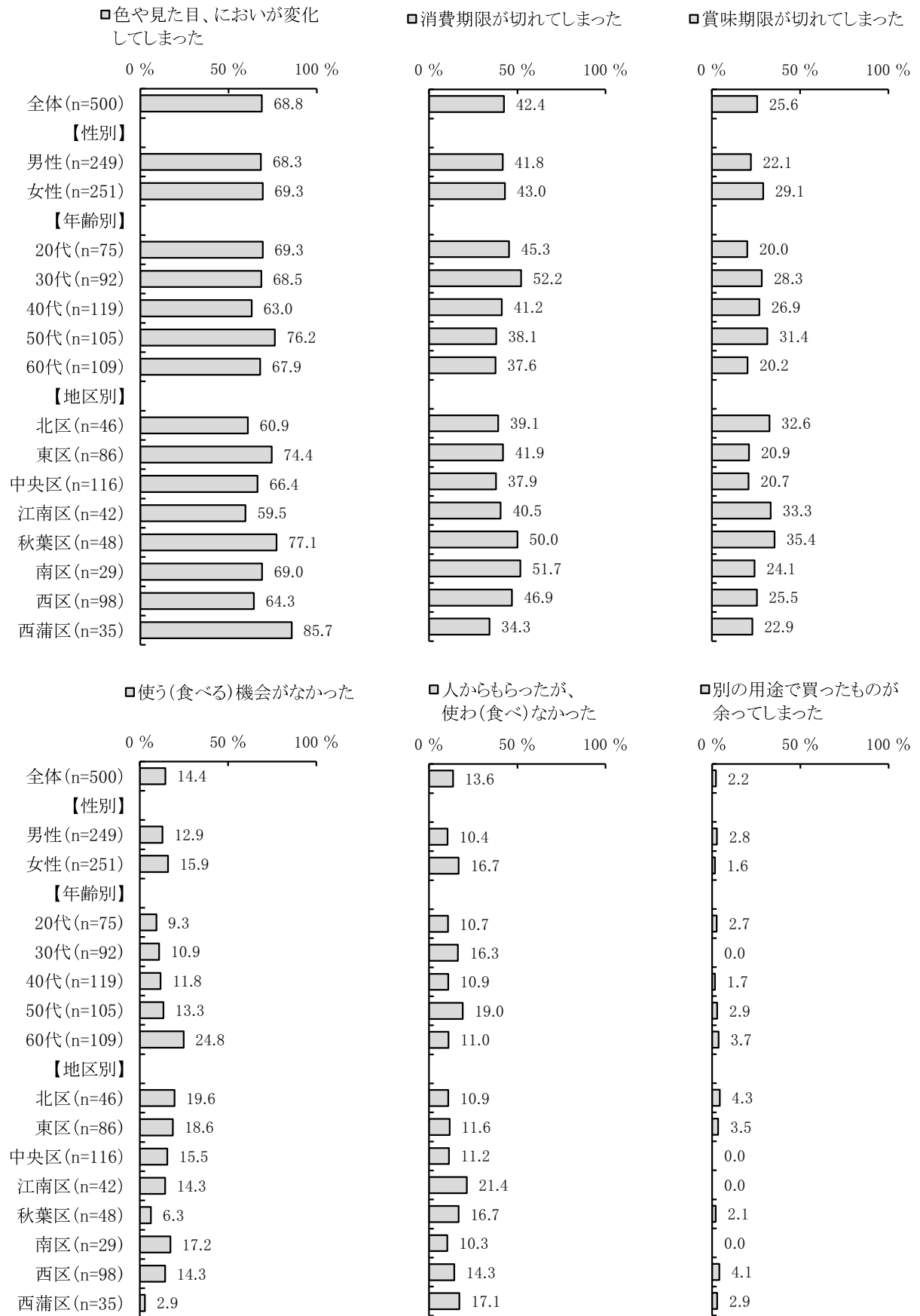
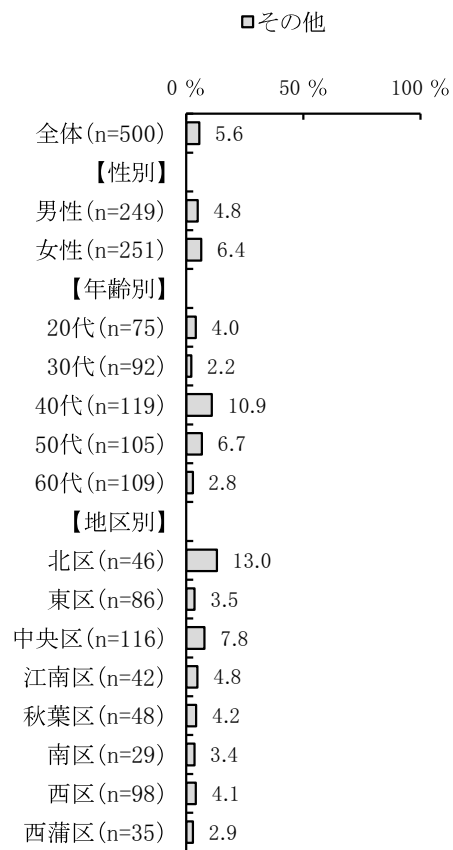


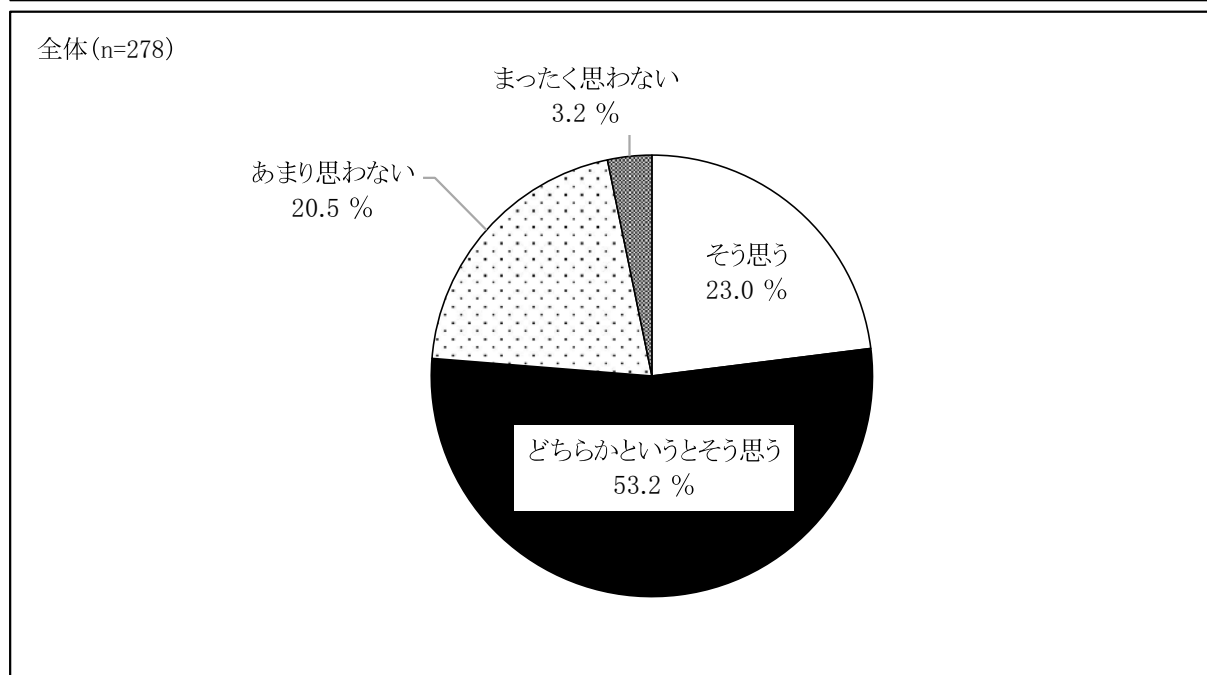
図 1.9-2 廃棄理由

(性別／年齢別／地区別)



## (10) 食材の寄付について

問10 問7で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
あなたは、自分では使わない食材を寄付したり、使いたい人に渡したりする機会があれば、活用したいと思いますか。



— 7割以上が『そう思う』と回答 —

### 【全体結果】

食材の寄付の機会を活用したいかについて、「そう思う」(23.0%)、「どちらかというそう思う」(53.2%)を合わせた『そう思う』(76.3%)と答えた割合は、7割以上を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.10参照)

#### ① 性別

『そう思う』と答えた割合は、男女別でほとんど差はみられないが、「そう思う」と答えた割合は、男性(17.7%)と比べて女性(27.3%)で高い。

#### ② 年齢別

『そう思う』と答えた割合は、20代(79.4%)と50代(80.8%)で高く、約8割となった。

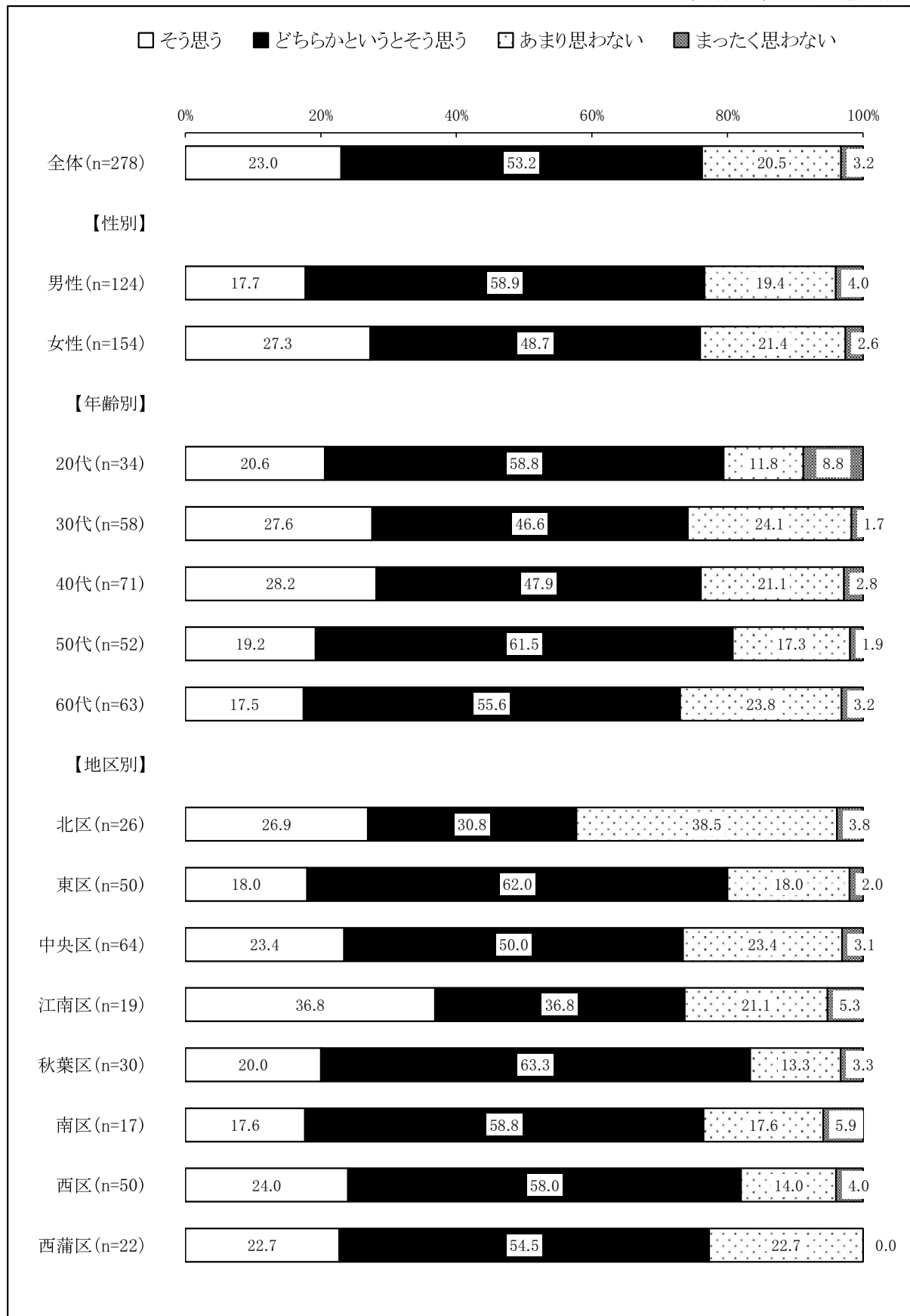
#### ③ 地区別

北区以外では、『そう思う』と答えた割合は7割を超えた。北区では57.7%となり、他の地区と比べ低い。



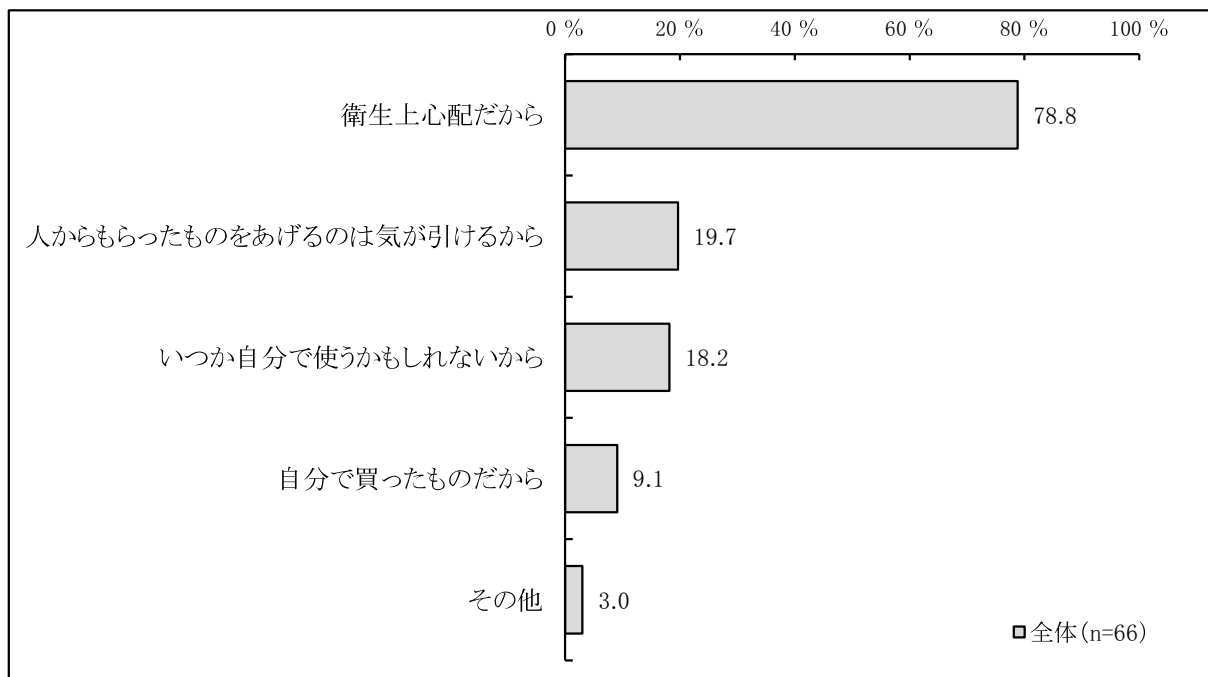
図 1.10 食材の寄付について

(性別／年齢別／地区別)



### (11) 食材の寄付を活用したくない理由

問11 問10で「あまり思わない」「まったく思わない」と答えた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。



— 「衛生上心配だから」が約8割でトップ —

#### 【全体結果】

食材の寄付を活用したくない理由について、「衛生上心配だから」(78.8%)が最も割合が高く、約8割を占めた。次いで「人からもらったものをあげるのは気が引けるから」(19.7%)、「いつか自分で使うかもしれないから」(18.2%)が約2割、「自分で買ったものだから」(9.1%)と続く結果となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.11参照)

##### ① 性別

男女とも「衛生上心配だから」と答えた割合が最も高く、性別での差はほとんどない。「人からもらったものをあげるのは気が引けるから」は、男性(10.3%)と比べて女性(27.0%)で割合が高い。「いつか自分で使うかもしれないから」は、女性(16.2%)と比べて男性(20.7%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

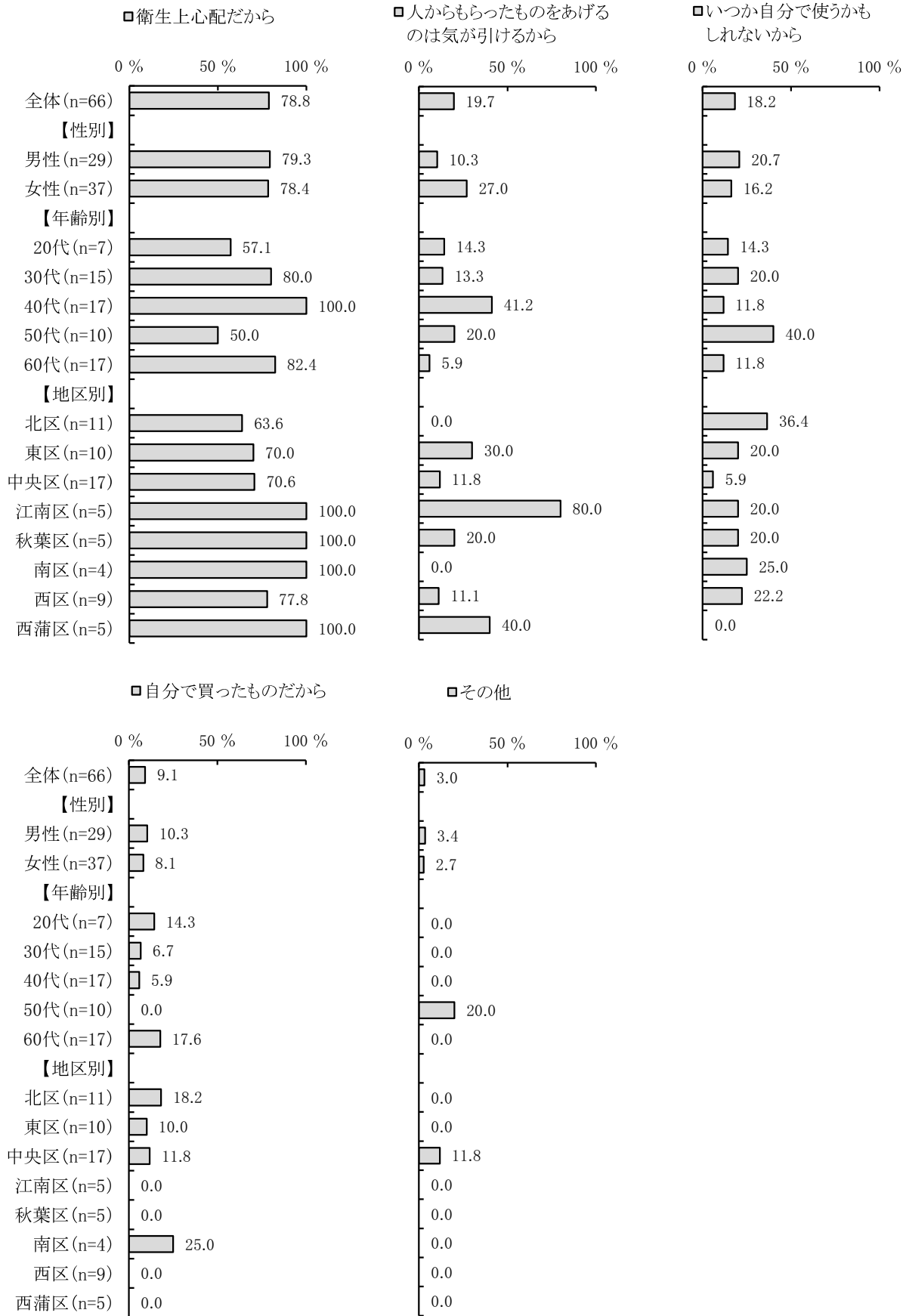
全ての年代で「衛生上心配だから」と答えた割合が最も高い。

##### ③ 地区別

全ての地区で「衛生上心配だから」と答えた割合が最も高い。江南区では、「人からもらったものをあげるのは気が引けるから」(80.0%)の割合も他の地区と比べて高い。

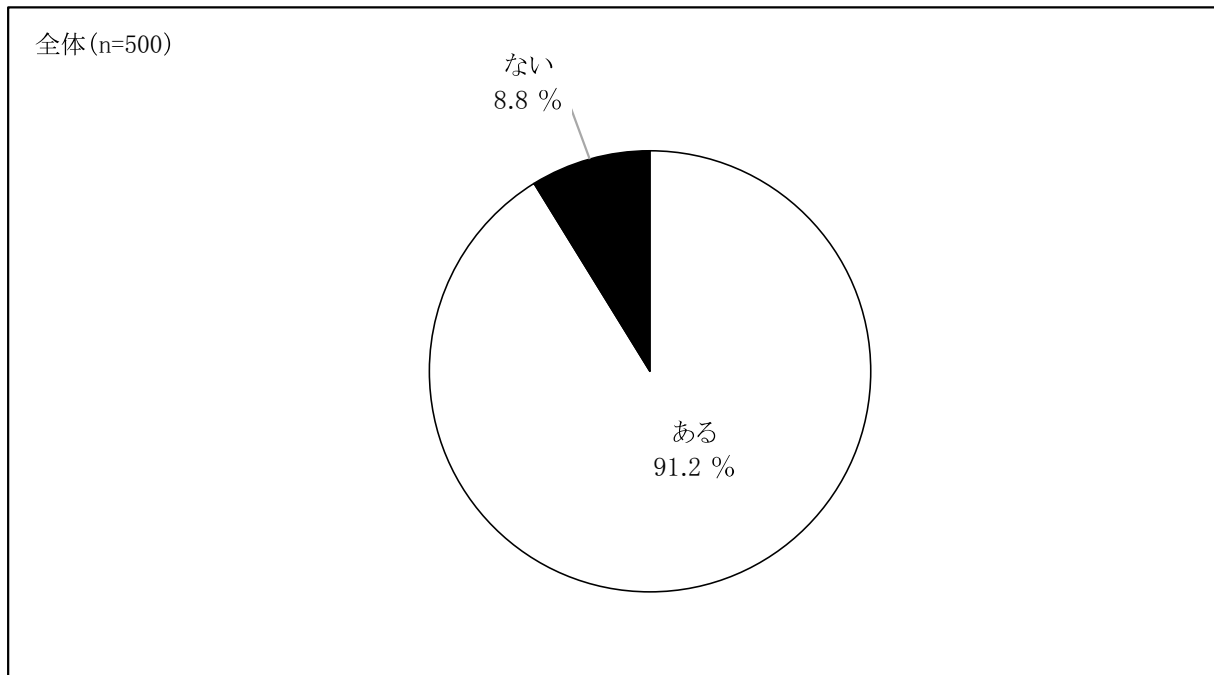
図 1.11 食材の寄付を活用したくない理由

(性別／年齢別／地区別)



## (12) 消費期限や賞味期限について

問12 あなたの家では、消費期限や賞味期限が切れてしまうことはありますか。  
(開封済・未開封問わず)



— 約9割が「ある」と回答 —

### 【全体結果】

消費期限や賞味期限が切れてしまうことがあるかについて、「ある」(91.2%)と答えた割合が約9割を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.12参照)

#### ① 性別

「ある」と答えた割合は、男性(88.4%)と比べて女性(94.0%)で高い。

#### ② 年齢別

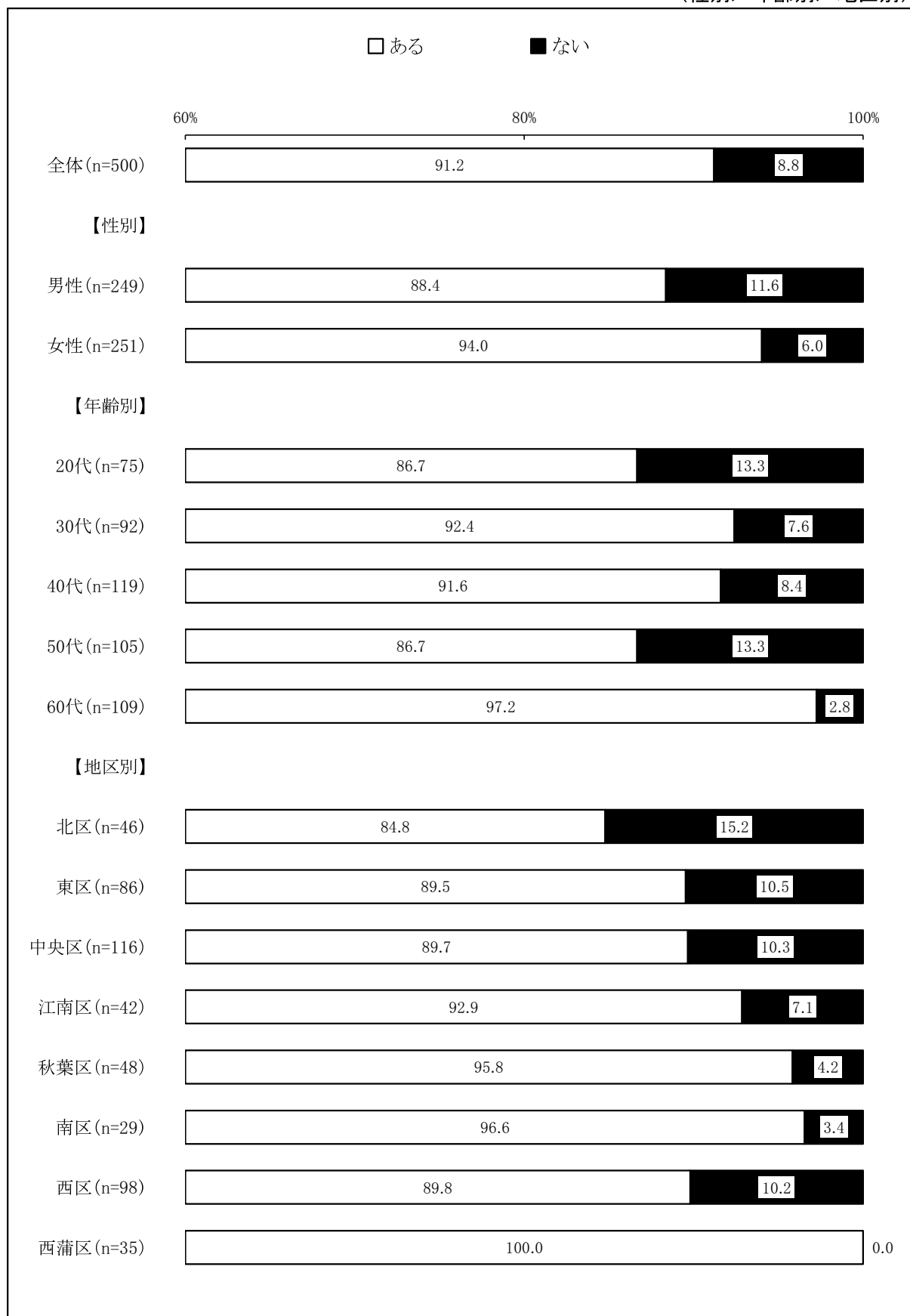
「ある」と答えた割合は、60代(97.2%)で最も高い。

#### ③ 地区別

「ある」と答えた割合は、西蒲区(100.0%)で最も高い。

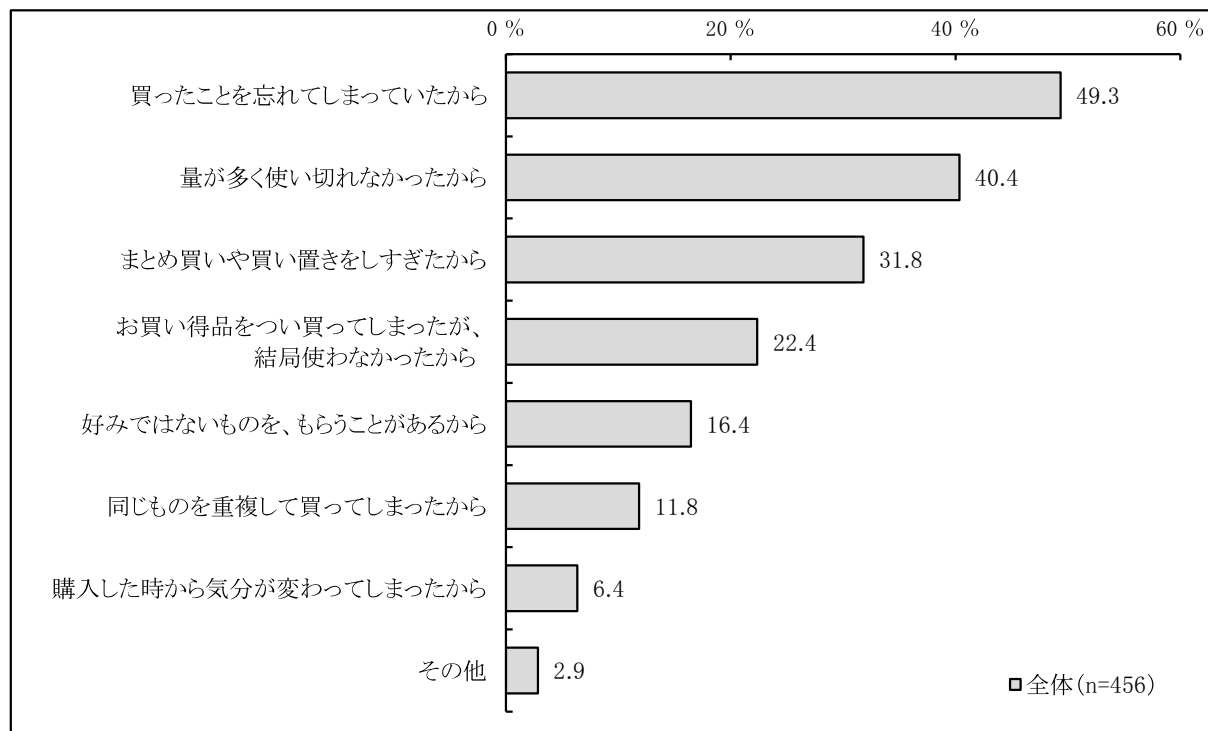
図 1.12 消費期限や賞味期限について

(性別／年齢別／地区別)



### (13) 期限が切れてしまう理由

問13 問12で「ある」と答えた方にお聞きします。  
期限が切れてしまう理由は何だと思えますか。



— 「買ったことを忘れてしまっていたから」が約5割でトップ —

#### 【全体結果】

期限が切れてしまう理由について、「買ったことを忘れてしまっていたから」(49.3%)が約5割で最も割合が高い。次いで「量が多く使い切れなかったから」(40.4%)が約4割、「まとめ買いや買い置きをしすぎたから」(31.8%)が約3割、「お買い得品をつい買ってしまっただが、結局使わなかったから」(22.4%)が約2割、「好みではないものを、もらうことがあるから」(16.4%)、「同じものを重複して買ってしまったから」(11.8%)が1割台で続く。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.13参照)

##### ① 性別

男女とも「買ったことを忘れてしまっていたから」と答えた割合が最も高い。女性(45.3%)と比べて男性(53.6%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

20代以外の年代では「買ったことを忘れてしまっていたから」と答えた割合が最も高い。20代では「量が多く使い切れなかったから」(47.7%)と答えた割合が最も高い。

##### ③ 地区別

東区以外の地区では「買ったことを忘れてしまっていたから」と答えた割合が最も高い。東区では「量が多く使い切れなかったから」(45.5%)と答えた割合が最も高い。

図 1.13-1 期限が切れてしまう理由

(性別／年齢別／地区別)

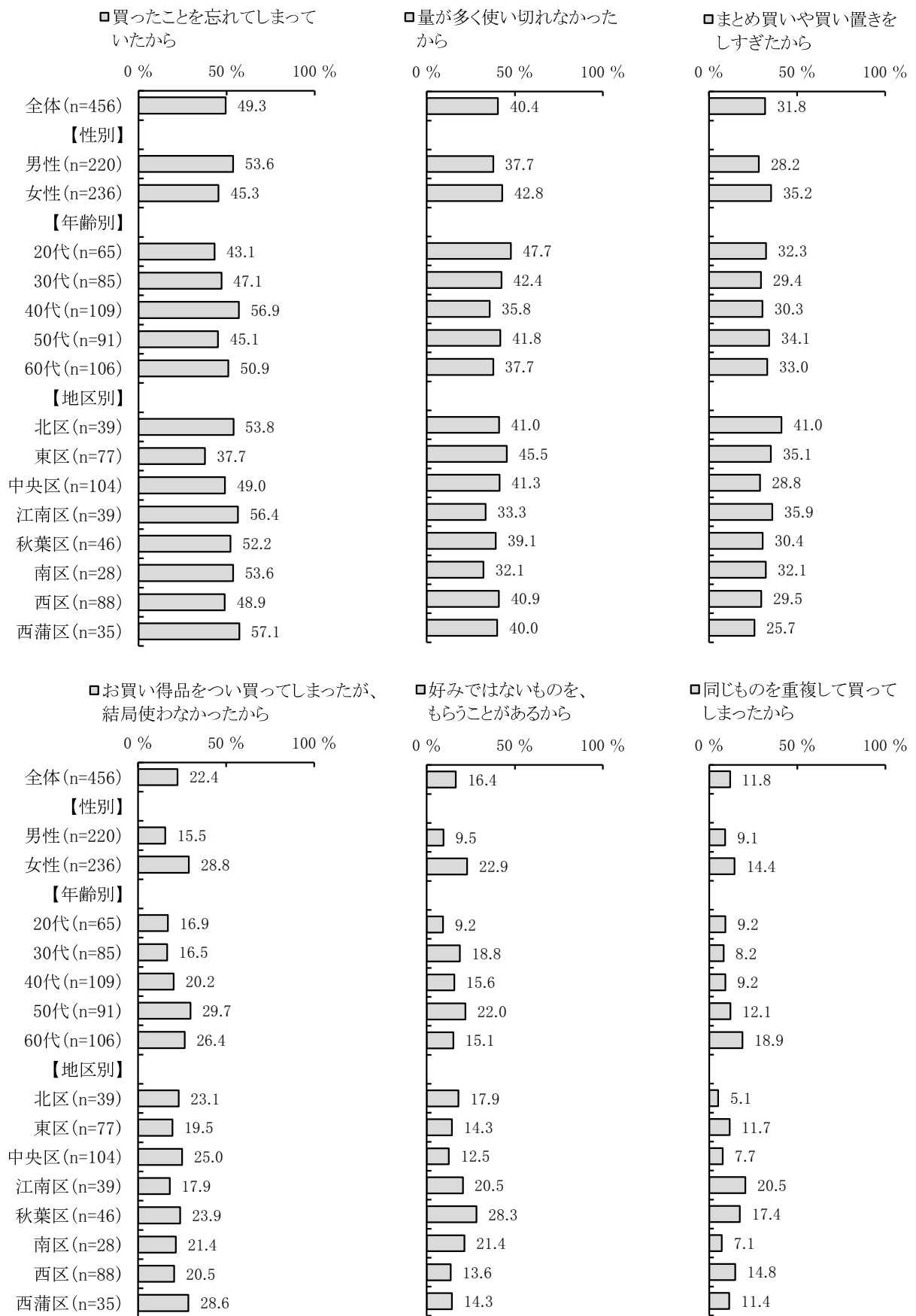
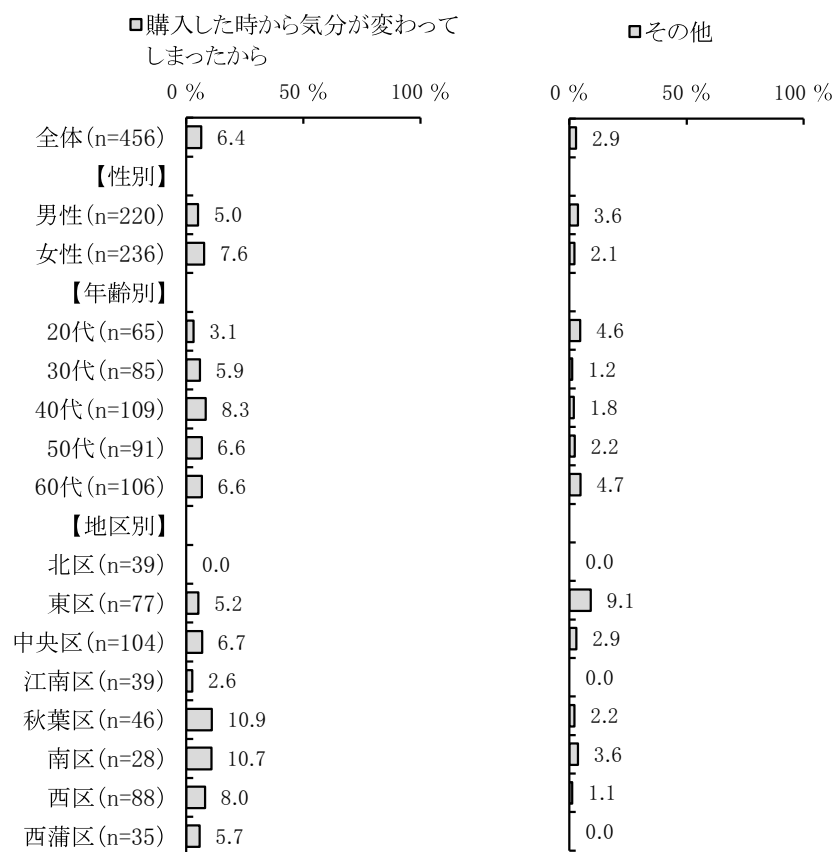


図 1.13-2 期限が切れてしまう理由

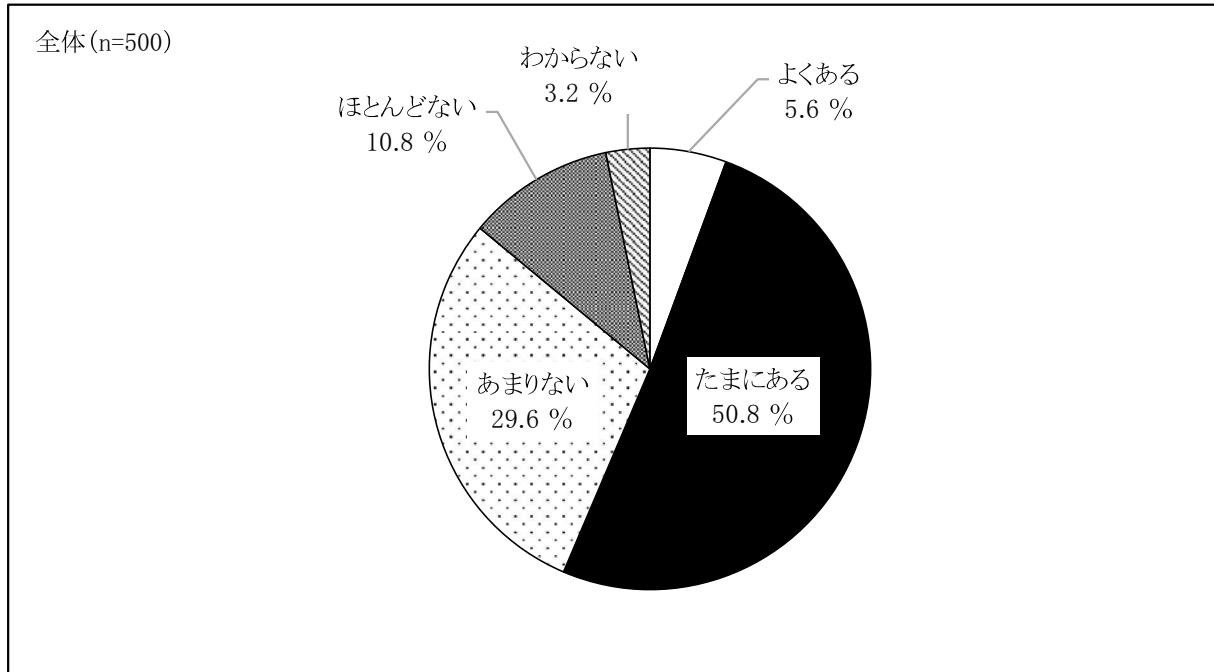
(性別／年齢別／地区別)





#### (14) 消費期限や賞味期限の表示がない食品について

問14 あなたは、消費期限や賞味期限の表示がない食品を食べられるかどうか、迷ったことがありますか。



— 5割以上が『ある』と回答 —

#### 【全体結果】

消費期限や賞味期限の表示がない食品を食べられるかどうか迷ったことがあるかについて、「たまにある」(50.8%)と答えた割合が最も高く、約5割を占めた。「よくある」、「たまにある」を合わせた『ある』(56.4%)と答えた割合は、5割を超えた。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.14参照)

##### ① 性別

『ある』と答えた割合は、男性(49.4%)と比べて女性(63.3%)で高い。

##### ② 年齢別

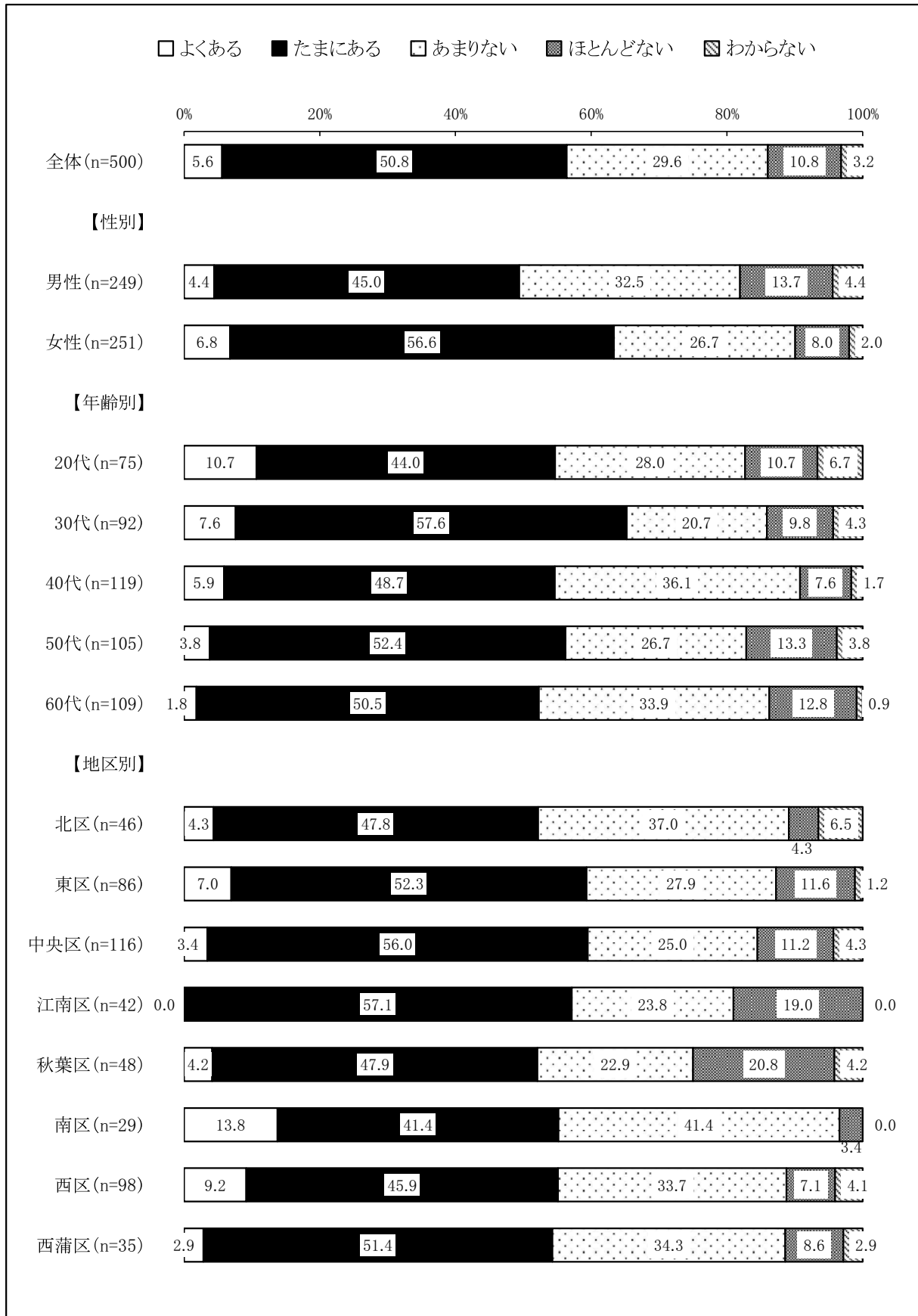
『ある』と答えた割合は、30代(65.2%)で最も高く、6割以上となった。

##### ③ 地区別

『ある』と答えた割合は、地区別で大きな差はなく、5~6割となった。

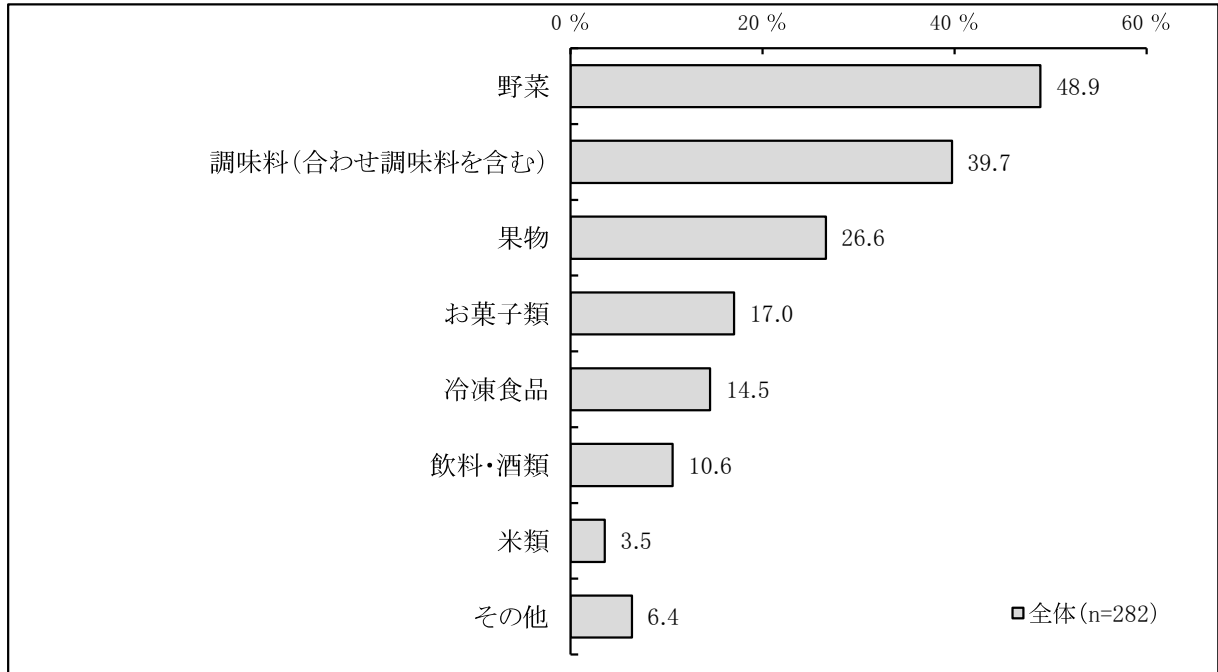
図 1.14 消費期限や賞味期限の表示がない食品について

(性別／年齢別／地区別)



### (15) 食べられるかどうか迷ったことがある食品

問15 問14で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
その食品は何ですか。



#### — 「野菜」が約5割でトップ —

#### 【全体結果】

食べられるかどうか迷ったことがある食品について、「野菜」(48.9%)が約5割を占め、最も割合が高い。次いで「調味料(合わせ調味料を含む)」(39.7%)、「果物」(26.6%)、「お菓子類」(17.0%)、「冷凍食品」(14.5%)、「飲料・酒類」(10.6%)、米類(3.5%)と続く結果となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.15参照)

##### ① 性別

男女とも「野菜」と答えた割合が最も高い。「調味料(合わせ調味料を含む)」は、男性(32.5%)と比べて女性(45.3%)で割合が高い。「果物」、「お菓子類」、「冷凍食品」は、女性(各24.5%、15.7%、12.6%)と比べて男性(各29.3%、18.7%、17.1%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

20代以外の年代では「野菜」と答えた割合が最も高い。20代では「調味料(合わせ調味料を含む)」(46.3%)と答えた割合が最も高かった。

##### ③ 地区別

北区、南区、西区以外の地区では、「野菜」と答えた割合が最も高い。北区、南区、西区では「調味料(合わせ調味料を含む)」(各58.3%、50.0%、40.7%)と答えた割合が高い。

図 1.15-1 食べられるかどうか迷ったことがある食品

(性別／年齢別／地区別)

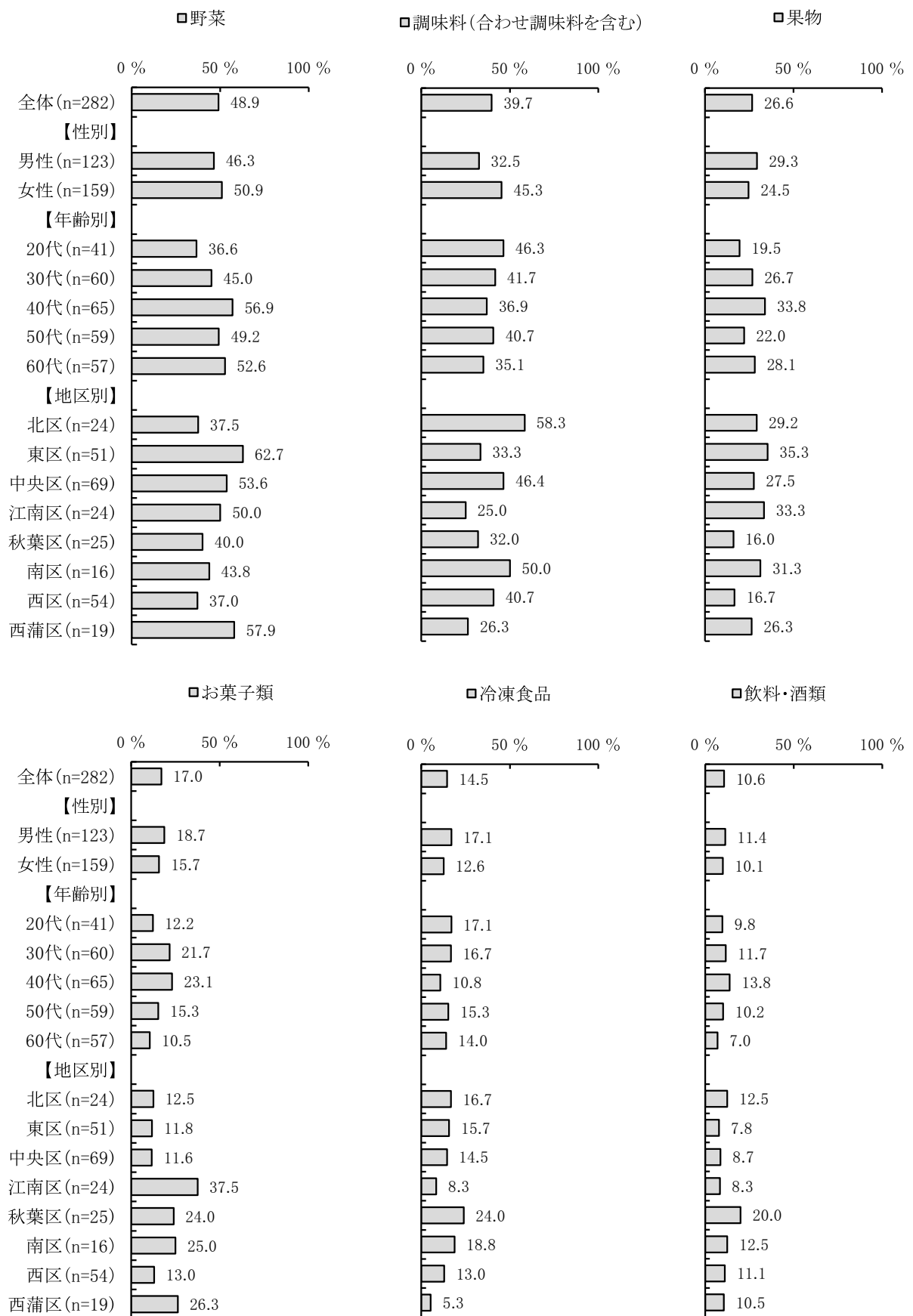
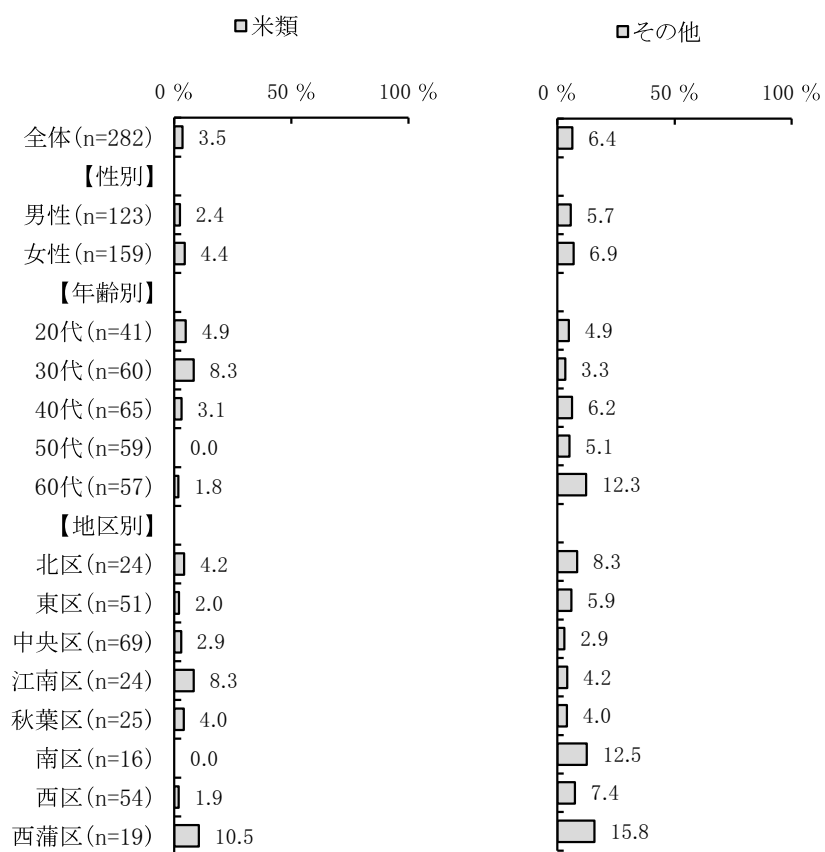


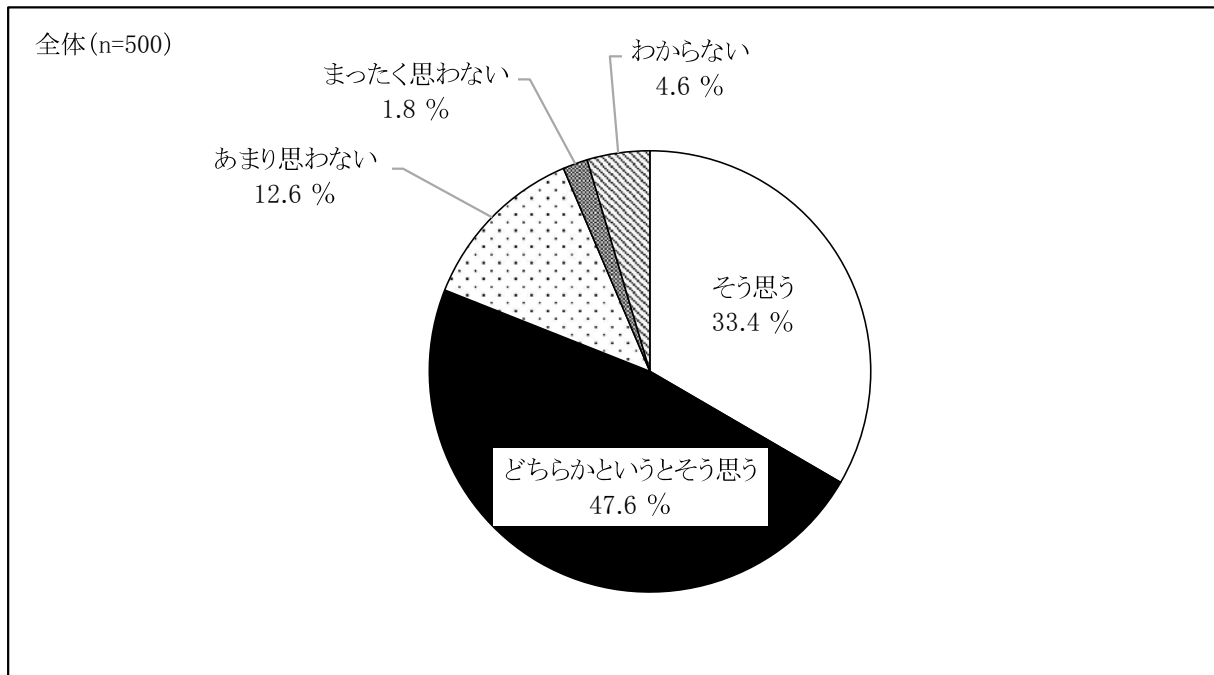
図 1.15-2 食べられるかどうか迷ったことがある食品

(性別／年齢別／地区別)



## (16) 食材レシピについて

問16 あなたは、食材の使い方に迷ったときに、それを使い切るレシピがあれば、食材を捨てる機会が減ると思いますか。



— 約8割が『そう思う』と回答 —

### 【全体結果】

レシピがあれば食材を捨てる機会が減ると思うかについて、「そう思う」(33.4%)、「どちらかというと思う」(47.6%)を合わせた『そう思う』(81.0%)と答えた割合は、約8割を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.16参照)

#### ① 性別

『そう思う』と答えた割合は、男性(76.3%)と比べて女性(85.7%)で高い。

#### ② 年齢別

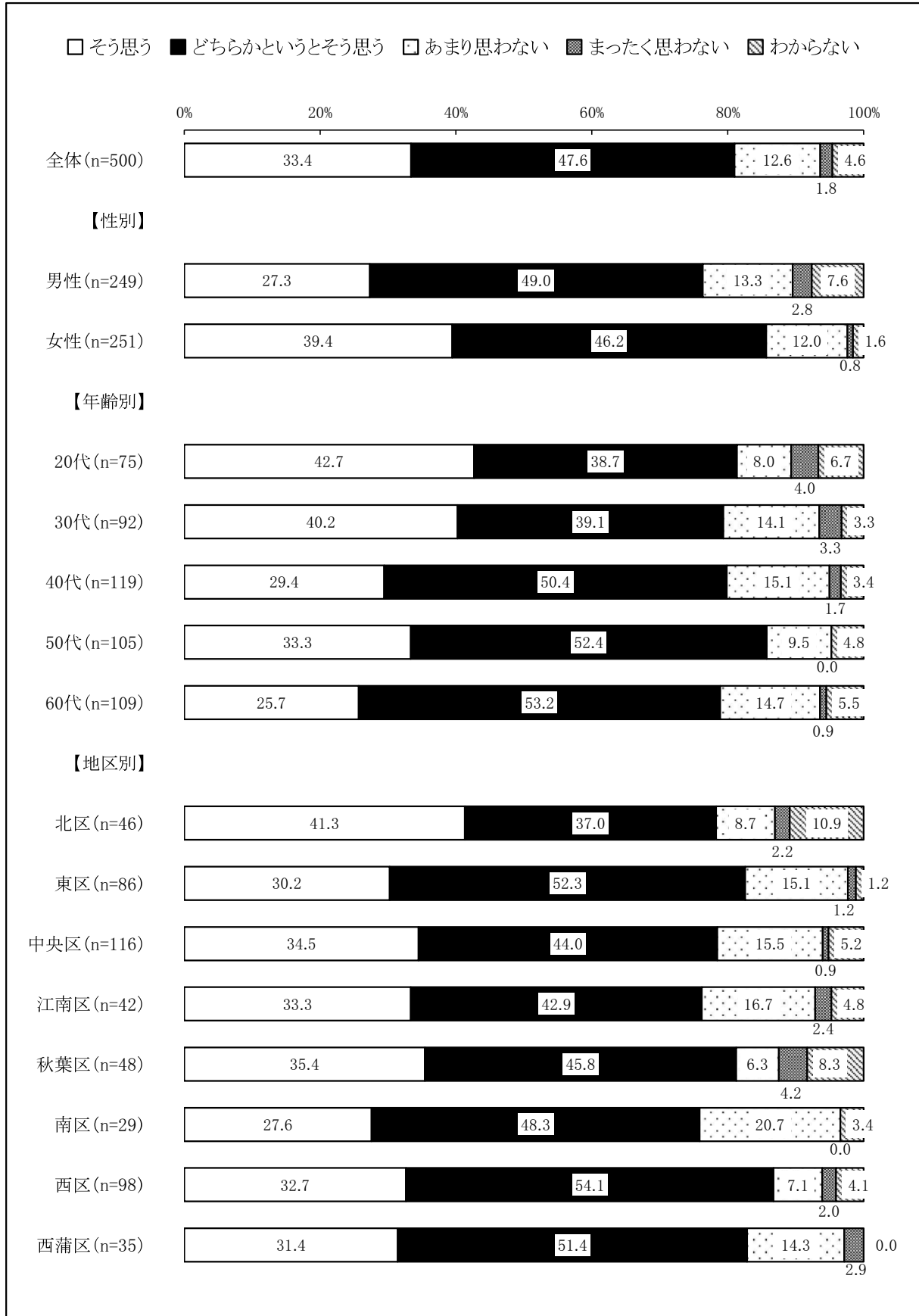
『そう思う』と答えた割合は、50代(85.7%)で最も高く、8割以上となった。他の年代でも約8割となった。

#### ③ 地区別

『そう思う』と答えた割合は、西区(86.7%)で最も高く、8割以上となった。

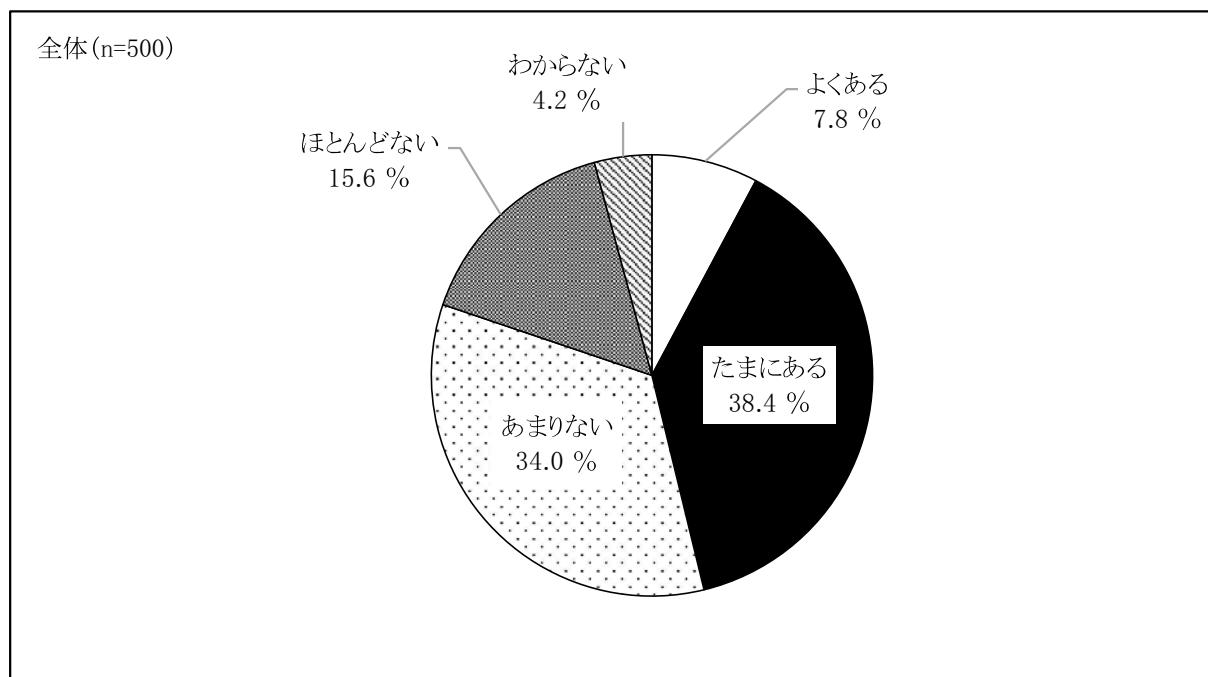
図 1.16 食材レシピについて

(性別/年齢別/地区別)



### (17) 食材の可食部分

問17 あなたは調理の際、食材の可食部分（どこまで食べられるか、どこから捨てるべきか）について迷ったことがありますか。



— 『ない』が『ある』を上回る —

#### 【全体結果】

食材の可食部分について迷ったことがあるかについて、「よくある」(7.8%)、「たまにある」(38.4%)を合わせた『ある』と答えた人は46.2%であった。

一方、「あまりない」(34.0%)、「ほとんどない」(15.6%)を合わせた『ない』と答えた人の割合は49.6%で『ある』を上回った。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.17参照)

##### ① 性別

『ある』と答えた割合は、男性(42.2%)と比べて女性(50.2%)で高い。男性では『ない』と答えた人の割合は51.4%で『ある』を上回った。

##### ② 年齢別

『ある』と答えた割合は、20代(57.3%)で最も高く、60代(36.7%)で最も低い。年代が低いほど『ある』と答えた割合が高い。

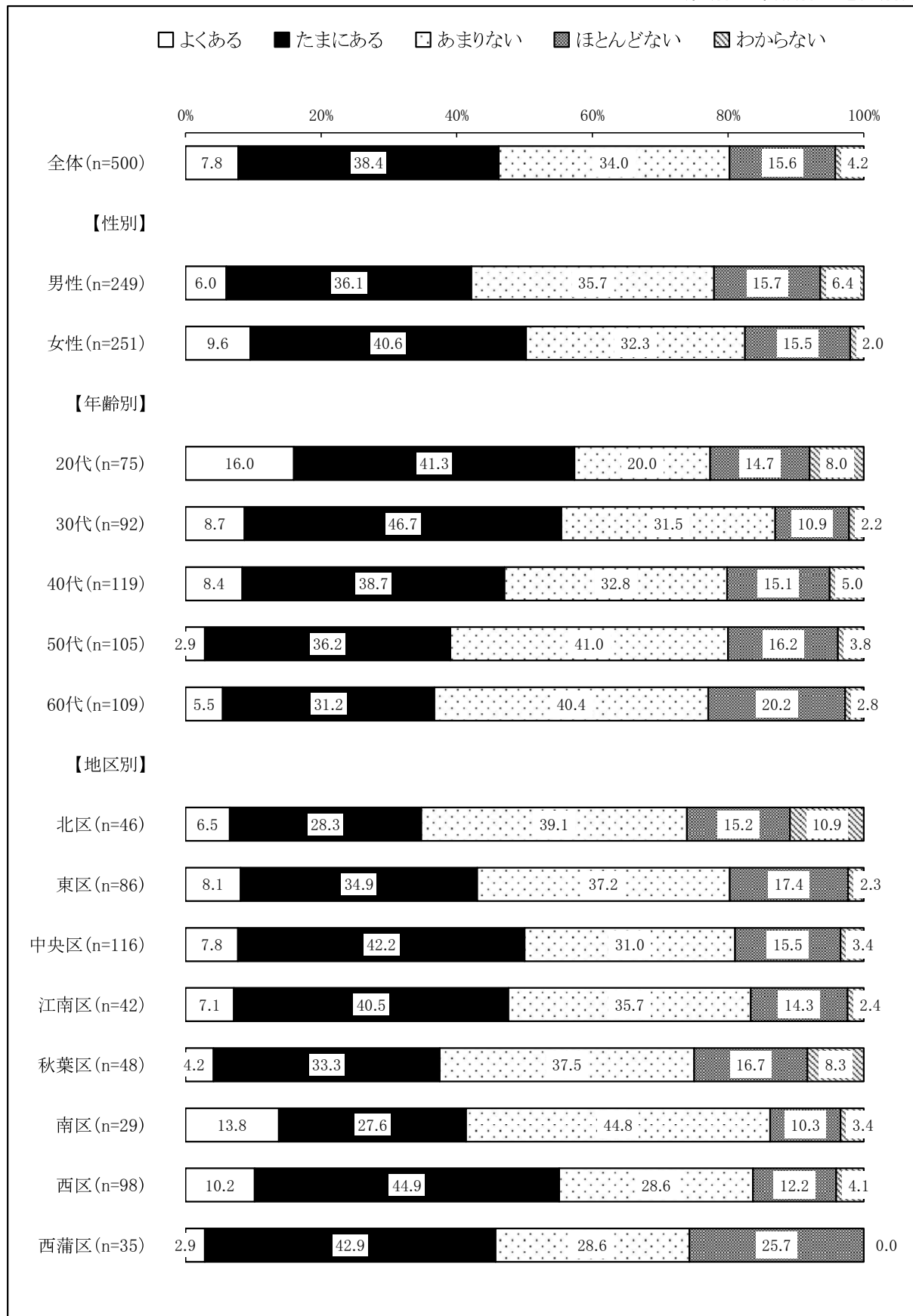
##### ③ 地区別

『ある』と答えた割合は、西区(55.1%)で最も高く、5割以上となった。北区(34.8%)で最も低い。



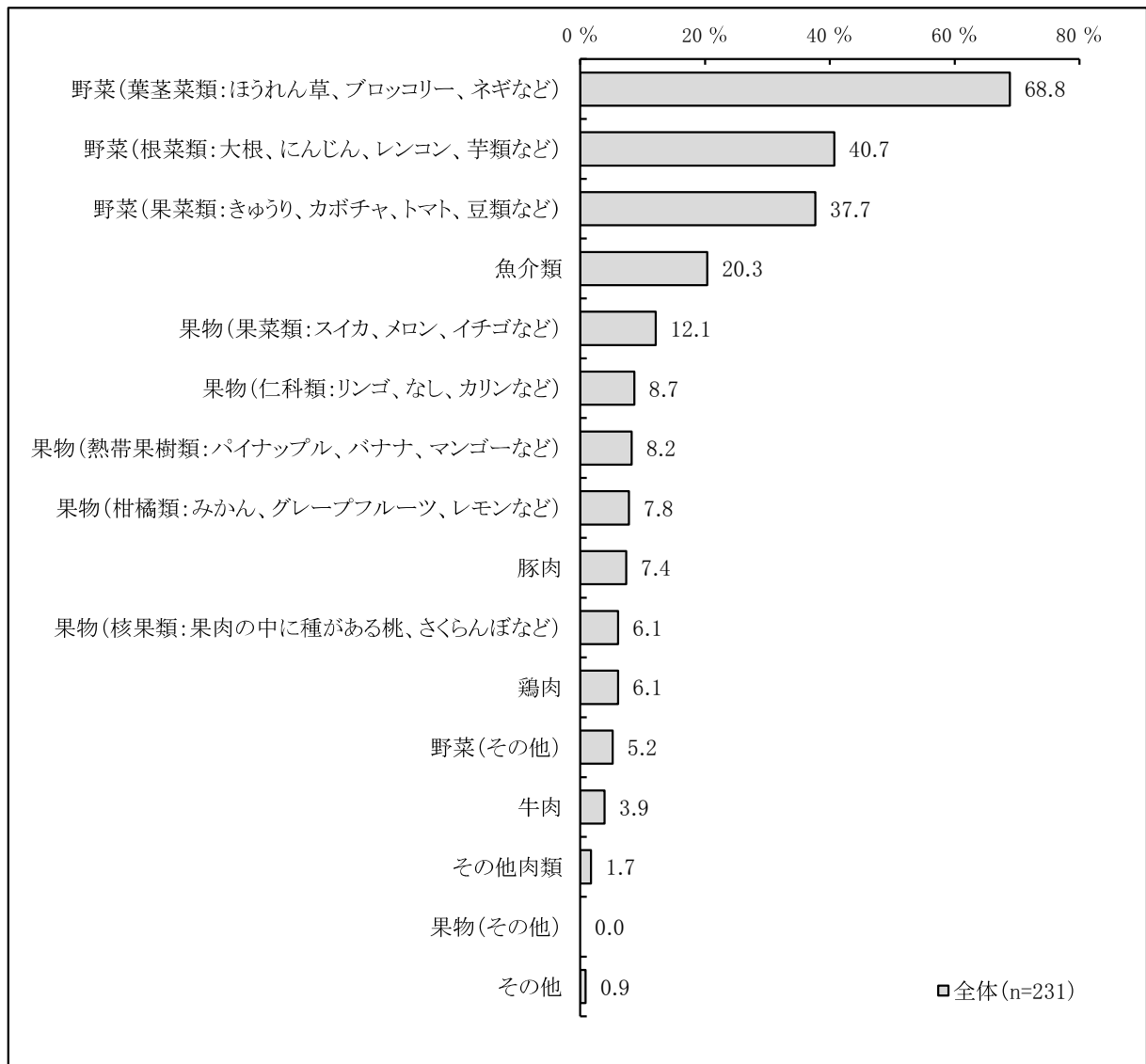
図 1.17 食材の可食部分

(性別／年齢別／地区別)



(18) 可食部分について迷ったことのある食材

問18 問17で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
その食材は何ですか。



— 「野菜（葉茎菜類：ほうれん草、ブロッコリー、ネギなど）」が約7割でトップ —

【全体結果】

可食部分について迷ったことのある食材について、「野菜（葉茎菜類：ほうれん草、ブロッコリー、ネギなど）」（68.8%）が約7割を占め、最も割合が高い。次いで「野菜（根菜類：大根、にんじん、レンコン、芋類など）」（40.7%）が約4割、「野菜（果菜類：きゅうり、カボチャ、トマト、豆類など）」（37.7%）が3割台、「魚介類」（20.3%）が約2割、「果物（果菜類：スイカ、メロン、イチゴなど）」（12.1%）が1割台で、以下順に続く。

**【属性別結果】（次ページ図 1.18 参照）**

**① 性別**

男女とも「野菜（葉茎菜類：ほうれん草、ブロッコリー、ネギなど）」と答えた割合が最も高い。男性（64.8%）と比べて女性（72.2%）で割合が高い。

**② 年齢別**

全ての年代で「野菜（葉茎菜類：ほうれん草、ブロッコリー、ネギなど）」と答えた割合が最も高く、6割以上となった。

**③ 地区別**

全ての地区で「野菜（葉茎菜類：ほうれん草、ブロッコリー、ネギなど）」と答えた割合が最も高い。

図 1.18-1 可食部分について迷ったことのある食材

(性別／年齢別／地区別)

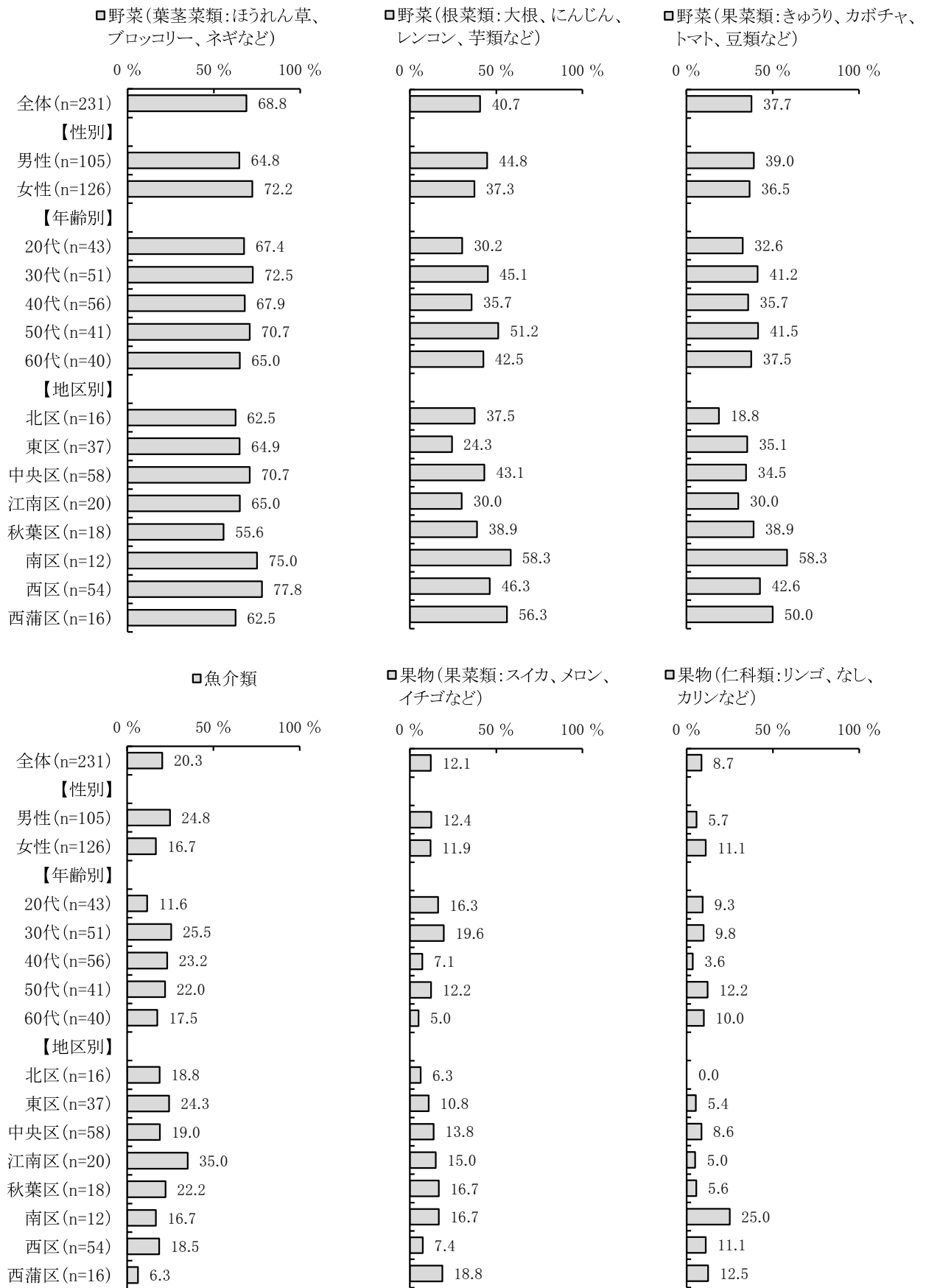


図 1.18-2 可食部分について迷ったことのある食材

(性別／年齢別／地区別)

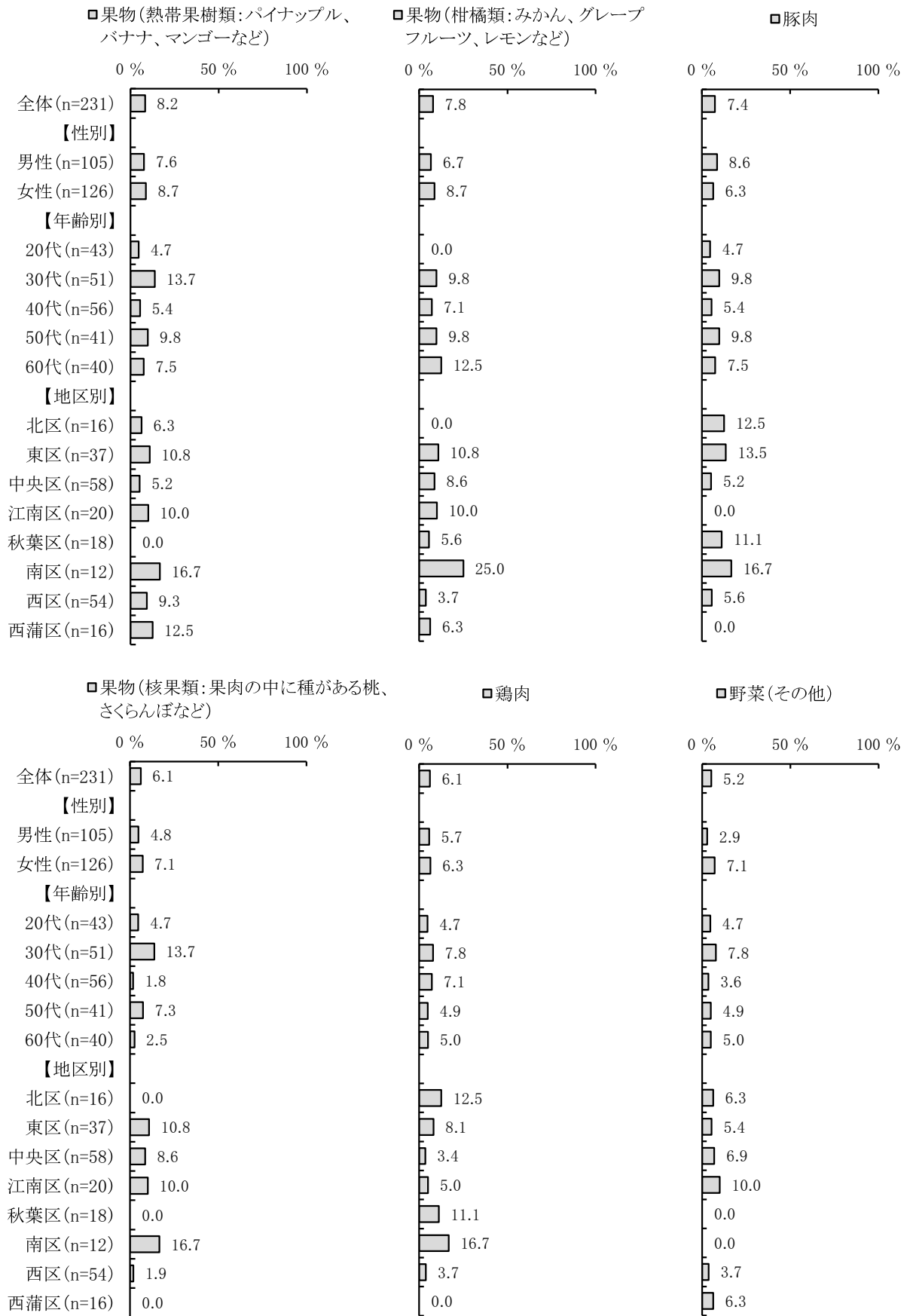
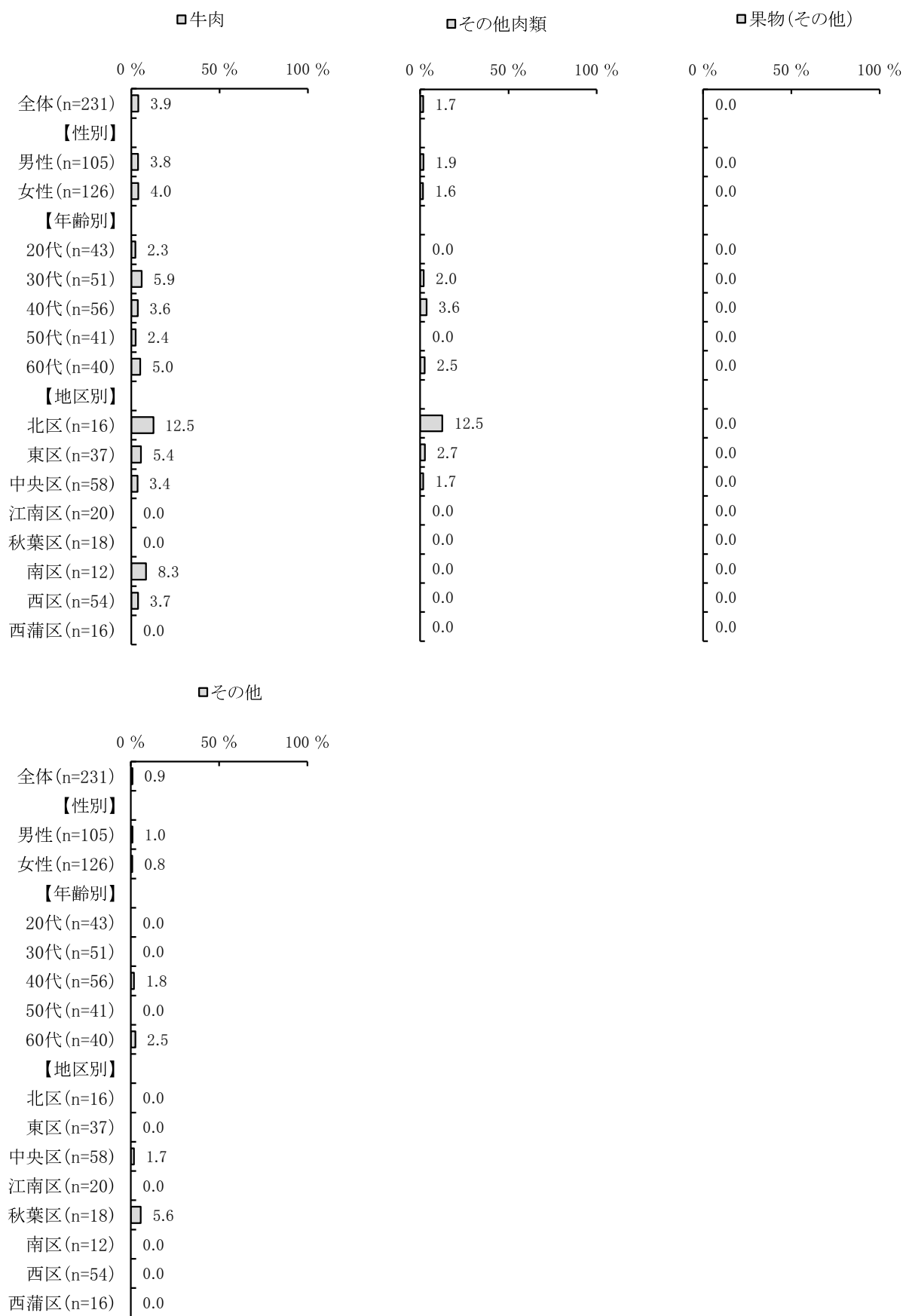


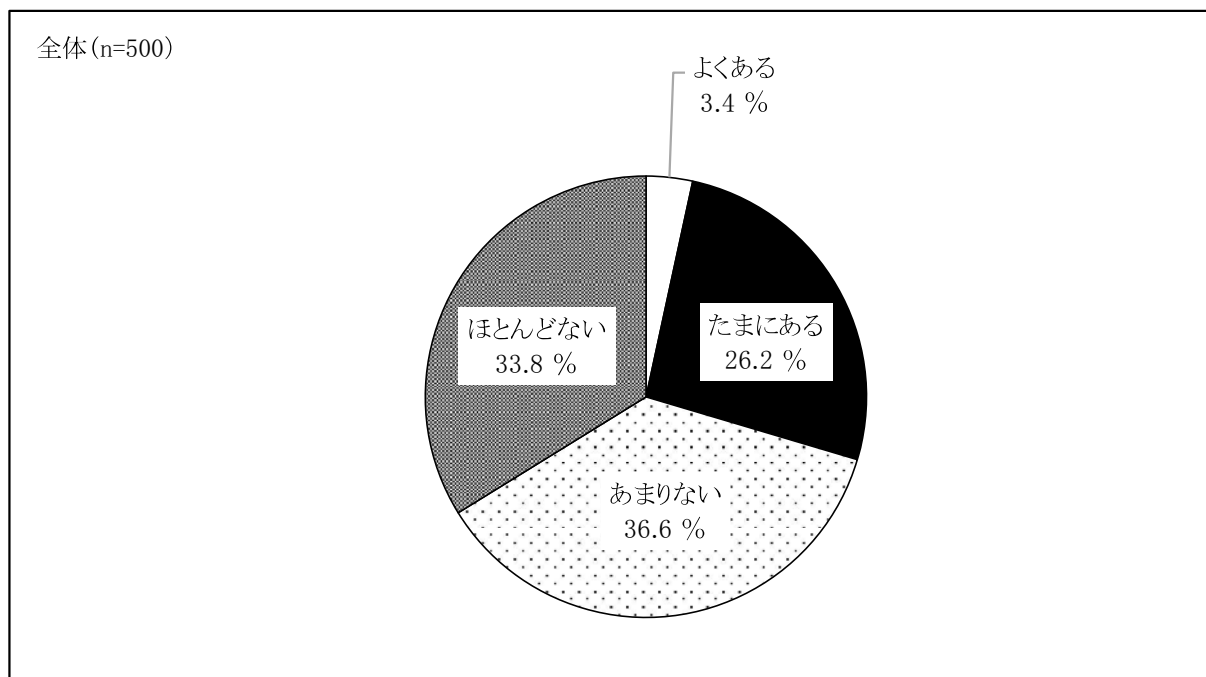
図 1.18-3 可食部分について迷ったことのある食材

(性別／年齢別／地区別)



## (19) 家庭での食べ残しについて

問19 あなたは家庭で飲食する際、食べ残したことがありますか。



— 約7割が『ない』と回答 —

### 【全体結果】

家庭での食べ残しについて、「あまりない」(36.6%)、「ほとんどない」(33.8%)を合わせた『ない』(70.4%)と答えた割合は、約7割を占めた。「よくある」(3.4%)、「たまにある」(26.2%)を合わせた『ある』(29.6%)と答えた割合は、約3割となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1.19参照)

#### ① 性別

『ない』と答えた割合は、女性(65.7%)と比べて男性(75.1%)で高い。

#### ② 年齢別

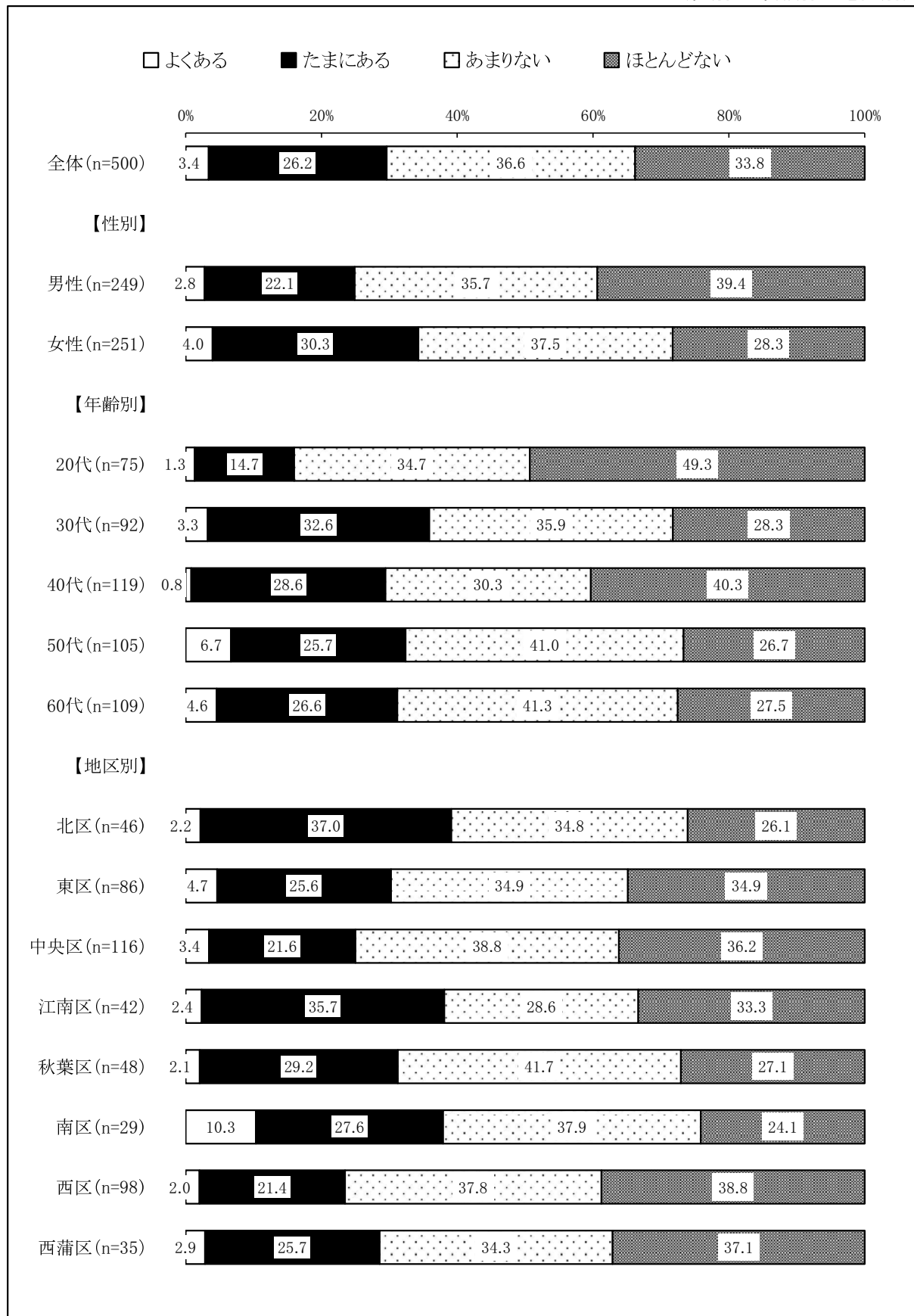
『ない』と答えた割合は、20代(84.0%)で最も高く、他の年代と比べて突出している。

#### ③ 地区別

『ない』と答えた割合は、西区(76.5%)、中央区(75.0)で高く、7割以上となった。

図 1.19 家庭での食べ残しについて

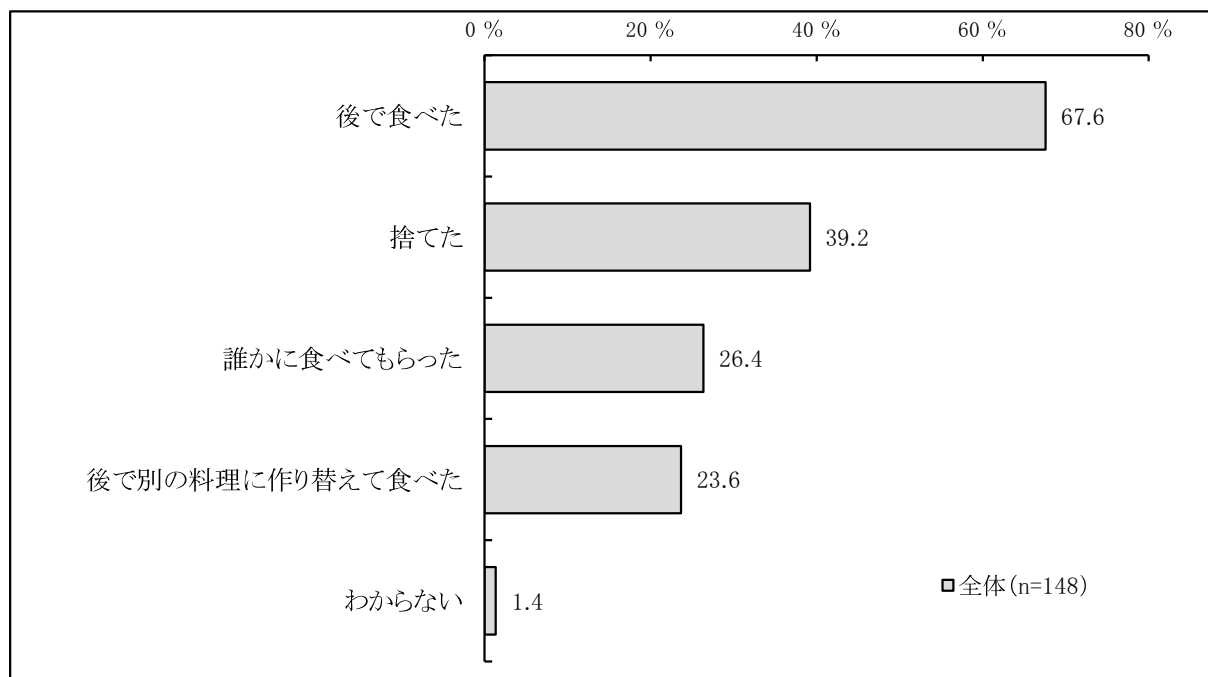
(性別／年齢別／地区別)





## (20) 食べ残した料理への対応

問20 問19で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
食べ残した料理は、どうしましたか。



### — 「後で食べた」が7割弱でトップ —

#### 【全体結果】

食べ残した料理について、「後で食べた」(67.6%)と答えた割合が7割弱となり、最も高い。次いで「捨てた」(39.2%)が約4割、「誰かに食べてもらった」(26.4%)、「後で別の料理に作り替えて食べた」(23.6%)と続く結果となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.20参照)

##### ① 性別

男女とも「後で食べた」と答えた割合が最も高い。「後で食べた」、「誰かに食べてもらった」、「後で別の料理に作り替えて食べた」は、男性(各59.7%、16.1%、17.7%)と比べて女性(各73.3%、33.7%、27.9%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

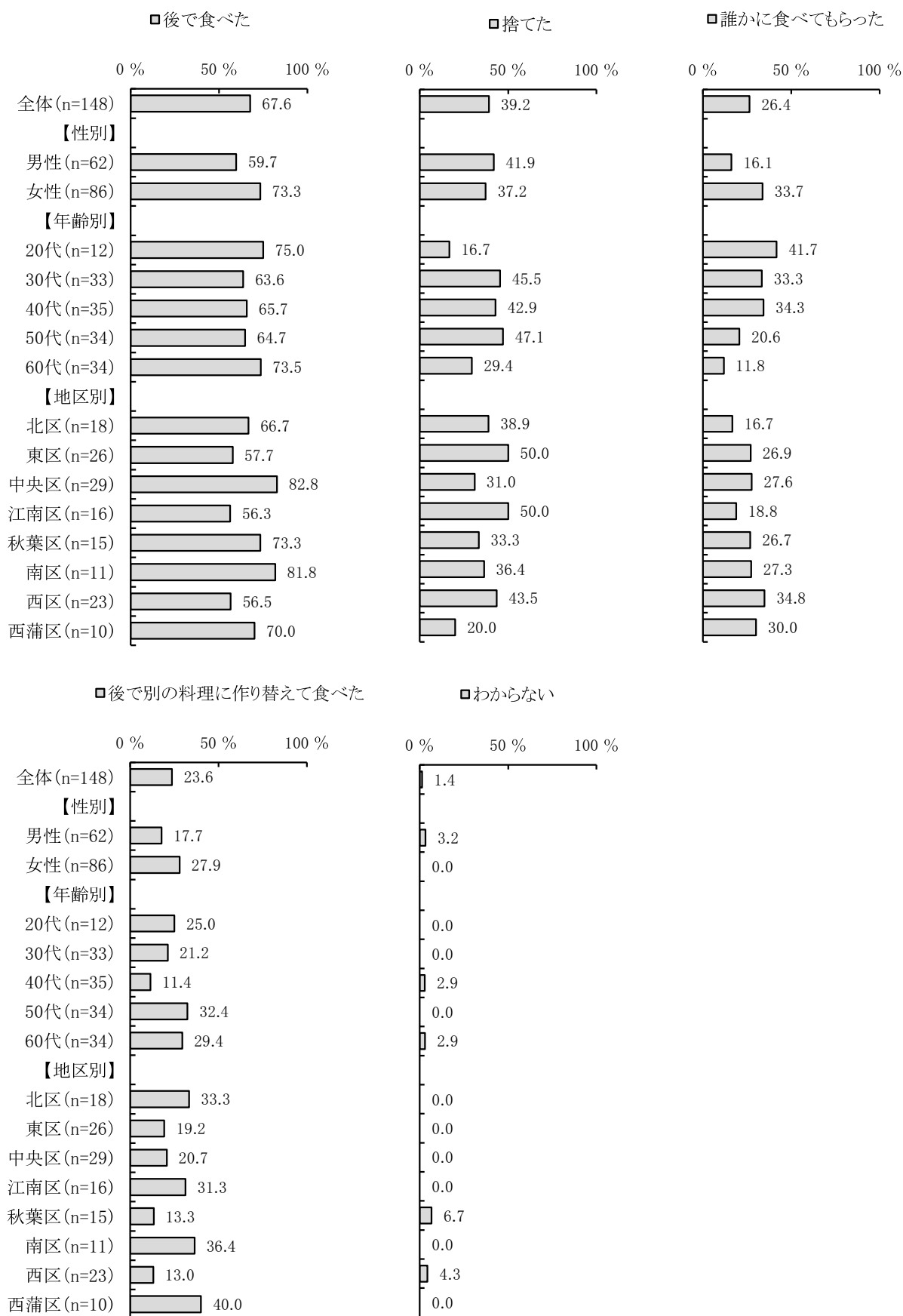
全ての年代で「後で食べた」と答えた割合が最も高い。20代では、「捨てた」(16.7%)の割合が他の年代と比べて低く、60代では「誰かに食べてもらった」(11.8%)の割合が他の年代と比べて低い。

##### ③ 地区別

全ての地区で「後で食べた」と答えた割合が最も高い。

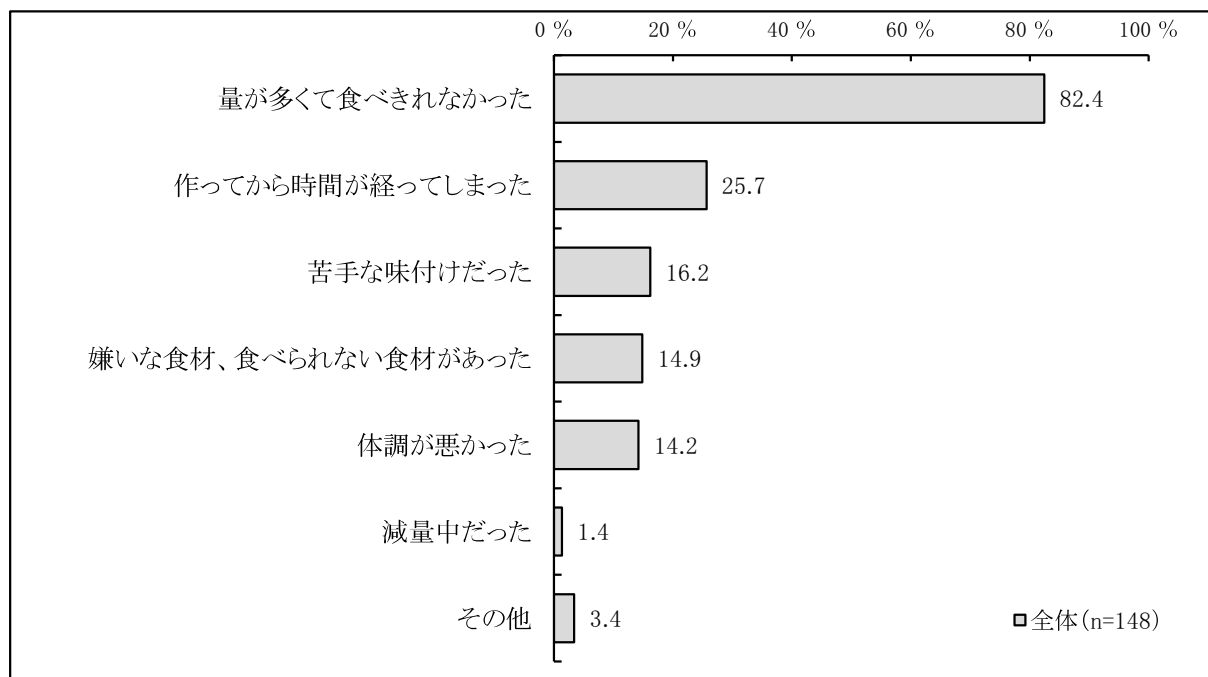
図 1.20 食べ残した料理への対応

(性別／年齢別／地区別)



## (21) 食べ残した理由

問21 問19で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
食べ残した理由は何ですか。



— 「量が多くて食べきれなかった」が8割強でトップ —

### 【全体結果】

食べ残した理由について、「量が多くて食べきれなかった」(82.4%)と答えた割合が最も高く、8割強となった。次いで「作ってから時間が経ってしまった」(25.7%)、「苦手な味付けだった」(16.2%)、「嫌いな食材、食べられない食材があった」(14.9%)、「体調が悪かった」(14.2%)と続く。

### 【属性別結果】(次ページ図1.21参照)

#### ① 性別

男女とも「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高く、男性(75.8%)と比べて女性(87.2%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

全ての年代で「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高く、年代が高いほど割合も高い傾向にある。

#### ③ 地区別

全ての地区で「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高い。

図 1.21-1 食べ残した理由

(性別／年齢別／地区別)

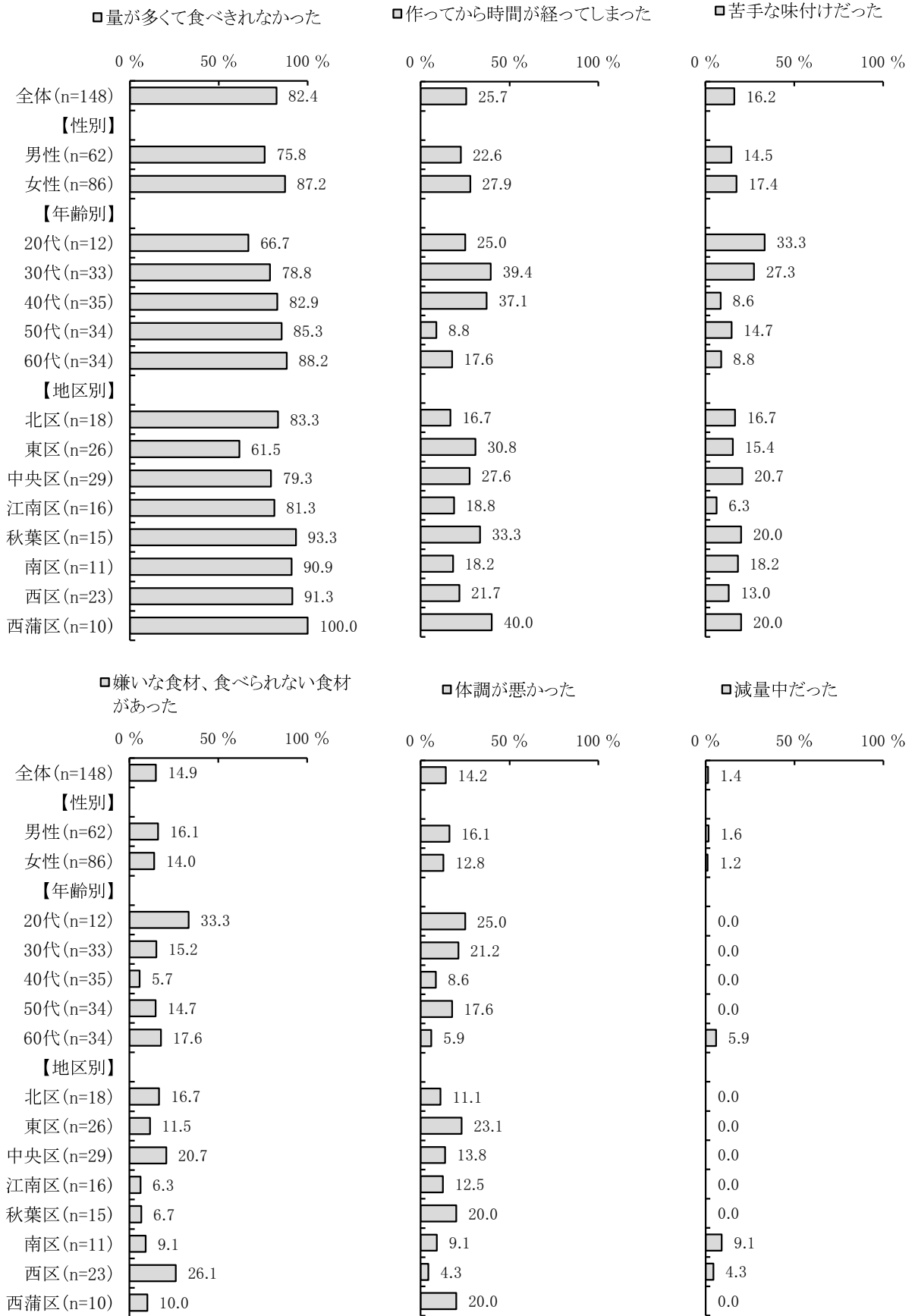


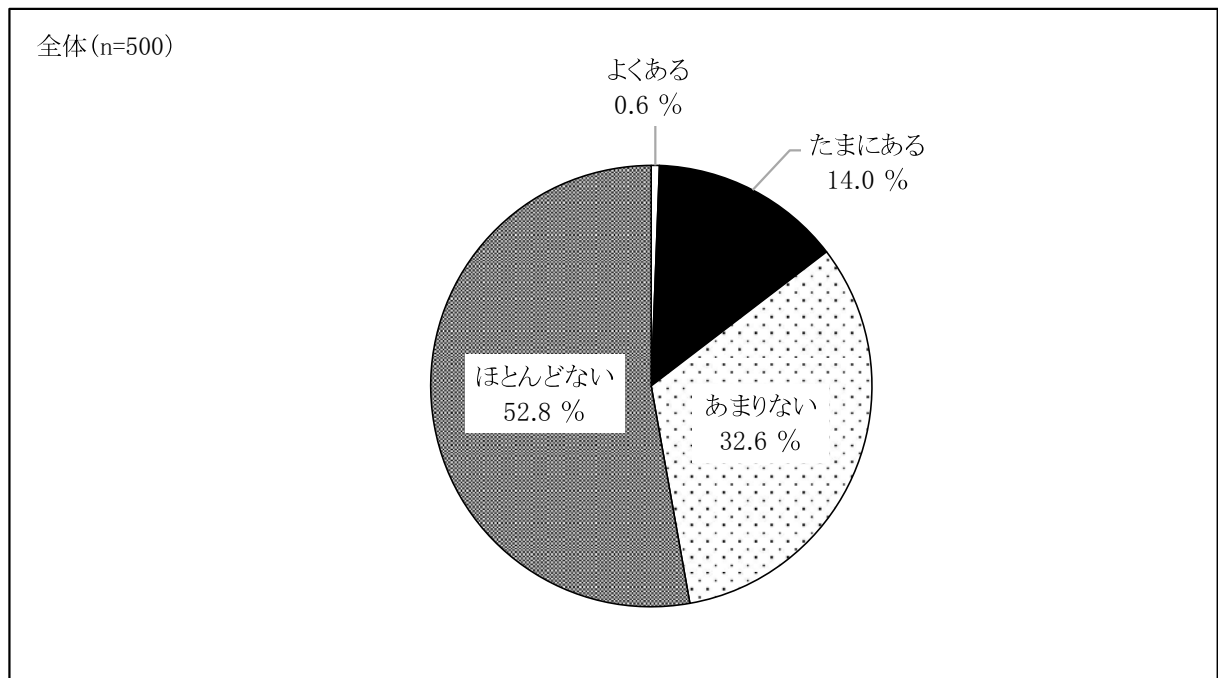
図 1.21-2 食べ残した理由

(性別／年齢別／地区別)



## (22) 外食での食べ残しについて

問22 あなたはお店など外で飲食する際、食べ残したことがありますか。



— 8割以上が『ない』と回答 —

### 【全体結果】

家庭での食べ残しについて、「あまりない」(32.6%)、「ほとんどない」(52.8%)を合わせた『ない』(85.4%)と答えた割合は、8割以上を占めた。「よくある」(0.6%)、「たまにある」(14.0%)を合わせた『ある』(14.6%)と答えた割合は、1割台半ばとなった。

### 【属性別結果】(次ページ図1.22参照)

#### ① 性別

『ない』と答えた割合は、女性(80.1%)と比べて男性(90.8%)で高い。

#### ② 年齢別

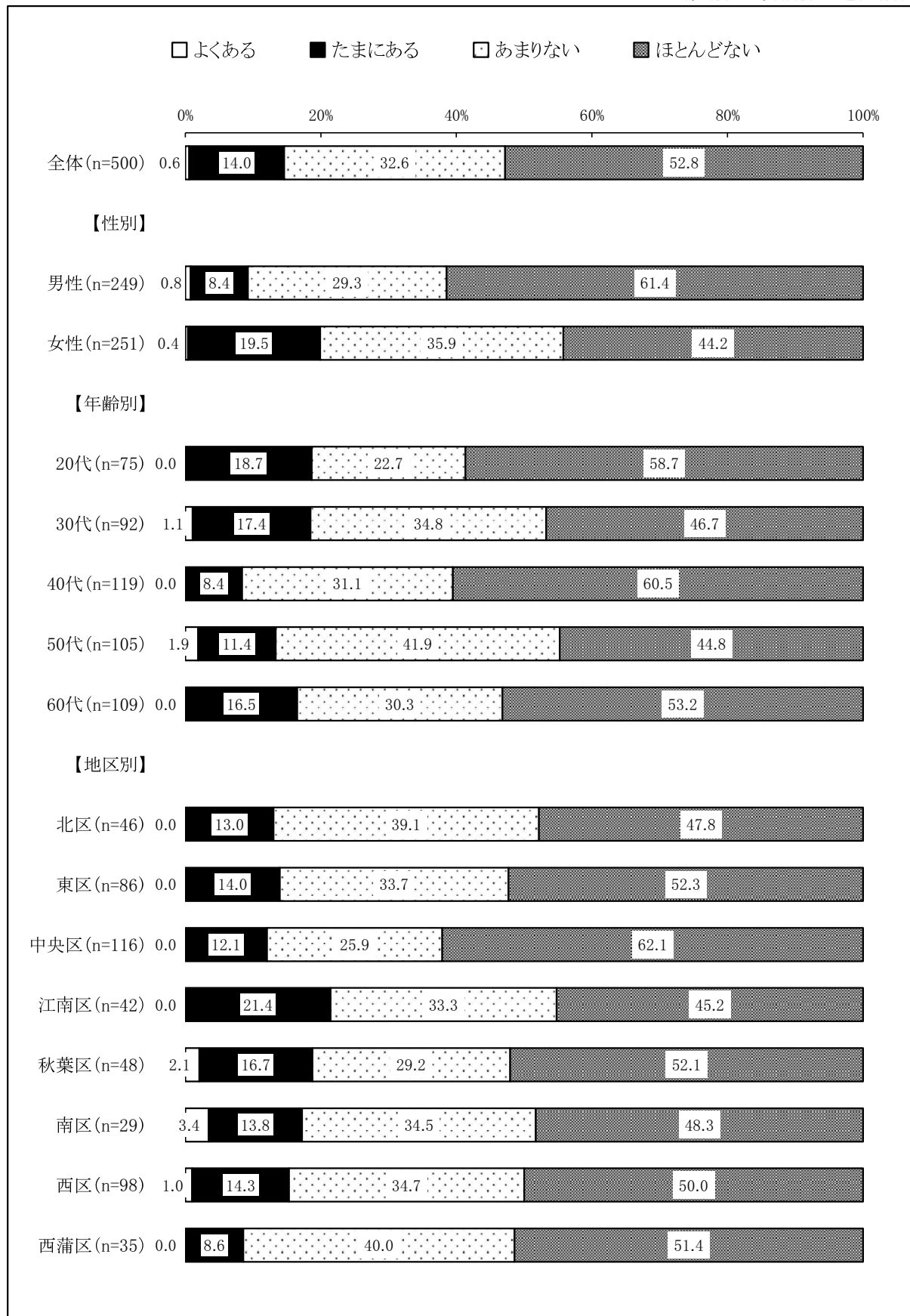
『ない』と答えた割合は、40代(91.6%)で最も高く、約9割となった。

#### ③ 地区別

『ない』と答えた割合は、西蒲区(91.4%)で最も高く、約9割となった。江南区(78.6%)で最も低かった。

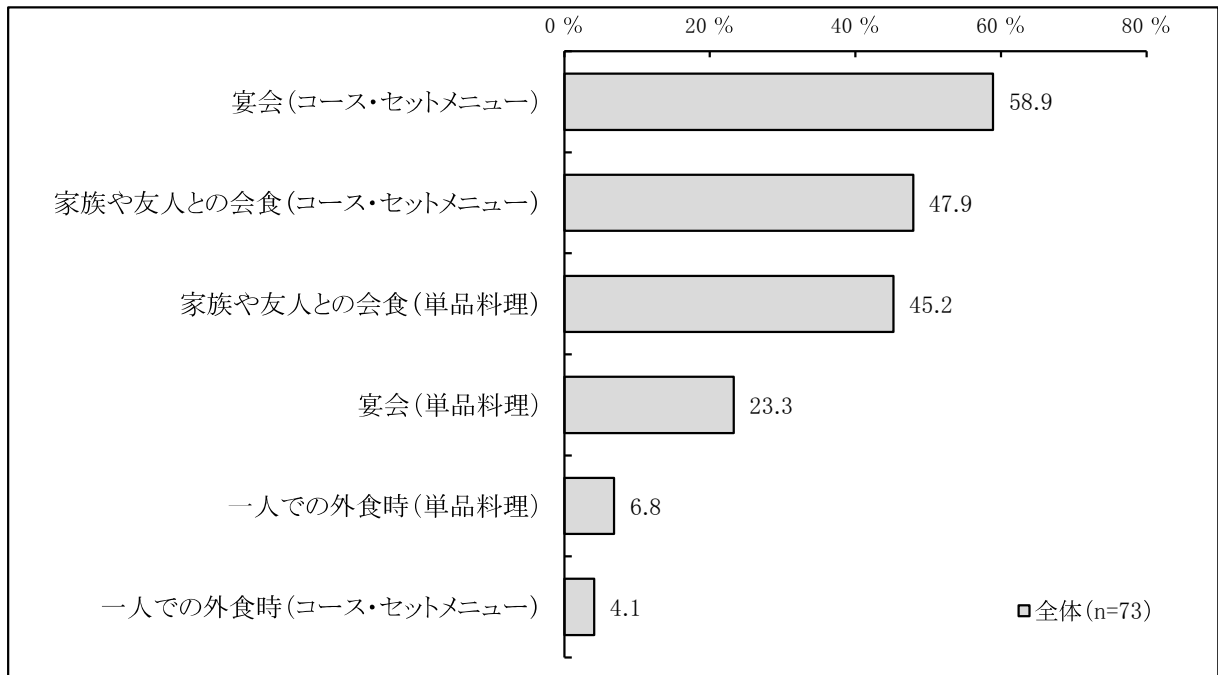
図 1.22 外食での食べ残しについて

(性別／年齢別／地区別)



### (23) 食べ残した場面

問23 問22で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
それは、どのような時ですか。



#### — 「宴会(コース・セットメニュー)」が約6割でトップ —

#### 【全体結果】

食べ残した場面について、「宴会(コース・セットメニュー)」(58.9%)と答えた割合が約6割となり、最も高い。次いで「家族や友人との会食(コース・セットメニュー)」(47.9%)、「家族や友人との会食(単品料理)」(45.2%)が4割台、「宴会(単品料理)」(23.3%)と続く結果となった。コース・セットメニューで食べ残したという割合が高い。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.23参照)

##### ① 性別

男女とも「宴会(コース・セットメニュー)」と答えた割合が最も高く、女性(52.0%)と比べて男性(73.9%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

20代、40代、60代では「宴会(コース・セットメニュー)」(各85.7%、70.0%、66.7%)と答えた割合が最も高い。30代、50代では「家族や友人との会食(コース・セットメニュー)」(各70.6%、50.0%)と答えた割合が最も高い。

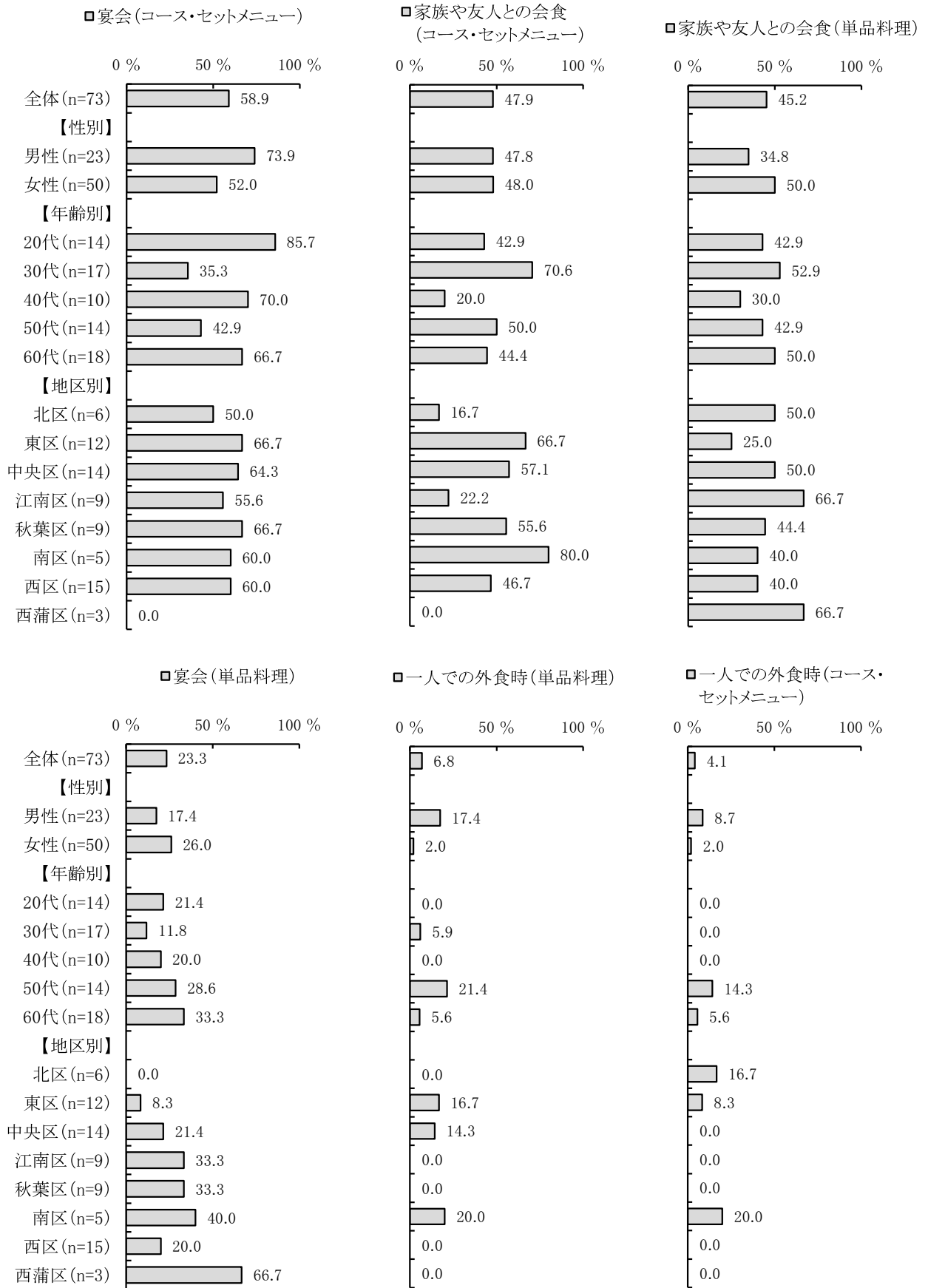
##### ③ 地区別

南区では「家族や友人との会食(コース・セットメニュー)」(80.0%)、西蒲区では「宴会(単品料理)」(66.7%)で他の地区と比べて割合が高い。



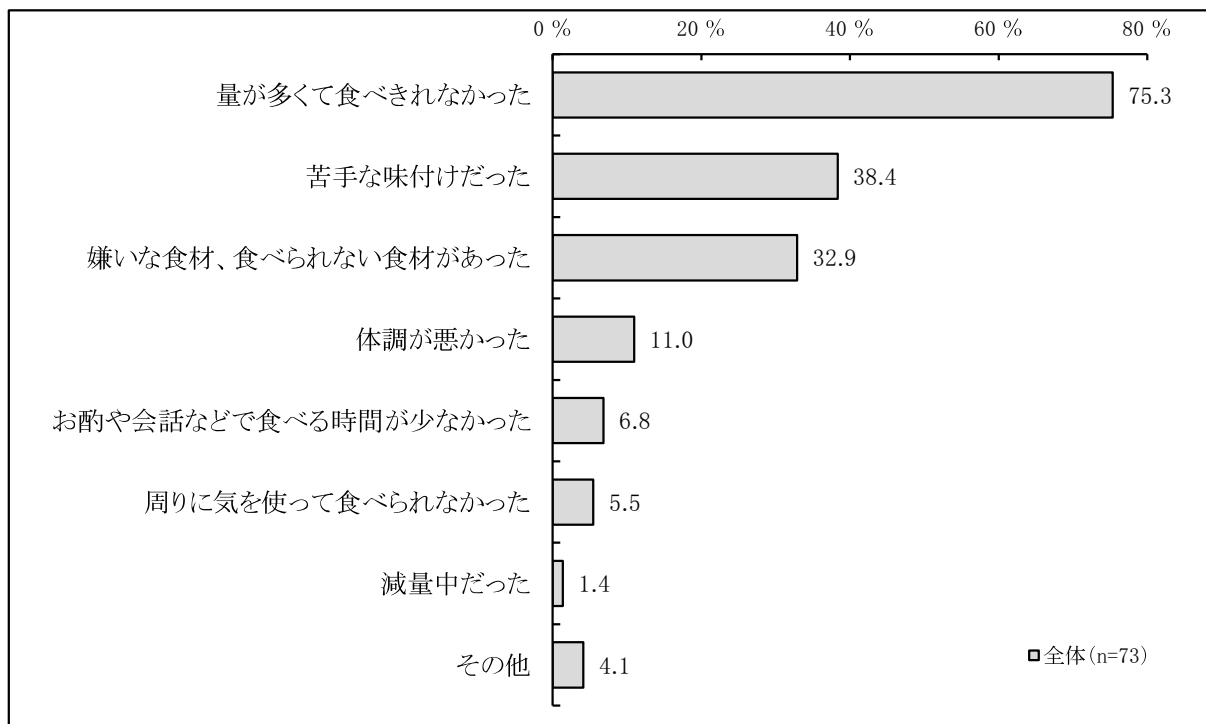
図 1.23 食べ残した場面

(性別／年齢別／地区別)



## (24) 食べ残した理由

問24 問22で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
食べ残した理由は何ですか。



— 「量が多くて食べきれなかった」が7割以上でトップ —

### 【全体結果】

食べ残した理由について、「量が多くて食べきれなかった」(75.3%)と答えた割合が最も高く、7割を超えた。次いで「苦手な味付けだった」(38.4%)、「嫌いな食材、食べられない食材があった」(32.9%)が3割台、「体調が悪かった」(11.0%)が1割台となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1.24参照)

#### ① 性別

男女とも「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高く、男性(65.2%)と比べて女性(80.0%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

全ての年代で「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高い。

#### ③ 地区別

全ての地区で「量が多くて食べきれなかった」と答えた割合が最も高い。

図 1.24-1 食べ残した理由

(性別／年齢別／地区別)

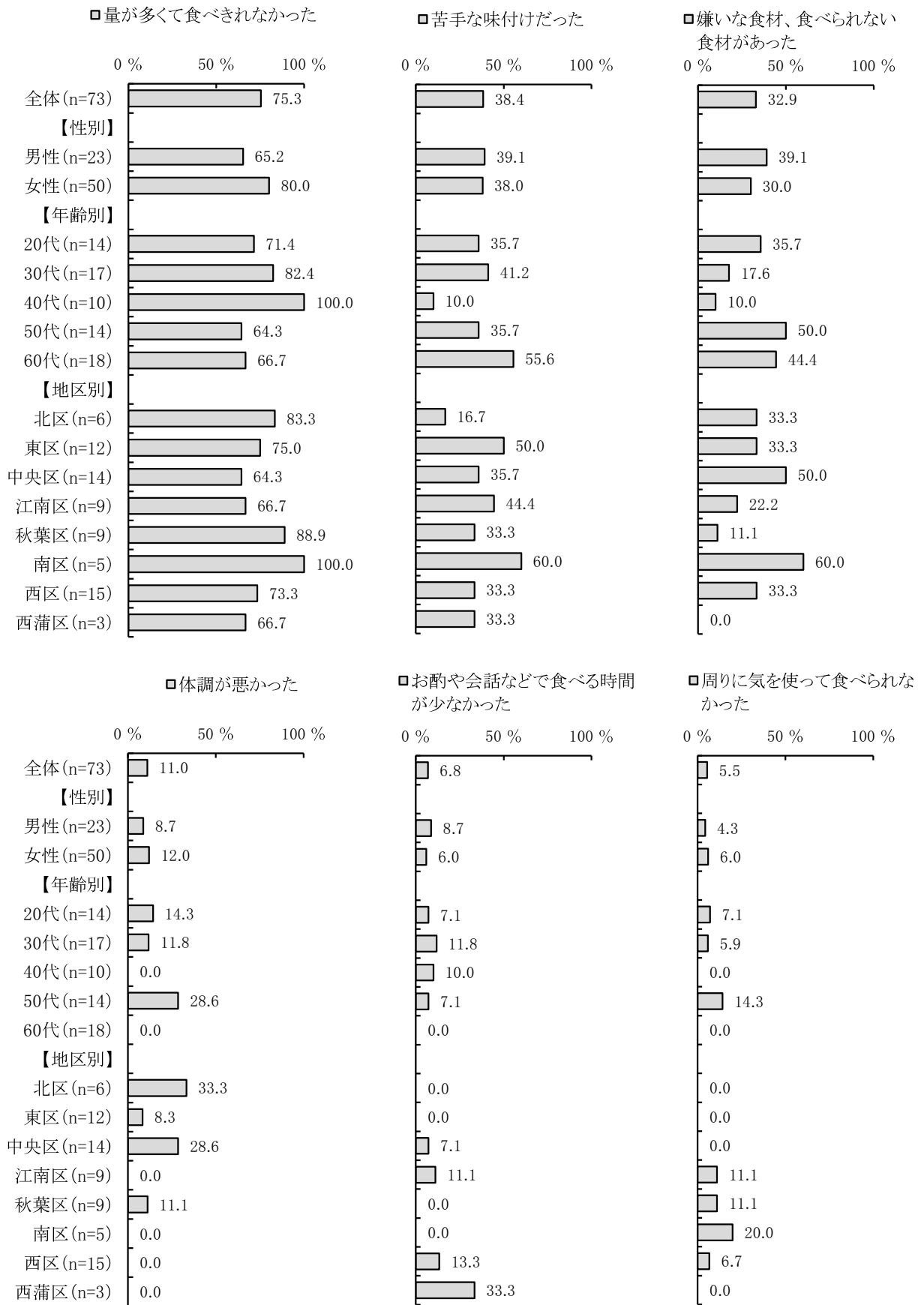
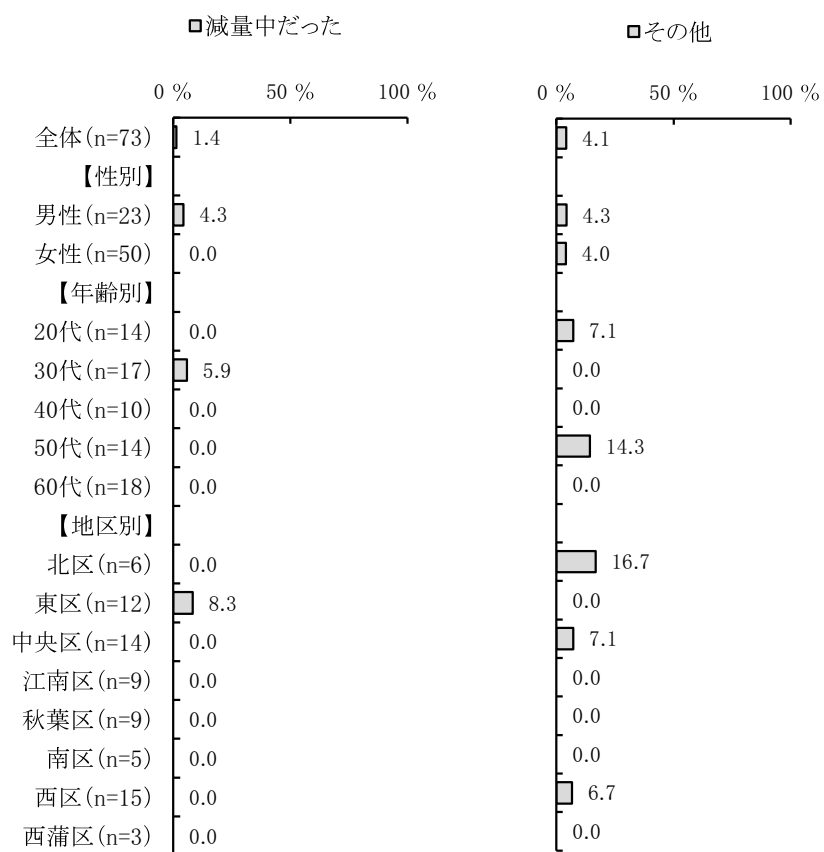


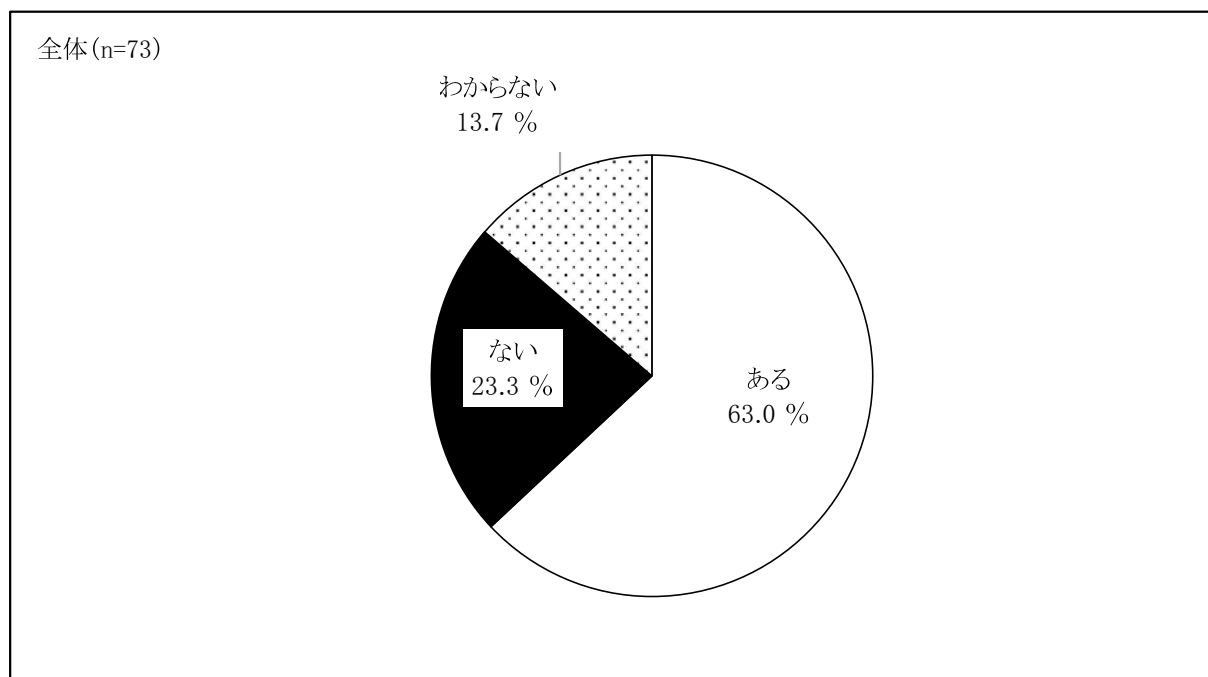
図 1.24-2 食べ残した理由

(性別／年齢別／地区別)



## (25) 料理の提供について①

問25 問23で「家族や友人との会食」「宴会」と答えた方にお聞きします。  
料理が提供される際、大皿ではなく小皿（個人で1皿ずつ）で提供してほしいと思っ  
たことがありますか。



— 6割以上が「ある」と回答 —

### 【全体結果】

料理の提供時に小皿で提供してほしいと思っただことがあるかについて、「ある」（63.0%）と答えた割合が最も高く、6割を超えた。

### 【属性別結果】（次ページ図 1.25 参照）

#### ① 性別

「ある」と答えた割合は、女性（62.0%）と比べて男性（65.2%）で高い。

#### ② 年齢別

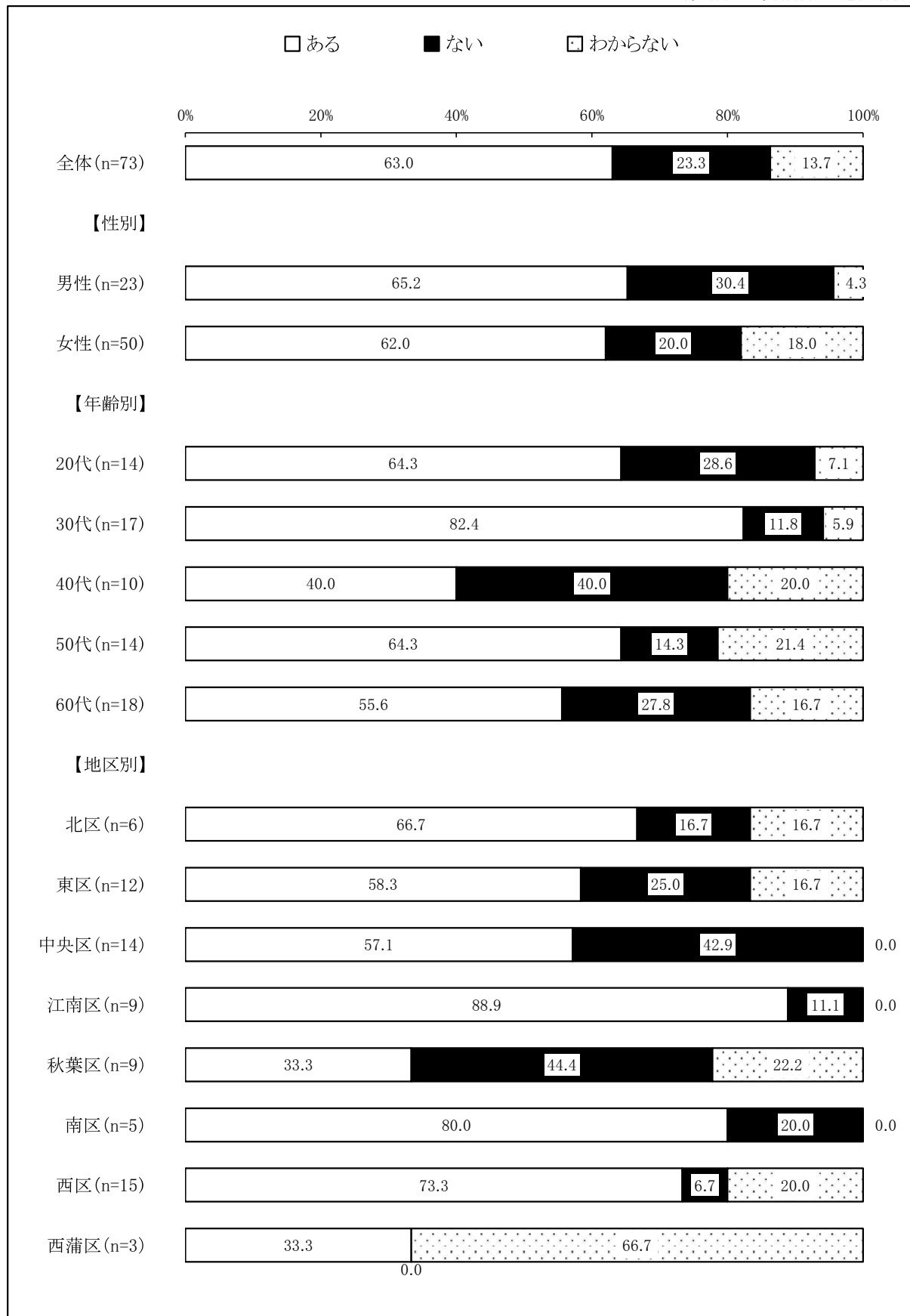
「ある」と答えた割合は、30代（82.4%）で最も高く、40代（40.0%）で最も低い。

#### ③ 地区別

「ある」と答えた割合は、江南区（88.9%）で最も高い。

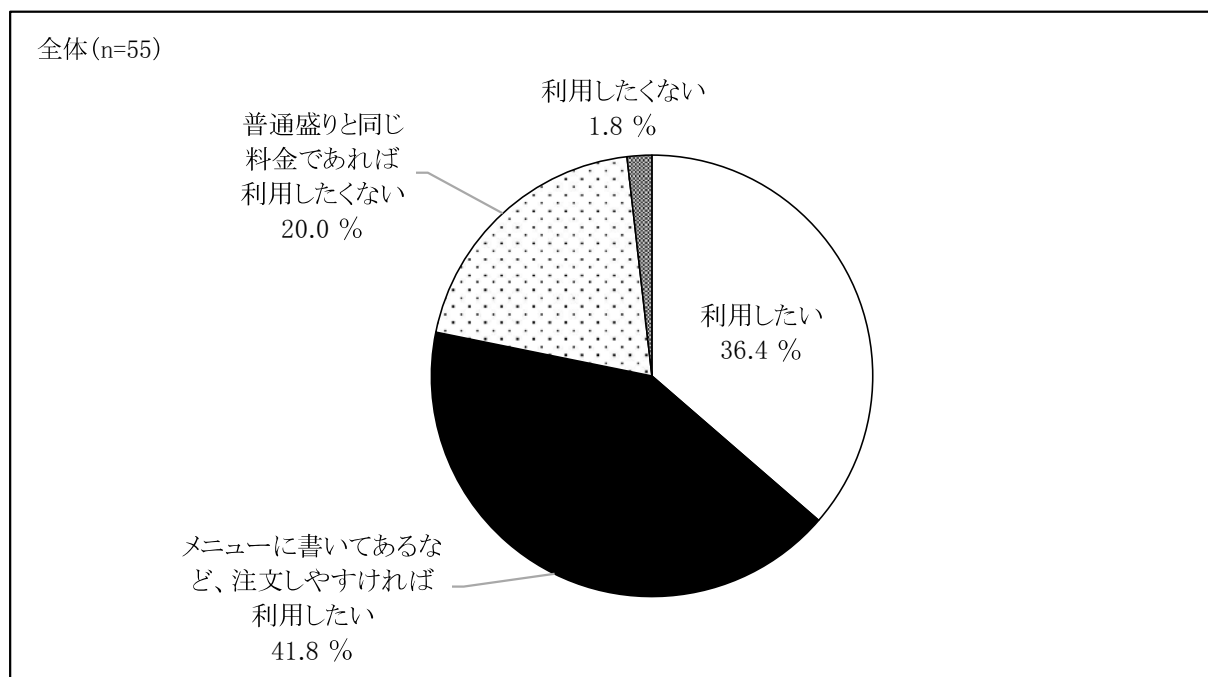
図 1.25 料理の提供について①

(性別／年齢別／地区別)



## (26) 料理の提供について②

問26 問24で「量が多くて食べきれなかった」と答えた方にお聞きします。  
小盛メニュー（通常より少ない量となっているメニュー）があれば利用したいと思いますか。



— 約8割が『利用したい』と回答 —

### 【全体結果】

小盛メニューの利用について、「メニューに書いてあるなど、注文しやすければ利用したい」（41.8%）が最も割合が高く、約4割を占めた。「利用したい」（36.4%）、「メニューに書いてあるなど、注文しやすければ利用したい」を合わせた『利用したい』（78.2%）は約8割となった。

### 【属性別結果】（次ページ図1.26参照）

#### ① 性別

『利用したい』と答えた割合は、男性（60.0%）と比べて女性（85.0%）で高い。

#### ② 年齢別

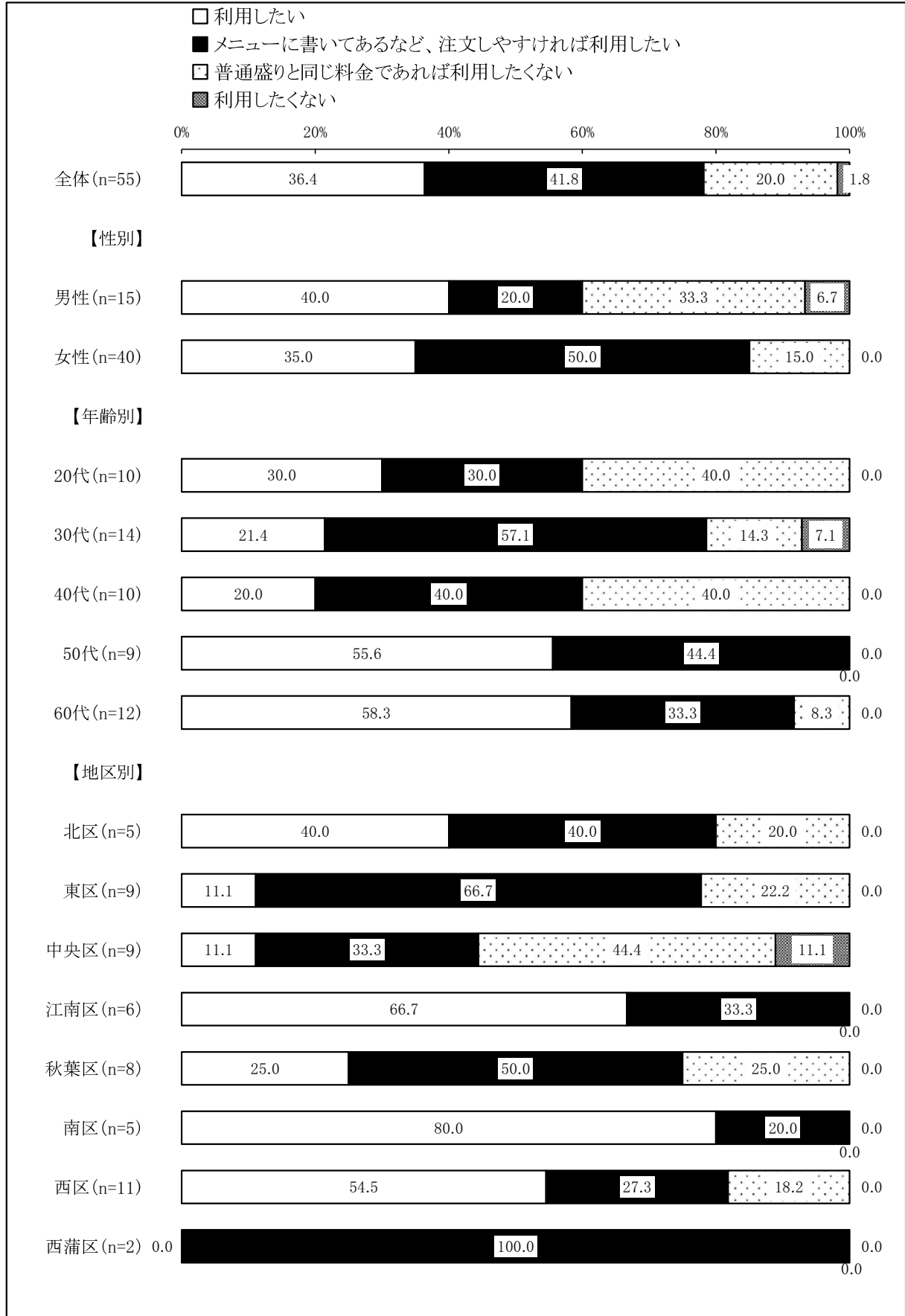
『利用したい』と答えた割合は、50代（100.0%）、60代（91.7%）で高く、9割を超えた。

#### ③ 地区別

『利用したい』と答えた割合は、中央区を除く全ての地区で7割以上となった。中央区では44.4%で5割を切った。

図 1.26 料理の提供について②

(性別／年齢別／地区別)

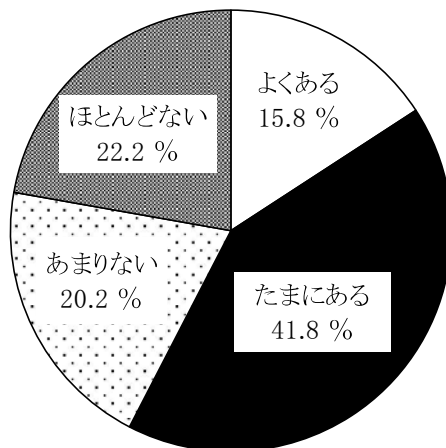




## (27) 料理の持ち帰り

問27 飲食店で料理を食べきれなかったとき、持ち帰りをしたと思ったことがありますか。

全体(n=500)



— 6割弱が『ある』と回答 —

### 【全体結果】

食べきれない料理の持ち帰りをしたと思ったことがあるかについて、「よくある」(15.8%)、「たまにある」(41.8%)を合わせた『ある』(57.6%)と答えた割合は、6割弱を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図1.27参照)

#### ① 性別

『ある』と答えた割合は、男性(53.0%)と比べて女性(62.2%)で高い。

#### ② 年齢別

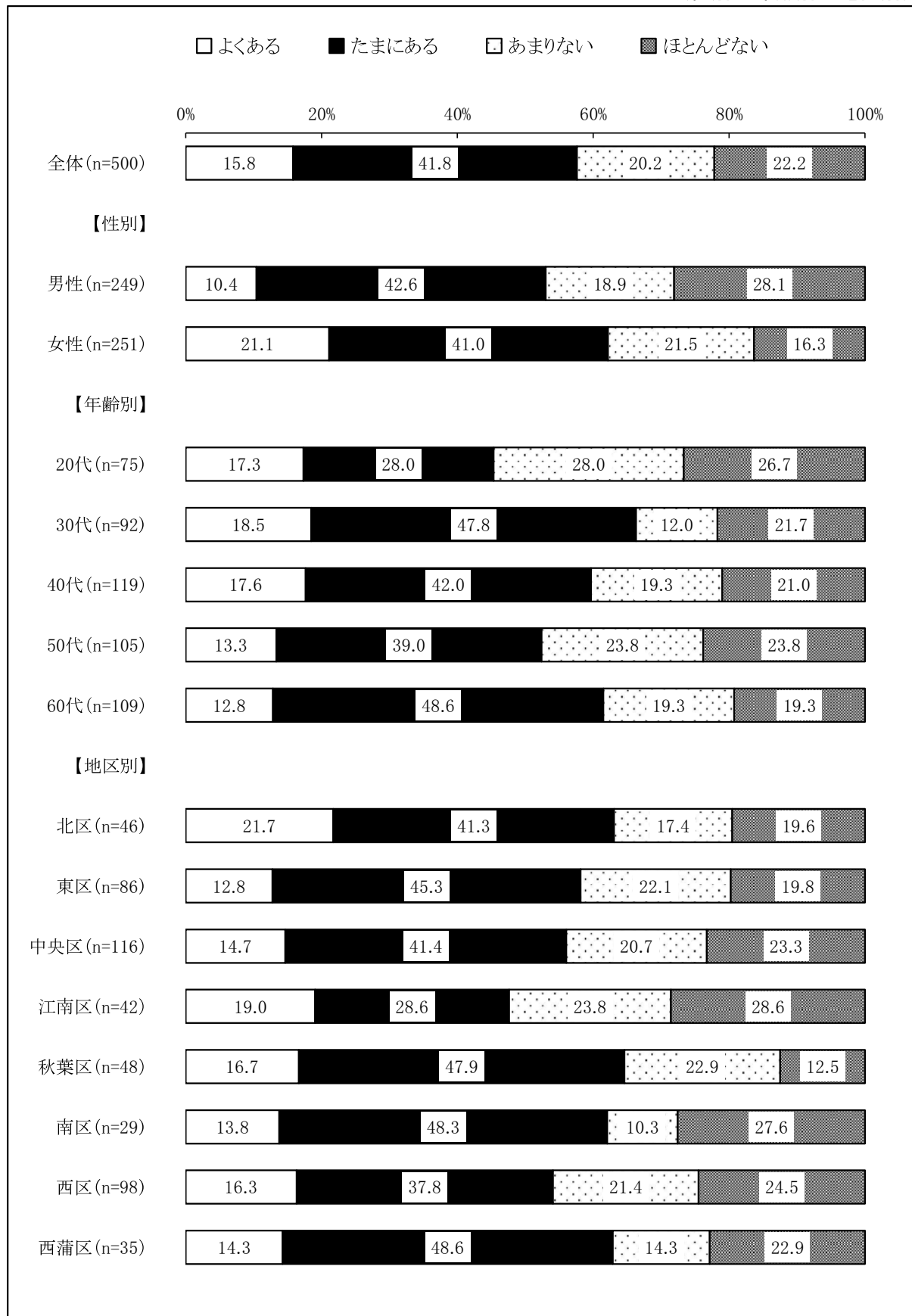
『ある』と答えた割合は、30代(66.3%)で最も高く、20代(45.3%)で最も低い。20代では「あまりない」、「ほとんどない」を合わせた『ない』(54.7%)が『ある』を上回った。

#### ③ 地区別

江南区以外では『ある』と答えた割合は半数以上であったが、江南区では『ない』(52.4%)が『ある』(47.6%)を上回った。

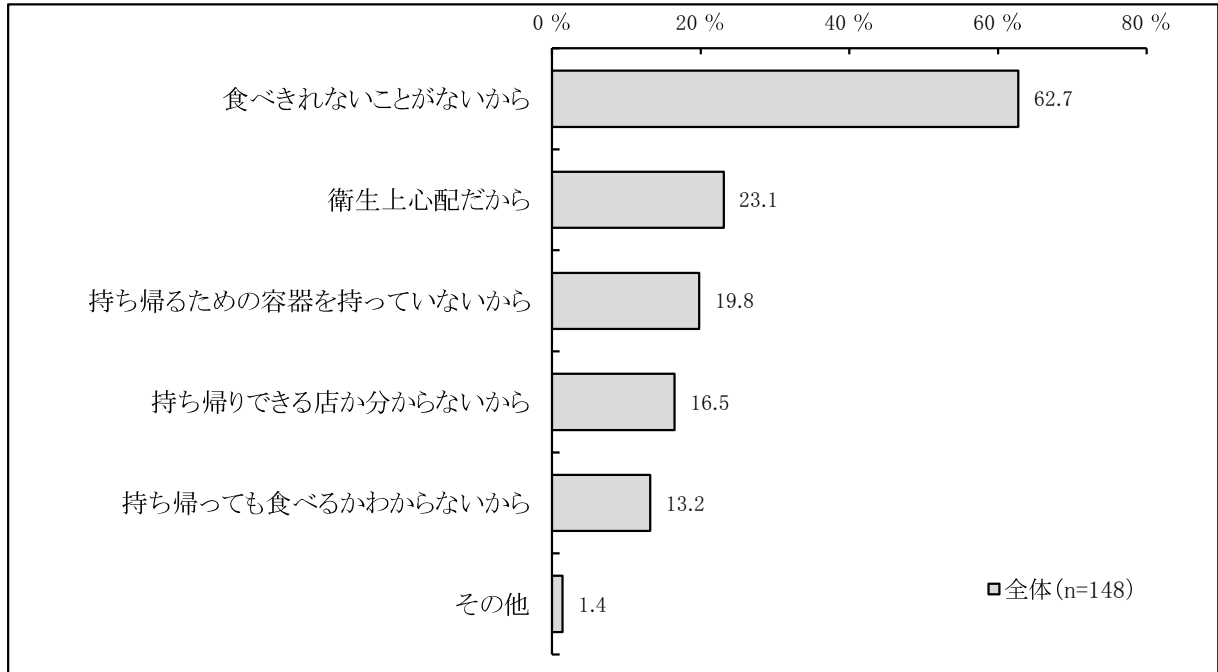
図 1.27 料理の持ち帰り

(性別／年齢別／地区別)



## (28) 料理を持ち帰りたと思わない理由

問28 問27で「あまりない」「ほとんどない」と答えた方にお聞きします。  
その理由は何ですか。



— 「食べきれないことがないから」が6割以上でトップ —

### 【全体結果】

料理を持ち帰りたと思わない理由について、「食べきれないことがないから」(62.7%)が6割を超え、最も割合が高い。「衛生上心配だから」(23.1%)が2割台、「持ち帰るための容器を持っていないから」(19.8%)、「持ち帰りできる店か分からないから」(16.5%)、「持ち帰っても食べるかわからないから」(13.2%)が1割台で続く結果となった。

### 【属性別結果】(次ページ図1.28参照)

#### ① 性別

男女とも「食べきれないことがないから」と答えた割合が最も高く、女性(60.0%)と比べて男性(65.0%)で割合が高い。

#### ② 年齢別

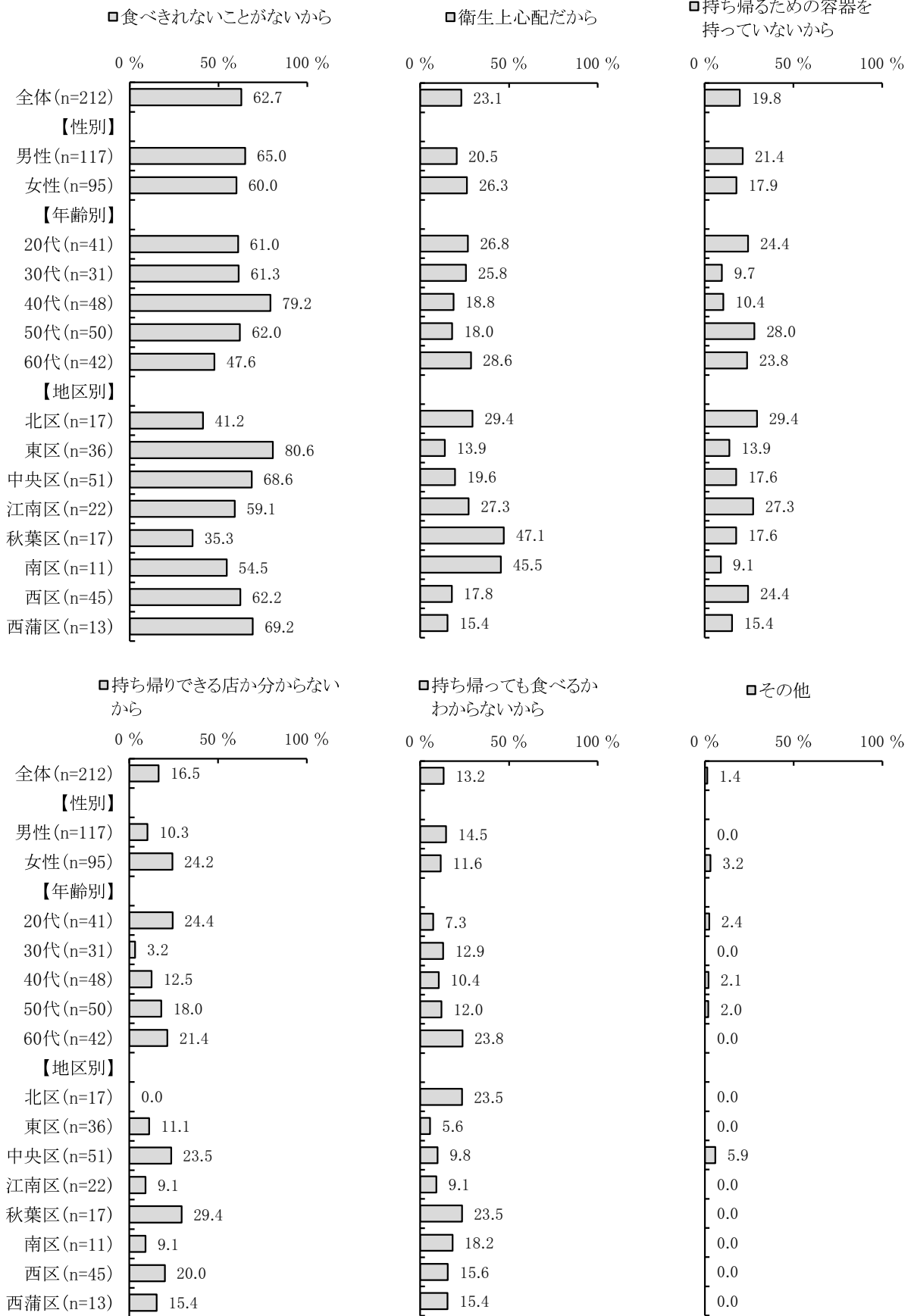
全ての年代で「食べきれないことがないから」と答えた割合が最も高く、40代(79.2%)で他の年代と比べて最も割合が高かった。

#### ③ 地区別

秋葉区以外の地区では「食べきれないことがないから」と答えた割合が最も高い。秋葉区では、「衛生上心配だから」(47.1%)と答えた割合が最も高かった。

図 1.28 料理を持ち帰りたいたと思わない理由

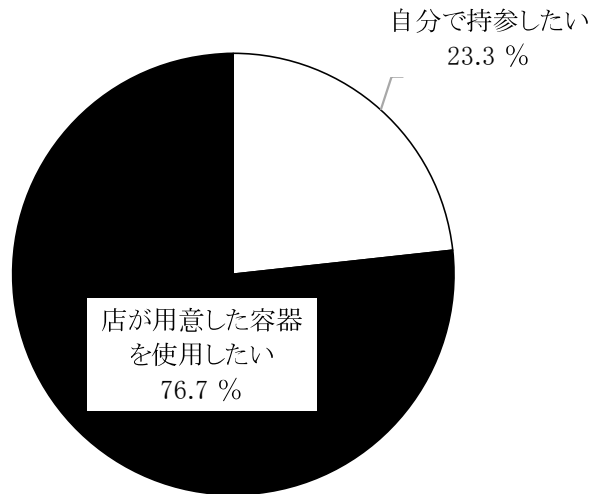
(性別／年齢別／地区別)



## (29) 持ち帰り容器について①

問29 問27で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
持ち帰りをする場合、容器は自分で持参したいと思いますか。(○は1つ)

全体(n=288)



— 7割以上が「店が用意した容器を使用したい」と回答 —

### 【全体結果】

持ち帰り容器の持参について、「店が用意した容器を使用したい」(76.7%)と答えた割合が7割以上を占めた。

### 【属性別結果】(次ページ図 1.29 参照)

#### ① 性別

「店が用意した容器を使用したい」と答えた割合は、女性(75.0%)と比べて男性(78.8%)で高い。

#### ② 年齢別

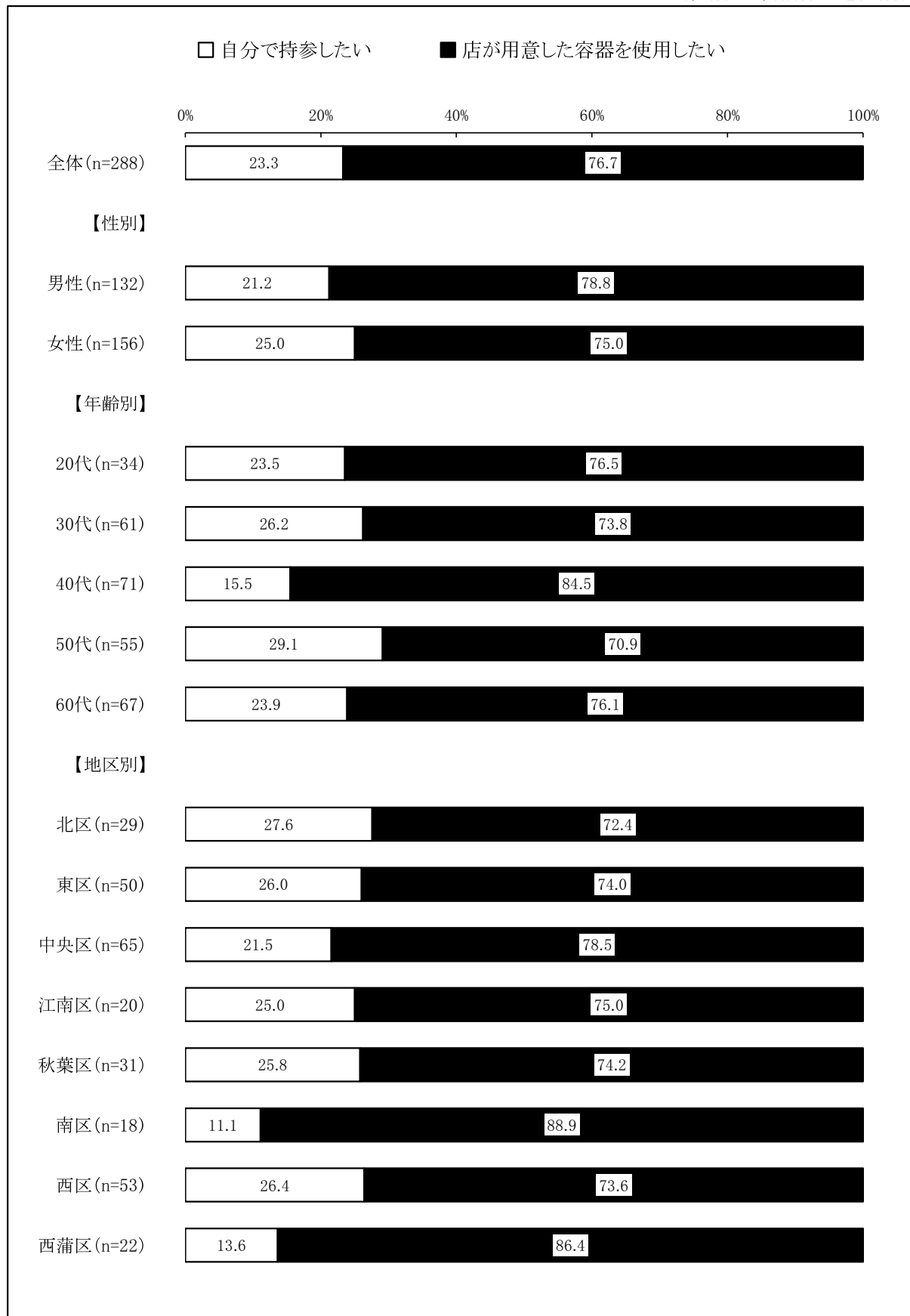
「店が用意した容器を使用したい」と答えた割合は、40代(84.5%)で最も高く、8割以上となった。

#### ③ 地区別

「店が用意した容器を使用したい」と答えた割合は、南区(88.9%)で最も高く、約9割となった。

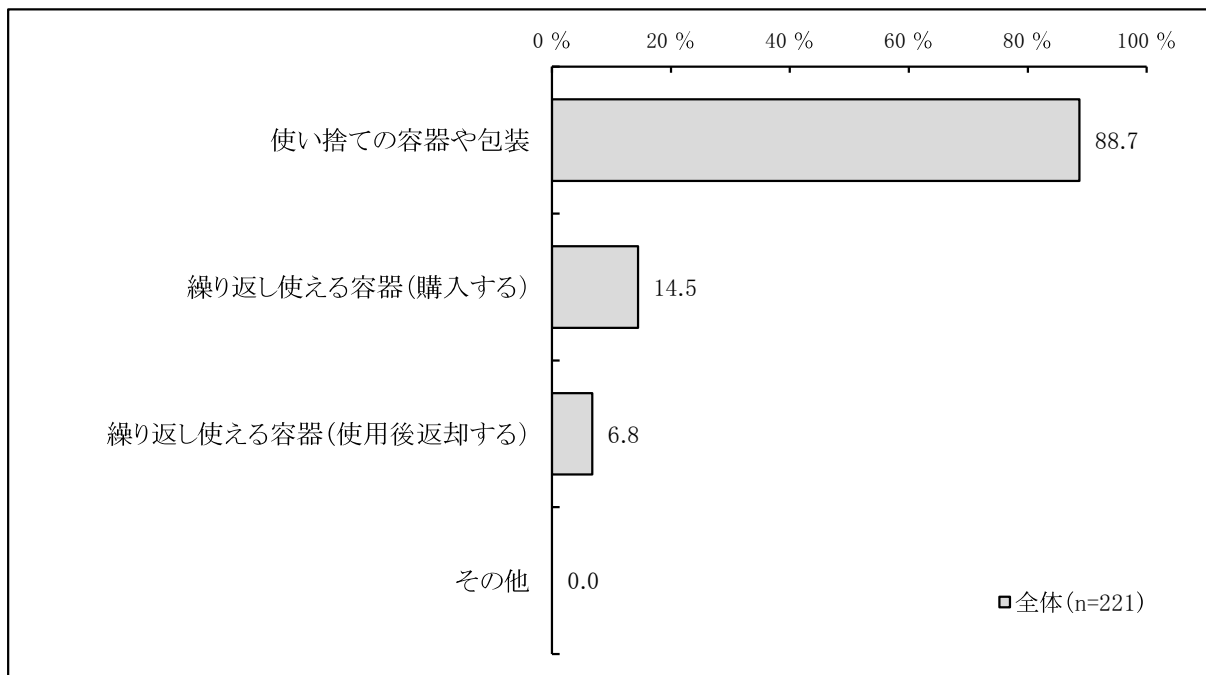
図 1.29 持ち帰り容器について①

(性別／年齢別／地区別)



### (30) 持ち帰り容器について②

問30 問29で「店が用意した容器を使用したい」と答えた方にお聞きします。  
どのような種類の容器を使用したいですか。



— 「使い捨ての容器や包装」が約9割でトップ —

#### 【全体結果】

持ち帰り容器の種類について、「使い捨ての容器や包装」(88.7%)と答えた割合が最も高く、約9割となった。次いで「繰り返し使える容器(購入する)」(14.5%)が1割台となった。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.30参照)

##### ① 性別

男女とも「使い捨ての容器や包装」と答えた割合が最も高く、女性(87.2%)と比べて男性(90.4%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

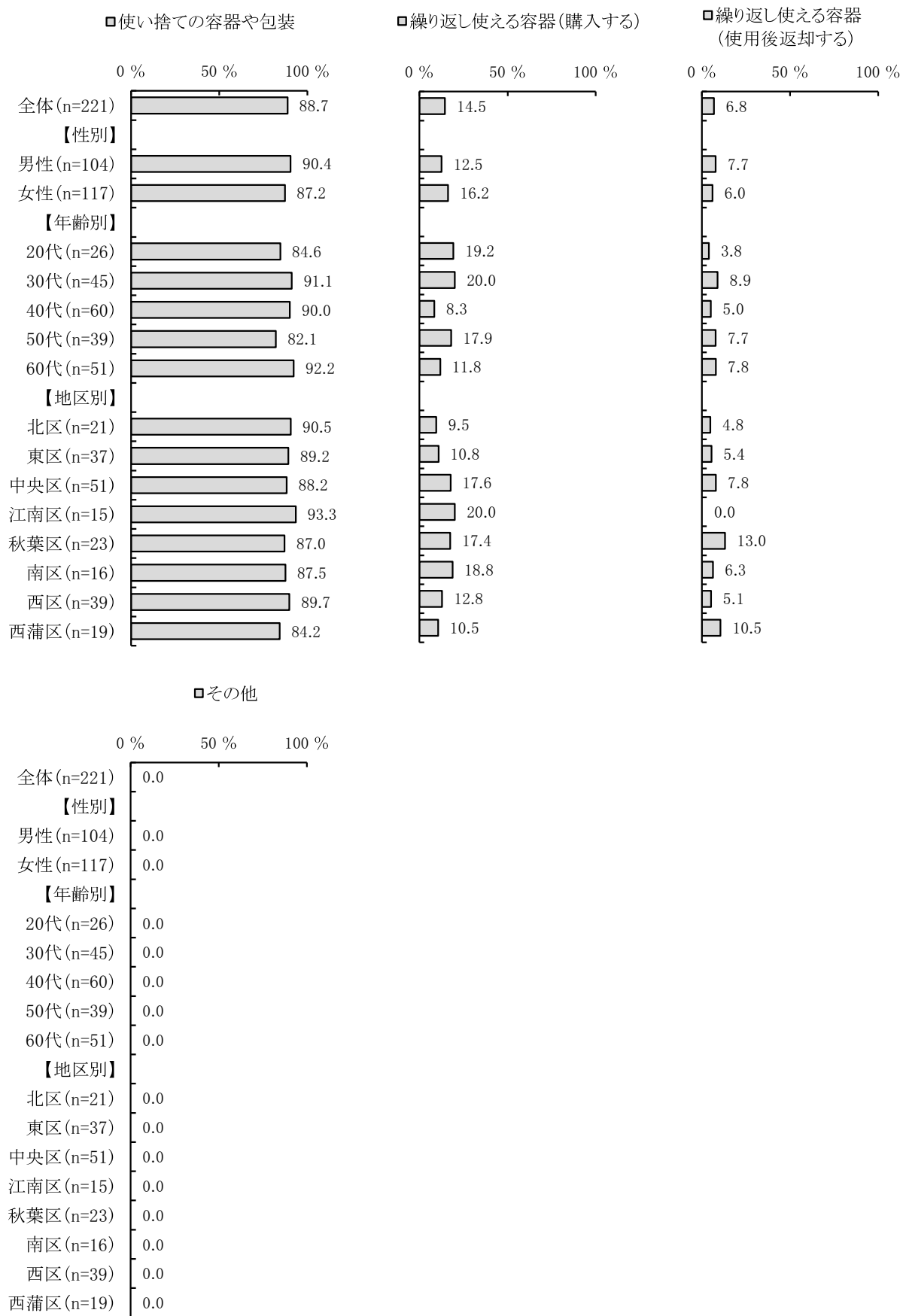
全ての年代で「使い捨ての容器や包装」と答えた割合が最も高く、8~9割を占めた。

##### ③ 地区別

全ての地区で「使い捨ての容器や包装」と答えた割合が最も高く、8~9割を占めた。

図 1.30 持ち帰り容器について②

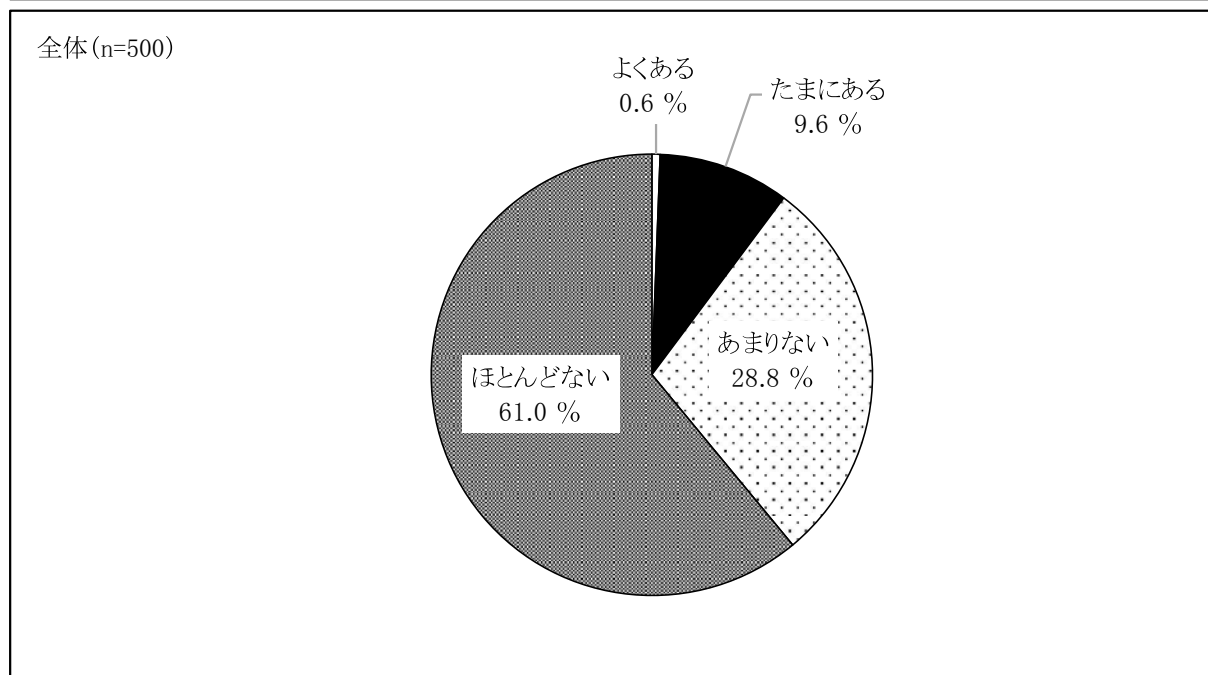
(性別／年齢別／地区別)





### (31) テイクアウト料理・購入総菜について

問31 あなたはテイクアウトした料理や、購入した総菜類を捨てたことがありますか。



— 約9割が『ない』と回答 —

#### 【全体結果】

テイクアウト料理や購入総菜の廃棄について、「あまりない」(28.8%)、「ほとんどない」(61.0%)を合わせた『ない』(89.8%)と答えた割合は、約9割を占めた。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.31参照)

##### ① 性別

『ない』と答えた割合は、女性(88.4%)と比べて男性(91.2%)で高い。

##### ② 年齢別

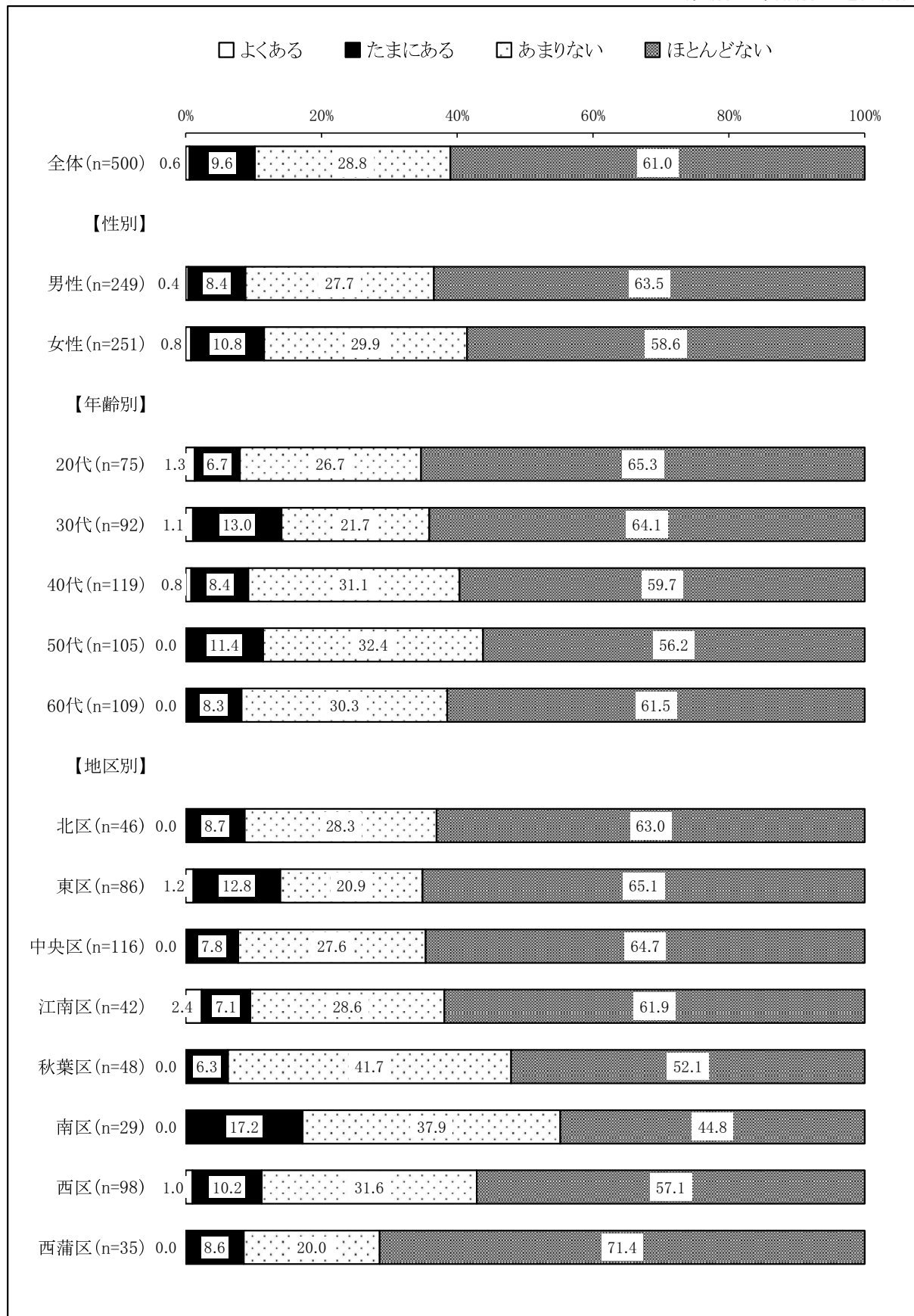
『ない』と答えた割合は、30代(85.9%)で最も低く、他の年代では約9割となった。

##### ③ 地区別

『ない』と答えた割合は、東区と南区以外では約9割となった。東区(86.0%)と南区(82.8%)でも8割台となった。

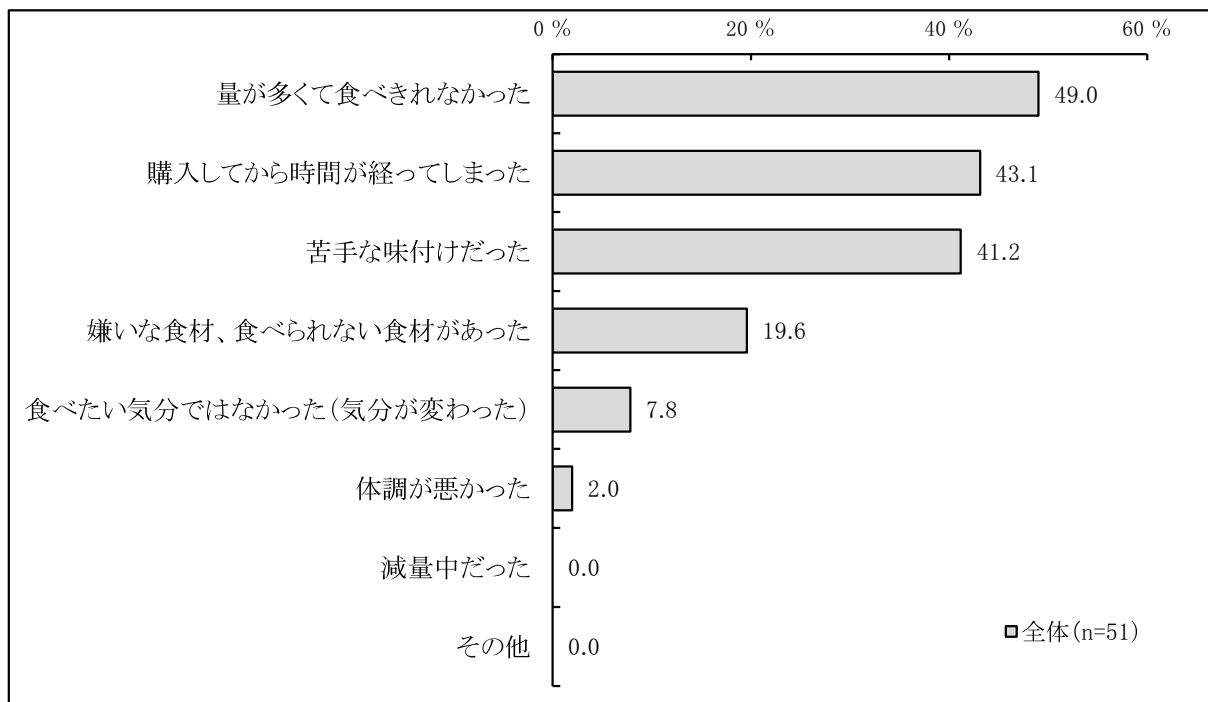
図 1.31 テイクアウト料理・購入総菜について

(性別／年齢別／地区別)



### (32) 捨てた理由

問32 問31で「よくある」「たまにある」と答えた方にお聞きします。  
捨てた理由は何ですか。



— 「量が多くて食べきれなかった」が約5割でトップ —

#### 【全体結果】

捨てた理由について、「量が多くて食べきれなかった」(49.0%)と答えた割合が最も高く、約5割となった。次いで「購入してから時間が経ってしまった」(43.1%)、「苦手な味付けだった」(41.2%)が4割台と続く。

#### 【属性別結果】(次ページ図1.32参照)

##### ① 性別

「量が多くて食べきれなかった」、「購入してから時間が経ってしまった」、「食べたい気分ではなかった(気分が変わった)」は、男性(各45.5%、36.4%、0.0%)と比べて女性(各51.7%、48.3%、13.8%)で割合が高く、「嫌いな食材、食べられない食材があった」は、女性(13.8%)と比べて男性(27.3%)で割合が高い。

##### ② 年齢別

20代では「量が多くて食べきれなかった」(66.7%)、30代では「苦手な味付けだった」(61.5%)、40代では「購入してから時間が経ってしまった」(72.7%)で他の年代と比べて割合が高い。

##### ③ 地区別

北区では「購入してから時間が経ってしまった」(75.0%)、江南区では「量が多くて食べきれなかった」(75.0%)、「苦手な味付けだった」(75.0%)、南区では「苦手な味付けだった」(80.0%)、「嫌いな食材、食べられない食材があった」(60.0%)で他の地区と比べて割合が高い。

図 1.32-1 捨てた理由

(性別／年齢別／地区別)

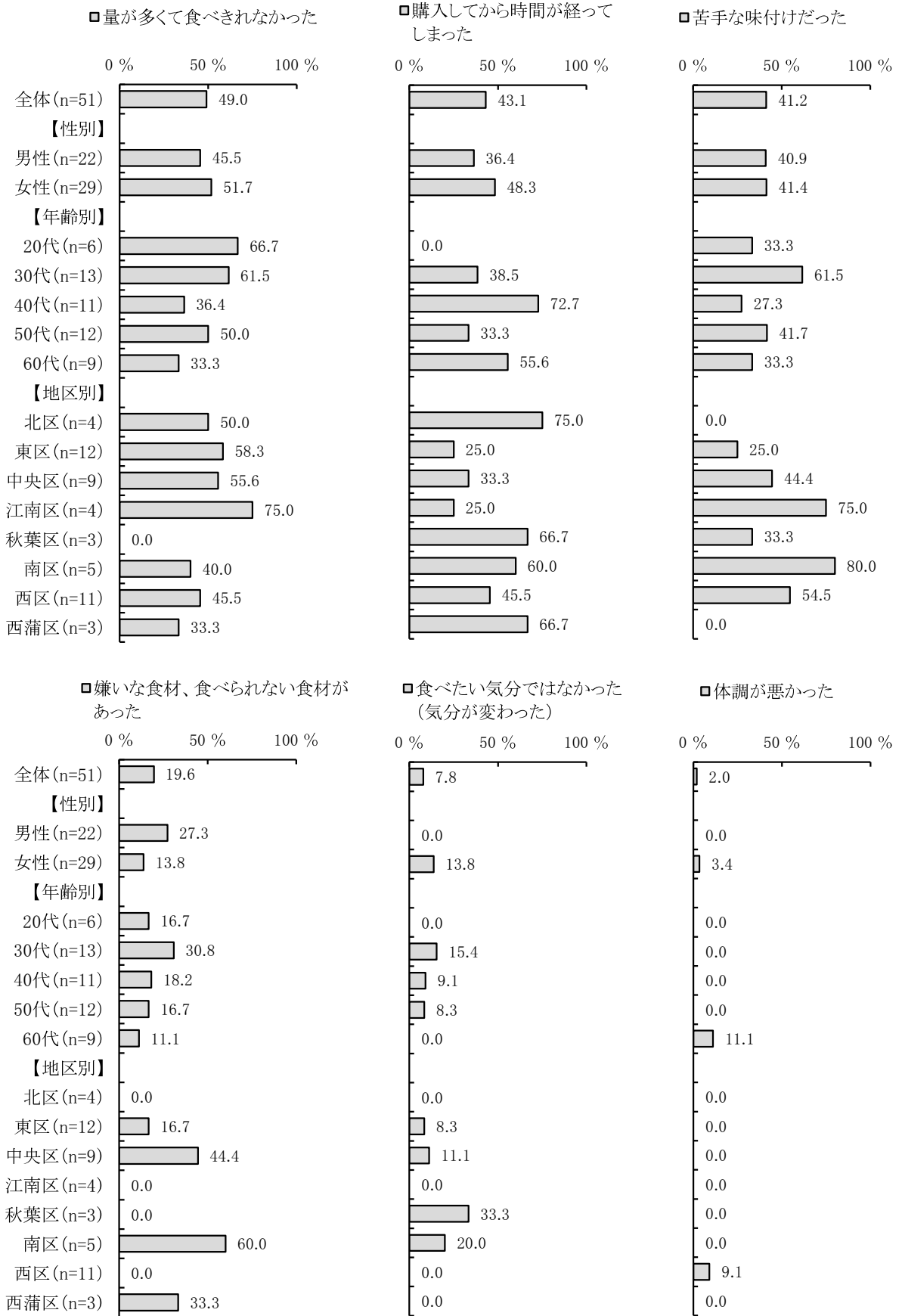


図 1.32-2 捨てた理由

(性別／年齢別／地区別)

